2024　Education in Uruma City

令和６年度

うるま市の教育

（主要施策）

令和５年うるま市指定文化財登録　『具志川グスク』

うるま市教育委員会

Uruma City Board of Education

うるま市民憲章

うるま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた
文化と伝統を大切にする、希望にみちた健康都市です。
私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願い、
ここに憲章を定めます。

一 すこやかで、心のかよう家庭と、
思いやりのあるまちをつくります。

一 自然を生かし、花とみどりに包まれた、
きれいなまちをつくります。

一 きまりを守り、ものを大切にする、
住みよいまちをつくります。

一 働くよろこびと、若い力の育つ、
元気なまちをつくります。

一 教養を高め、文化のかおり高い、
魅力あるまちをつくります。

平成十九年三月六日 制定

うるまの意味

珊瑚の島という意味で、沖縄の美称です。また、景観の見事な沖縄の島々を示す言葉で、この４市町の海に面した素晴らしい景観を表し、新市が未来へ飛躍することと、美しい沖縄(4 市町)の心を世界に発信することを願っています。

市章の意味

うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしています。豊かな自然の輪の中で市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面して発展する「うるま市」の明るい未来と更なる飛躍を象徴しています。

表紙写真説明

具志川グスクと具志川グスクの壕（令和５年８月９日うるま市指定文化財に指定）

具志川グスクは沖縄貝塚時代前期からグスク時代にかけての遺跡です。先史時代の南九州との文化交流や当時の葬制を知る上で重要な遺跡であり、中国陶磁器等が出土することからグスク時代には交易によって繁栄していたと考えらえています。

また、具志川グスクの壕は、昭和２０年４月４日午後、壕の中に潜んでいた住民達が追い詰められた住民 13 人が死亡する悲劇の歴史があり、今も地元住民に大切に保存されています。

はじめに

うるま市教育委員会
教育長　嘉手苅　弘美

この度、うるま市教育委員会では、将来が予測困難な社会を生き抜く児童生徒の育成のため、新しい視点を持ち、今後の学校教育、社会教育の活動方針とするため、「うるま市教育振興基本計画」を策定しました。

方針の実現には、教育行政だけでなく、あらゆる垣根を超えた多角的な取り組みが必要です。学校、家庭、地域、企業等との連携・協働による取り組みと学びから人と人との「つながり」や「かかわり」を大切にすることで、「自分が好き、学びが好き、地域が好き」という意識を持つ子どもや市民となり、いずれまちづくりのための貴重な「人材」として、本市の重要な「感動」の資源の一つになることを期待します。

「感動」。この言葉は、現在本市においてのキーワードです。

うるま市は、昨年度「感動産業特区うるま市」を宣言し、そのアンバサダーとして、中高校生による現在版組踊「肝高の阿麻和利」が東京で上演されました。舞台は来場者に大きな感動を与え、それが渦となり、さらにその感動が演じ手の子ども自身に伝わることで、大きな自信と成長に繋がることを目の当たりにしました。「感動」は人を自ら成長させる力を持っています。うるま市教育委員会では多くの「感動」を生むべく、施策を進めております。

まず今年度、市内全小中学校で一斉更新される電子黒板は、様々な機能を持ち、一人一台端末との併用活用で、「わくわく（感動）」のある授業展開と学習の拡充が期待されます。

また、市教育委員会に新たに設置いたしました「学校生活応援課」は、特別に支援が必要な児童生徒・配慮が必要な児童生徒の学びの保障のため、組織を横断した支援を行い、子どもたちに日々の小さな「感動」を積み上げ、自立に向け取り組んでまいります。

さらに、戦後沖縄の食糧難を救ったハワイ県人会による豚輸送プロジェクトを描いた漫画本「安慶名良信物語」をうるま市教育委員会で発刊しました。本市制定の「海から豚がやってきた記念日」とも関連させ、この「感動」の史実が、故郷を愛する気持ちと、地域貢献に対する意識の醸成につながるよう取り組んでまいります。

施策を進めるための本市の教育委員会の組織と、活動概要をまとめたものが「うるま市の教育」であり、各分野の取り組み、施策が把握できるよう編成しております。教育関係者をはじめ、多くの方々に本市の教育行政についてご理解を深めていただくとともに、本市教育へのご助言と、なお一層のご協力を賜れればと思います。

令和６年８月

教育施策体系

基本目標２

子どもがいきいきと育つまちづくり

2-3 幼児教育・保育の充実

乳幼児を家庭の保護者に代わって保育し、安心して就労や子育てを行うことができる環境を整えるとともに、健全な人間形成の基礎を培う幼児教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びが保障されることで、心身の調和のとれた発達を目指します。

- 2-3-1 多様な幼児教育・保育を充実させます
- 2-3-2 保育所等・小学校を連携します

基本目標５

郷土に誇りをもち未来を拓く人づくり

5-1 生きる力を育む学校教育の充実

豊かな心とたくましい体、望ましい生活習慣や食習慣等を育み、予測困難な社会の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と柔軟な思考力を身に付け、すべての人の個性を認め合い、協働して新たな価値を見出していこうとする姿勢を身に付けた国際性に富む子どもを育成します。

- 5-1-1 学力向上を図ります
- 5-1-2 きめ細やかな指導・支援・相談体制の充実を図ります
- 5-1-3 児童生徒の心と体づくりに取り組みます
- 5-1-4 教育環境を整備・充実させます
- 5-1-5 地域と共にある信頼される学校づくりを推進します
- 5-1-6 組織的・機動的な学校づくりを推進します

5-2 学校教育施設の充実

児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

- 5-2-1 学校教育施設を整備・充実させます

5-3 青少年健全育成の推進

学校・家庭・地域社会が連携して、青少年の健全育成に地域ぐるみで関わり、子どもたちが地域の中で心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。

- 5-3-1 青少年健全育成支援体制を整備します
- 5-3-2 青少年の健全育成・自立を支援します

5-4 生涯学習の充実

市民それぞれのライフステージやライフスタイルに応じ、生涯にわたって生きがいを持てるように、生涯学習活動機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実を目指します。

- 5-4-1 生涯学習の環境を整えます
- 5-4-2 図書館の活用を推進します
- 5-4-3 学んだ成果を地域社会に活かします

5-5 スポーツ・ライフの推進

市民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進と競技力向上に取り組むとともに、スポーツ関係団体の運営支援や組織力強化支援に取り組み、良好なスポーツ環境を提供し、スポーツによる地域活性化を目指します。また、市民一人ひとりが自主的、主体的にスポーツ・運動に親しむことができるまちを目指します。

- 5-5-1 様々な主体と連携しスポーツが生活にとけ込むまちづくりを目指します
- 5-5-2 スポーツ環境を整備・充実させます
- 5-5-3 スポーツに気軽に参加できる機会を確保します
- 5-5-4 競技スポーツの強化・向上を推進します

5-6 文化・芸術の振興

市民が優れた文化・芸術に親しみ、触れる機会を充実させることにより、教養や感性を深め、多様な価値観が尊重されることにより心豊かな社会形成を目指します。また、長い年月をかけて今に受け継がれてきた伝統芸能の保存・継承及び地域文化の振興を図ります。

- 5-6-1 市民文化活動を推進し文化芸術に親しむ機会を提供します
- 5-6-2 文化施設・設備を有効利用します

5-7 文化財の保存・活用の推進

文化財を次世代へ継承するため、企画展示・体験学習・各種イベントなどの機会を通して市民の文化財に対する意識や関心を高め、文化財の保存・活用を推進し、郷土に愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。

- 5-7-1 文化財を保護します
- 5-7-2 文化財を活用していきます

令和６年度

うるま市の教育

主要施策

うるま市教育委員会

目　次

第１章　うるま市の概要

1　位置及び人口　1
2　沿革　2
3　うるま市歌　3

第２章　教育行財政

第１節　教育行政　5
第２節　教育財政　22
第３節　育英事業　24

第３章　乳幼児期の教育・保育

第１節　乳幼児期の教育・保育が目指すもの　27
第２節　乳幼児期の教育・保育の現状と課題　29
第３節　乳幼児期の教育・保育の具体的な取り組み　30

第４章　学校教育

第１節　学校教育　33
第２節　うるま市教育支援センター　75
第３節　学校給食　86

第５章　学校教育施設

第１節　学校教育施設　95

第６章　生涯学習

第１節　生涯学習振興　101
第２節　生涯学習文化振興センター　107
第３節　図書館　120

第７章　文化・芸術

第１節　市民文化活動の推進　127
第２節　文化施設・設備の有効利用　128

第８章　文化財

第１節　文化財の保存と活用　133
第２節　保存・活用の方針　137
第３節　資料館　139
第４節　市史編さん　144

資料編１　うるま市教育委員会事務点検・評価

1　令和６年度（令和５年度実施事業分）事務点検・評価　149

資料編２　各種委員等

1　うるま市立図書館協議会　151
2　うるま市自治会長連絡協議会　役員名簿　151
3　うるま市自治会長　152
4　うるま市社会教育委員　154
5　うるま市教育支援センター運営委員　154
6　うるま市文化財保護審議会　155
7　うるま市立資料館協議会　155
8　うるま市具志川市史編さん委員会　第９巻専門委員　155
9　うるま市立学校給食センター運営委員会　156
10　うるま市教育支援委員　157
11　学校医・歯科医・薬剤師一覧　158

資料編３　施設使用料

1　学校施設使用料　159
2　うるま市立公民館使用料　159
3　生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料　160
4　うるま市民芸術劇場施設使用料　161
5　うるま市石川会館施設使用料　163
6　うるま市きむたかホール施設使用料　165

資料編４　学校・教育機関

1　市教育委員会事務局・教育機関・その他公の施設　167
2　うるま市立小学校・中学校一覧　168
3　令和６年度うるま市立学校在籍一覧表(小学校・中学校)　169
4　令和６年度うるま市教育委員会・関係団体等行事予定表　170

第１章　うるま市の概要
第２章　教育行財政
第３章　乳幼児期の教育・保育
第４章　学校教育
第５章　学校教育施設
第６章　生涯学習
第７章　文化・芸術
第８章　文化財
資料編

第１章　うるま市の概要

うるま市の概要
うるま市歌

うるま市の概要

1. 位置及び人口

うるま市は、那覇市より北東へ２５Km、沖縄本島中部の東海岸に位置し、東に金武湾、南に中城湾の両湾に接し、東南に広がる勝連半島の北方および東方海上には、有人、無人の８つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

令和６年４月１日現在の人口は、126,454 人、世帯数は 57,507 世帯であり、面積は 87.02 km²となっています。

うるま市の位置と地域名

2. 沿革

うるま市は、平成 17 年 4 月 1 日に具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな 4 市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約 4,000 年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつて砂糖キビの生産が沖縄一を誇っていました。太平洋戦争後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文 6 年（1666 年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越来間切に含まれる農村集落でした。その後、越来間切から分割された美里間切に含まれ、明治 41 年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米軍により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609 年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13 世紀の築城とされる勝連城は、特に城主阿麻和利の時代に最盛期を迎えました。「おもろさうし」には、「きむたか」（心豊か・気高い）と称され、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。

また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成 12 年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約 2,500 年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、その歴史は古く、17 世紀中頃以前には勝連間切に属していました。その後、西原間切として勝連間切から分離・独立され、第二尚氏王統第 7 代国王尚寧王（しょうねいおう）の父親にあたる与那城王子尚懿（しょうい）が拝領地として授かったと記されています。さらに、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972 年）や伊計大橋（1982 年）、藪地大橋（1985 年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

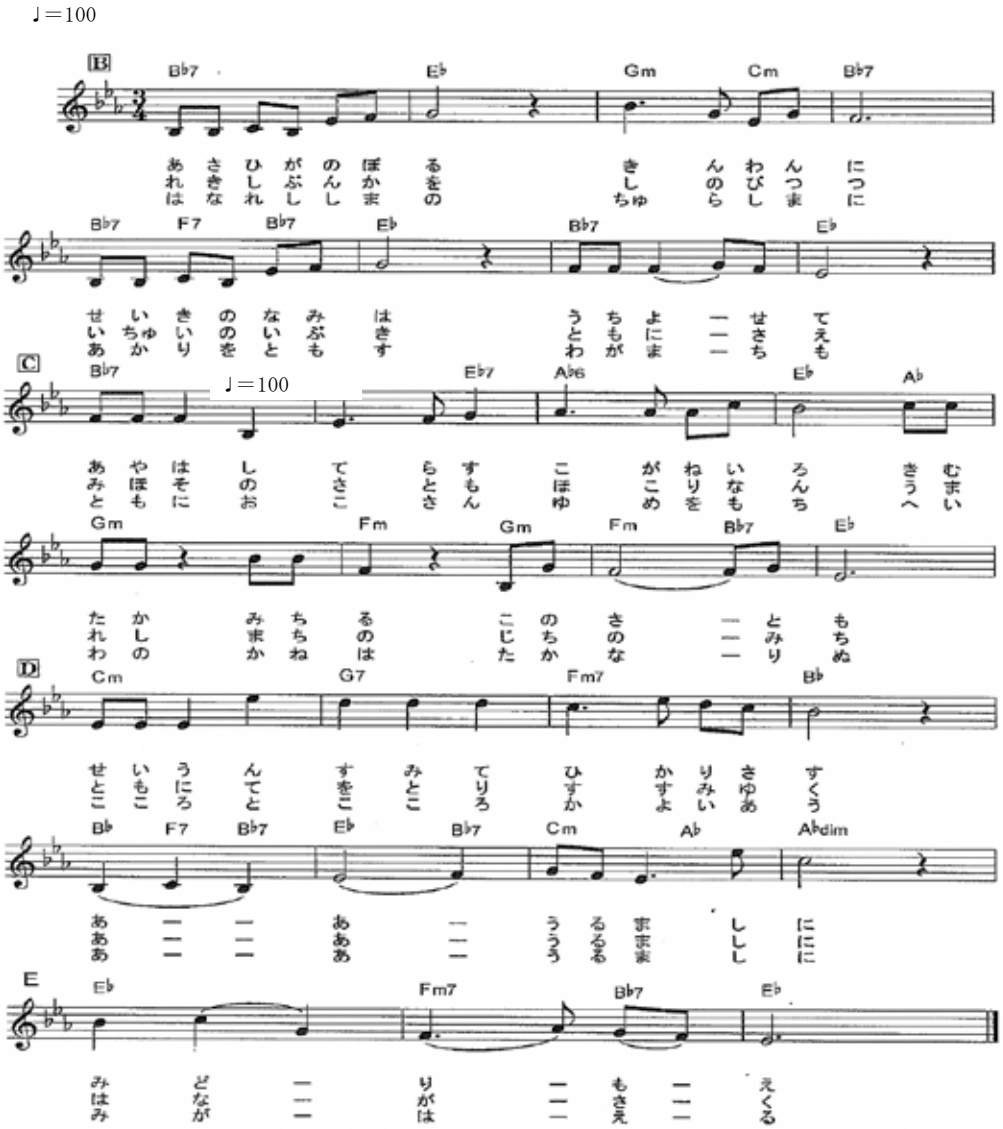
4 市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。

「うるま市」が誕生してから、令和 6 年 4 月 1 日で市制１９周年を迎えました。

う る ま 市 歌

～青雲澄みて～

作　詞　　知念仁照
補作詞　　うるま市市歌検討委員会
作　曲　　普久原恒勇



うるま市歌　～青雲澄みて～

一　朝日が昇る　金武湾に
　　世紀の波は　うち寄せて
　　あやはし照す　こがね色
　　肝高満ちる　この里も
　　青雲澄みて　光さす
　　ああうるま市に　みどり萌え

二　歴史文化を　偲びつつ
　　いちゅいの息吹　共に冴え
　　みほその里も　誇りなん
　　生まれし街の　自治の道
　　共に手をとり　進みゆく
　　ああうるま市に　花が咲く

三　離れし島の　美ら島に
　　明りをともす　わが街も
　　共に興さん　理想をもち
　　平和の鐘は　高鳴りぬ
　　心と心　通い合う
　　ああうるま市に　実が栄える

第２章　教育行財政

第１節　教育行政
第２節　教育財政
第３節　育英事業

第１節　教育行政

１　教育委員会の概要

教育委員会

教育委員会は、都道府県や市町村に置かれる合議制の執行機関である。

教育長及び教育委員は、市長が議会の同意を得て任命する。教育長の任期は３年、教育委員の任期は４年で、再任されることがある。

教育長は、教育委員会を代表し、教育委員会会議を主宰することのほか、教育委員会の権限に属するすべての事務を司る。

教育委員会は、教育行政を自らの責任と権限において管理し執行する。

会議は、毎月１回開催される定例会と、緊急の要件が発生したときに開かれる臨時会がある。

教育長並びに教育委員

教育長　　嘉手苅　弘美

教育長職務代理者　　石川　聡

委員　　上門　はるみ

委員　　天願　剛

委員　　宮城　香織

令和６年８月23日現在

職　名	氏　名	任　期
教育長	嘉手苅　弘美	令和６年６月７日～令和９年６月６日
教育長職務代理者	石　川　　聡	令和３年６月７日～令和７年６月６日
委　員	上門　はるみ	令和４年11月22日～令和８年11月21日
委　員	天　願　　剛	令和５年７月10日～令和９年７月９日
委　員	宮　城　　香　織	令和６年８月23日～令和10年８月22日

2　歴代教育委員

◎教育委員長（任期は１年間）　◇教育長職務代理者（平成 27 年６月７日より）　※故人

氏　名	期　間
天 願　　光 雄	◎ 平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日 ◎ 平成１７年６月７日 ～ 平成１９年６月６日 平成１９年６月７日 ～ 平成２１年６月６日
名嘉村　清次郎	◇ 平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日
上 間　　一 秀 ※	平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日
當 銘　　由 榮 ※	平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日
上江洲　安吉 ※	平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日
野　原　　勝	◇ 平成１７年６月７日 ～ 平成１８年６月６日 ◎ 平成１８年６月７日 ～ 平成１９年６月６日 ◎ 平成１９年６月７日 ～ 平成２２年６月６日
渡嘉敷　順治	平成１７年６月７日 ～ 平成２０年６月６日
前 門　　幸 雄	平成１７年６月７日 ～ 平成２１年６月６日
謝 敷　　久 武	平成１７年６月７日 ～ 平成１９年６月６日 ◇ 平成１９年６月７日 ～ 平成２３年６月６日 平成２３年６月７日 ～ 平成２７年６月６日
安 村　　和 子	平成２２年６月７日 ～ 平成２６年６月６日
横 田　　清 美	平成２０年６月７日 ～ 平成２４年６月６日 平成２４年６月７日 ～ 平成２８年６月６日
榮 門　　忠 光	平成２１年６月７日 ～ 平成２５年６月６日 ◎ 平成２２年６月７日 ～ 平成２５年６月６日 ◎ 平成２５年６月７日 ～ 平成２７年６月６日
与那嶺　清子	◇ 平成２１年６月７日 ～ 平成２５年６月６日 平成２５年６月７日 ～ 平成２９年６月６日
新垣　ミイ子	平成２６年６月７日 ～ 平成３０年６月６日
大 石　　英 助	◇ 平成２７年６月７日 ～ 令和 元年６月 ６日 ◇ 令和　元年６月７日 ～ 令和 ３年３月 31 日 令和　３年４月１日 ～ 令和 ５年６月 ６日
平 良　　初 美	平成２８年６月７日 ～ 令和　２年６月６日
嘉手苅　弘美	平成２９年６月７日 ～ 平成３０年６月６日

氏　名	期　間
田 幸　　正 彦	平成３０年６月７日 ～ 令和３年３月 31 日 ◇ 令和３年４月１日 ～ 令和４年３月 31 日 令和４年４月１日 ～ 令和４年６月６日
石　川　　聡	平成３０年６月７日 ～ 令和３年６月６日 令和３年６月７日 ～ 令和４年３月 31 日 ◇ 令和４年４月１日 ～ 令和７年６月６日
仲宗根　桂子	令和２年８月１日 ～ 令和　６年７月 31 日
上門　はるみ	令和４年 11 月 22 日 ～ 令和８年 11 月 21 日
天　願　　剛	令和５年７月 10 日～ 令和９年７月９日
宮 城　　香 織	令和６年８月 23 日　～　令和 10 年８月 22 日

3　歴代教育長

※故人

氏　名	期　間
上江洲　安吉 ※	平成１７年４月１日 ～ 平成１７年６月６日
前門　幸雄	平成１７年６月７日 ～ 平成２１年６月６日
謝敷　久武	平成２１年６月７日 ～ 平成２３年６月６日 平成２３年６月７日 ～ 平成２７年６月６日
榮門　忠光	平成２７年６月７日 ～ 平成３０年６月６日
嘉手苅　弘美	平成３０年６月７日 ～ 令和３年６月６日 令和３年６月７日 ～ 令和６年６月６日 令和６年６月７日 ～ 令和９年６月６日

4　教育委員会の活動状況

教育委員会会議の開催状況（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

教育委員会の会議は、うるま市教育委員会会議規則第2条第2項に基づき毎月第2水曜日に定例会を、その他必要に応じて臨時会を開催しています。

令和5年度の開催状況は、定例会12回、臨時会2回の計14回、付議件数は、議案33件、報告13件の計46件となっております。

付議名		第５回（定例）令和５年４月１２日	担当部・課
議案	第17号	うるま市の中学校運動部活動地域移行推進計画の策定について	学校教育部 学校教育課

付議名		第６回（定例）令和５年５月１０日	担当部・課
報告	第6号	臨時代理の報告について（車両事故）	社会教育部 生涯学習文化振興センター
議案	第18号	うるま市乳幼児期の教育・保育指針の策定に係る教育委員会の意見について	こども未来部 こども教育支援課

付議名		第７回（定例）令和５年６月１４日	担当部・課
議案	第19号	令和５年度うるま市一般会計補正予算（第２号）に係る教育委員会の意見について	社会教育部 教育政策課
	第20号	うるま市教育振興推進委員会委員の委嘱について	社会教育部 教育政策課
	第21号	うるま市少年ふれあい事業補助金交付要綱の制定について	社会教育部 生涯学習文化振興センター

付議名		第８回（定例）令和５年７月１２日	担当部・課
報告	第7号	放棄した債権の報告について（芸術振興施設使用料）	社会教育部 生涯学習文化振興センター
	第8号	臨時代理の報告について（うるま市学校給食食材支援事業補助金交付要綱の一部改正）	学校教育部 学校給食センター
議案	第22号	うるま市教育委員会表彰規則の一部改正について	社会教育部 教育政策課

付議名		第９回（臨時）令和５年７月２５日	担当部・課
議案	第23号	令和６年度以降に使用する小学校教科用図書の採択について	学校教育部 教育支援センター
	第24号	令和５年度学校教職員人事内申について	学校教育部 学校教育課

付　議　名		第１０回（定例）令和５年８月９日	担当部・課
報告	第9号	臨時代理の報告について（旅館業法に係る意見）	学校教育部 学校教育課
	第10号	令和４年度うるま市立学校給食センター給食会計歳入歳出決算書報告について	学校教育部 学校給食センター
議案	第25号	うるま市指定史跡の指定について（具志川グスク）	社会教育部 文化財課
	第26号	うるま市指定史跡の指定について（具志川グスクの壕）	社会教育部 文化財課
	第27号	具志川小学校校舎増改築工事（建築１工区）請負契約について	社会教育部 教育施設課
	第28号	具志川小学校校舎増改築工事（建築２工区）請負契約について	社会教育部 教育施設課
	第29号	具志川小学校校舎増改築工事（電気）請負契約について	社会教育部 教育施設課
	第30号	具志川小学校校舎増改築工事（機械）請負契約について	社会教育部 教育施設課
	第31号	うるま市教育委員会事務点検・評価の報告について（令和４年度事業対象）	社会教育部 教育政策課
	第32号	うるま市教育委員会表彰規則の一部改正について（継続審議）	社会教育部 教育政策課

付　議　名		第１１回（定例）令和５年９月６日	担当部・課
報告	第11号	臨時代理の報告について（市議会議案『令和５年度うるま市一般会計補正予算（第３号）』）	社会教育部 教育政策課

付　議　名		第１２回（定例）令和５年１０月１１日	担当部・課
議案	第33号	うるま市教育支援センター条例施行規則の一部改正について	学校教育部 教育支援センター

付　議　名		第１３回（定例）令和５年１１月１６日	担当部・課
報告	第12号	臨時代理の報告について（台風６号による物損事故）	学校教育部 学務課
	第13号	臨時代理の報告について（台風６号による物損事故）	学校教育部 学務課
	第14号	臨時代理の報告について（台風６号による物損事故）	学校教育部 学務課
議案	第34号	うるま市立認定こども園の廃止について（うるま市立あげなこども園本園、うるま市立あげなこども園分園）	こども未来部 こども教育支援課

付　議　名		第１４回（定例）令和５年１２月２０日	担当部・課
報告	第15号	臨時代理の報告について（市議会議案『令和５年度うるま市一般会計補正予算（第５号）』）	社会教育部 教育政策課
議案	第35号	令和５年度うるま市教育委員会被表彰者の決定について	社会教育部 教育政策課
	第36号	うるま市きむたかホール条例の一部を改正する条例に係る教育委員会の意見について	社会教育部 生涯学習文化振興センター
	第37号	うるま市立与那城地区公民館の位置変更について	社会教育部 生涯学習文化振興センター
	第38号	うるま市若者居場所運営事業実施要綱の一部改正について	学校教育部 教育支援センター

付　議　名		第１回（定例）令和６年１月１０日	担当部・課
報告	第1号	臨時代理の報告について（市議会議案『新石川調理場整備運営事業にかかる事業契約の締結について』）	学校教育部 学校給食センター
	第2号	臨時代理の報告について（令和５年度教育委員会職員の人事異動）	社会教育部 教育政策課
議案	第1号	令和６年度うるま市行政組織機構改編について	社会教育部 教育政策課
	第2号	うるま市教育支援センター条例の一部を改正する条例に係る教育委員会の意見について	学校教育部 教育支援センター

付　議　名		第２回（定例）令和６年２月１４日	担当部・課
議案	第3号	令和５年度うるま市一般会計補正予算（第８号）に係る教育委員会の意見について	社会教育部 教育政策課
	第4号	令和６年度うるま市一般会計当初予算に係る教育委員会の意見について	社会教育部 教育政策課
	第5号	うるま市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱の制定について	社会教育部 文化財課

付　議　名		第３回（臨時）令和６年２月１９日	担当部・課
議案	第6号	令和６年度学校教職員人事内申について	学校教育部 学校教育課

付　議　名		第４回（定例）令和６年３月１９日	担当部・課
報告	第3号	臨時代理の報告について（令和６年度教育委員会職員の人事異動）	社会教育部 教育政策課
議案	第7号	うるま市就学援助規則の一部改正について	学校教育部 学務課
	第8号	不登校児童生徒の適応指導教室設置運営要綱の全部改正について	学校教育部 教育支援センター
	第9号	うるま市教育委員会職員職名に関する規則等の一部改正について	社会教育部 教育政策課
	第10号	うるま市青少年指導員設置要綱等の一部改正について	社会教育部 教育政策課
	第11号	うるま市教育振興基本計画の策定について	社会教育部 教育政策課

5　うるま市教育委員会の沿革

平成 17 年度

4 月 1 日　「具志川市」、「石川市」、「勝連町」、「与那城町」二市二町の合併により「うるま市が誕生。具志川市教育委員会、石川市教育委員会、勝連町教育委員会、与那城町教育委員会、与勝事務組合教育委員会が新たにうるま市教育委員会としてスタート。
委員に天願 光雄氏、名嘉村 清次郎氏、上間 一秀氏、當銘 由榮氏、上江洲 安吉氏が選任される。
委員長に天願 光雄氏、委員長職務代理者に名嘉村 清次郎氏が選任される。
初代教育長に上江洲 安吉氏就任
うるま市教育委員会に、教育部、文化部、指導部を置く。
教育部事務局に総務課、施設課、社会教育課、社会体育課、教育機関として、公民館を置く。
文化部事務局に文化課、芸術振興課、市史編さん課、教育機関として、図書館、資料館を置く。
指導部事務局に学務課、指導課、教育機関として、教育研究所、青少年センター、給食センター、小学校 22 校、中学校 13 校、幼稚園 18 園を置く。
委員 名嘉村 清次郎氏、上間 一秀氏、當銘 由榮氏、
委員長 天願 光雄氏、教育長 上江洲 安吉氏、任期満了により退任

6 月 6 日　委員に天願 光雄氏、野原 勝氏、渡嘉敷 順治氏、謝敷 久武氏、前門 幸雄氏が任命される。

6 月 7 日　委員長に天願 光雄氏が再任、委員長職務代理に野原 勝氏が選任される。
2 代教育長に前門 幸雄氏就任

10 月 28 日　伊波小学校水泳プール改築工事が竣工

12 月 26 日　あげな中学校防球ネット設置工事が竣工
具志川中学校防球ネット設置工事が竣工

3 月 24 日　与那城小学校特別教室改築工事が竣工

平成 18 年度

6 月 6 日　委員 野原 勝氏、任期満了により退任

6 月 7 日　委員に野原 勝氏が再任される。
委員長に天願 光雄氏が再任される。

7 月 24 日　具志川小学校水泳プール改築工事が竣工

7 月 25 日　うるま市教育振興推進委員会にうるま市立学校適正規模・配置等に関する調査検討を諮問

10 月 16 日　あげな中学校屋内運動場新増改築工事が竣工

平成 19 年度

6 月 6 日　委員 謝敷 久武氏、任期満了により退任

6月7日　委員に謝敷 久武氏が再任される。
委員長に野原 勝氏、委員長職務代理者に謝敷 久武氏が選任される。
うるま市教育振興推進委員会から中間答申書「うるま市立学校適正化について」受理
10月10日　与勝中学校防球ネット設置工事が竣工
10月25日　石川中学校校舎増改築工事が竣工
2月13日　うるま市教育振興推進委員会から最終答申書「うるま市立学校適正化について」受理
3月7日　兼原小学校屋内運動場改築工事が竣工
3月17日　うるま市具志川運動公園多種目球技場が竣工
3月19日　与勝第二中学校防球ネット設置工事が竣工
3月21日　石川中学校防球ネット設置工事が竣工

平成20年度

4月1日　**組織改編により、文化部を廃止**
教育部 事務局に、総務課、施設課、社会教育課、社会体育課、文化課、芸術振興課、教育機関として、図書館、資料館を置く。
市史編さん課を廃止し、文化課市史編さん係を置く。
6月6日　委員 渡嘉敷 順治氏、任期満了により退任
6月7日　委員に横田 清美氏が選任される。
委員長に野原 勝氏が再任される。
2月20日　うるま市具志川ドームが竣工
2月27日　中原小学校校舎新増改築工事が竣工
3月23日　津堅小学校校舎及び単独調理場改築工事が竣工
津堅中学校校舎及び単独調理場改築工事が竣工
3月27日　中原小学校屋内運動場及び水泳プール増改築工事が竣工

平成21年度

4月1日　**組織改編により、芸術振興課を廃止**
文化課に文化振興係、文化財係、市史編さん係、施設管理係を置く。
社会体育課に新たに高校総体推進係を置く。
公民館を廃止、社会教育課に公民館係を置く。
6月3日　教育委員会議において「うるま市学校適正配置基本方針」決定
6月6日　委員 天願 光男氏、教育長　前門 幸雄氏、任期満了により退任
6月7日　委員に榮門 忠光氏、与那嶺 清子氏が選任される。
委員長職務代理者に与那嶺 清子氏が選任される。

7月31日　**3代教育長に謝敷 久武氏就任**
1月13日　田場小学校屋内運動場改築工事が竣工
3月19日　**「うるま市教育の日」を定める規則を制定**

3 月 23 日　髙江洲中学校防球ネット設置工事が竣工
3 月 25 日　中原小学校防球ネット設置工事が竣工
南原小学校校舎増改築工事が竣工
南原幼稚園増改築工事が竣工

平成 22 年度

6 月 6 日　委員 野原 勝氏、任期満了により退任
6 月 7 日　委員に安村 和子氏が選任される。
委員長に榮門 忠光氏が選任される。
8 月 20 日　あげな中学校防球ネット設置工事が竣工
宮森小学校防球ネット設置工事が竣工
1 月 28 日　与勝中学校校舎増改築工事が竣工
2 月 7 日　教育委員会議において「うるま市学校適正配置基本計画」可決
3 月 7 日　臨時教育委員会議において「うるま市学校適正配置前期実施計画」最終決定
3 月 18 日　**うるま市議会において、伊計、宮城、平安座、浜比嘉の 4 島内の小中学校の学校統廃合による平成 24 年 4 月 1 日の新設校開校が決定**
3 月 25 日　与那城小学校屋内運動場改築工事が竣工

平成 23 年度

4 月 1 日　**組織改編により、社会教育課を生涯学習振興課、社会体育課を生涯スポーツ課に課名変更。**
社会体育課高校総体推進係は、事業終了により廃止
施設課は、施設第 1 係、施設第 2 係、施設第 3 係に再編
文化課市史編さん係は、図書館へ移設、施設管理係は廃止
6 月 6 日　教育長 謝敷 久武氏、任期満了により退任
6 月 7 日　**教育長に謝敷 久武氏が再任される。**
委員長に榮門 忠光氏が再任される。
10 月 7 日　**うるま市議会において、統合新小中学校の校名を「彩橋小中学校」に決定**
1 月 27 日　川崎小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 24 年度

4 月 1 日　**うるま市立彩橋小中学校開校**
6 月 7 日　委員に横田 清美氏が再任される。
委員長に榮門 忠光氏が再任される。
11 月 14 日　教育委員会会議において「うるま市学校適正配置後期実施計画」可決
11 月 30 日　田場小学校校舎増改築工事が竣工
1 月 30 日　うるま市学校適正配置基本計画検討委員会において「学校跡地・跡施設利用基本方針」決定
3 月 13 日　彩橋小中学校屋内運動場・水泳プール増改築工事が竣工

3 月 22 日　具志川中学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 25 年度

4 月 1 日　**うるま市立彩橋小中学校「小規模特認校制度」導入**
6 月 7 日　委員に与那嶺 清子氏が再任される。
委員長に榮門 忠光氏が再任される。
9 月 20 日　伊波小学校校舎増改築工事が竣工
伊波幼稚園増改築工事が竣工
1 月 31 日　彩橋幼稚園新築工事が竣工
2 月 28 日　伊波小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 26 年度

4 月 1 日　**彩橋幼稚園開校**
6 月 6 日　委員 安村 和子氏、任期満了により退任
6 月 7 日　委員に新垣 ミイ子氏が選任される。
委員長に榮門 忠光氏が再任される。
2 月 27 日　天願幼稚園増改築工事が竣工
3 月 10 日　勝連幼稚園増改築工事が竣工
3 月 23 日　与勝中学校屋内運動場改築工事が竣工
3 月 30 日　天願小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 27 年度

4 月 1 日　**地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、新教育委員会制度へ移行**
6 月 6 日　教育長 謝敷 久武氏、任期満了により退任
6 月 7 日　**新「教育長」に榮門 忠光氏が任命される。**
教育長職務代理者に大石 英助氏が選任される。
10 月 23 日　第 1 回うるま市総合教育会議開催
「うるま市教育大綱」策定
12 月 17 日　平敷屋幼稚園増改築工事が竣工
3 月 18 日　高江洲小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
高江洲幼稚園増改築工事が竣工

平成 28 年度

4 月 1 日　**組織改編により、総務課を教育総務課、施設課を教育施設課、給食センターを学校給食センターに変更。**
5 月 6 日　教育総務課、教育施設課、生涯学習振興課、学務課、指導課、教育研究所、青少年センター、文化課、本庁舎西棟へ移転して執務開始

6月6日　委員 横田 清美氏、任期満了により退任
6月7日　委員に平良 初美氏が選任される。
10月14日　天願小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
12月12日　高江洲小学校屋内運動場増改築工事が竣工
12月22日　第1回うるま市総合教育会議開催
3月17日　「藪地洞穴遺跡」をうるま市指定史跡に指定する。
3月24日　第2回うるま市総合教育会議開催
「第2次うるま市教育大綱」策定

平成29年度

4月1日　**組織改編により、教育部 教育機関に、生涯学習文化振興センターを置く。**
うるま市生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」が竣工
6月6日　委員 与那嶺 清子氏、任期満了により退任
6月7日　委員に嘉手苅 弘美氏が選任される。
3月29日　第1回うるま市総合教育会議開催

平成30年度

4月1日　**組織改編により、生涯スポーツ課を廃止。**
教育施設課を学校施設課、生涯学習振興課を生涯学習スポーツ振興課、
文化課を文化財課に課名変更。
生涯スポーツ課 生涯スポーツ係は、生涯学習スポーツ振興課に業務移管。
文化課 文化振興係は、生涯学習文化振興センターに業務移管。
図書館 市史編さん係は、文化財課に業務移管。
学校施設課に学校施設管理係、学校施設計画係を置く。
生涯学習スポーツ振興課に生涯学習振興係、生涯スポーツ係を置く。
文化財課に文化財係、グスク整備係、市史編さん係を置く。
生涯学習文化振興センターに文化振興係、学び支援係を置く。
5月10日　勝連小学校校舎増改築工事が竣工
6月6日　委員 嘉手苅 弘美氏、一身上の都合により退任
委員 新垣 ミイ子氏、任期満了により退任
教育長 榮門 忠光氏、任期満了により退任
6月7日　**教育長に嘉手苅 弘美氏が任命される。**
委員に田幸 正彦氏が選任される。
委員に石川 聡氏が選任される。
7月13日　「うるま市の闘牛」をうるま市指定無形民俗文化財に指定する。
「宮城島のヒータチ（火立て）跡」をうるま市指定史跡に指定する。
1月15日　市指定無形民俗文化財「伊波メンサー織技能」認定及び解除
3月31日　認定こども園移行に伴い、うるま市立天願幼稚園・平敷屋幼稚園が閉園

令和元年度

5月1日　**今上天皇退位に伴う改元（令和）**
5月16日　令和元年度うるま市総合教育会議開催
6月6日　教育長職務代理者 大石 英助氏、任期満了により退任
6月7日　委員に大石 英助氏が再任される。
教育長職務代理者に大石 英助氏が再任される。
7月29日　うるま市教育振興推進委員会にうるま市立与勝第二中学校の適正化に関する調査研究を諮問
1月17日　宮森小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
2月20日　うるま市教育振興推進委員会から「与勝第二中学校の今後の在り方に関する答申書」受理
2月28日　赤道小学校校舎増改築工事が竣工
赤道幼稚園増改築工事が竣工
3月31日　認定こども園移行に伴い、うるま市立中原幼稚園、川崎幼稚園、彩橋幼稚園が閉園

令和2年度

4月1日　**組織改編により、教育研究所及び青少年センターを統合し教育支援センターを置く。**
4月13日　「平安座のサングヮチャー」をうるま市指定無形民俗文化財に指定する。
「上江洲のウフガー」をうるま市指定有形民俗文化財に指定する。
6月6日　委員 平良 初美氏、任期満了により退任
7月22日　令和2年度うるま市総合教育会議開催
8月1日　委員に仲宗根 桂子氏が選任される。
3月31日　認定こども園移行に伴い、うるま市立あげな幼稚園が閉園
教育長職務代理者　大石 英助氏、教育長職務代理者を退任

令和3年度

4月1日　**組織改編により、教育支援センターに情報教育推進係を置く。**
教育長職務代理者に田幸 正彦氏が選任される。
6月6日　教育長　嘉手苅 弘美氏、任期満了により退任
委員　石川 聡氏、任期満了により退任
6月7日　**教育長に嘉手苅 弘美氏が再任される。**
委員に石川 聡氏が再任される。
3月31日　認定こども園移行に伴い、うるま市立宮森幼稚園、城前幼稚園、兼原幼稚園、田場幼稚園、勝連幼稚園、伊波幼稚園が閉園
教育長職務代理者　田幸 正彦氏、教育長職務代理者を退任

令和４年度

４月１日　**組織改編により、教育部を社会教育部、指導部を学校教育部に部名変更。**
学校施設課を教育施設課、指導課を学校教育課に課名変更。
教育施設課に教育施設管理係、教育施設計画係を置く。
学校教育課に学校教育係、学校庶務係を置く。
教育支援センター青少年係を教育相談係に統合する。
教育長職務代理者に石川 聡氏が選任される。
５月 30 日　令和４年度第１回うるま市総合教育会議開催
６月６日　委員　田幸 正彦氏、任期満了により退任
７月 11 日　「第３次うるま市教育大綱」策定
８月１日　うるま市立学校給食センター与勝調理場共用開始に伴い、与那城学校給食センター、与勝学校給食センター、勝連学校給食センターが閉鎖
11 月 22 日　委員に上門　はるみ氏が選任される。
２月 10 日　城前小学校校舎増改築工事が竣工
城前小学校屋内運動場増改築工事が竣工
３月 31 日　うるま市立与那城幼稚園、南原幼稚園、具志川幼稚園、高江洲幼稚園、赤道幼稚園が認定こども園へ移行

令和５年度

４月１日　**組織改編により、教育総務課を教育政策課に課名変更。**
教育政策課に教育総務係、教育政策係を置く。
生涯学習スポーツ振興課を廃止。
生涯学習スポーツ振興課　生涯学習振興係を生涯学習文化振興センターへ、生涯スポーツ係を経済産業部　スポーツ課へ業務移管。
生涯学習文化振興センターに生涯学習振興係、文化振興係、こども学び支援係を置く。
教育施設課に教育施設計画係、教育施設管理第１係、教育施設管理第２係を置く。
教育支援センター　情報教育推進係を学校教育課に業務移管。
学校教育課に学校庶務係、学校教育係、学校推進係、学校 ICT 整備係を置く。
６月６日　委員　大石　英助氏、任期満了により退任
７月 10 日　委員に天願　剛氏が選任される。
８月９日　「具志川グスク」をうるま市指定史跡に指定する。
「具志川グスクの壕」をうるま市指定史跡に指定する。

令和６年度

４月１日　**組織改編により、社会教育部に新調理場整備室が新設。**
学校教育部に学校生活応援課（教育支援センター）が新設され、あらたに計画支援係を置く。
こども未来部のこども教育支援課が教育保育支援課に課名変更

こども未来部の子育て世代包括支援センターが子育て包括支援課に課名変更

6月6日　教育長　嘉手苅　弘美氏、任期満了により退任

6月7日　教育長に嘉手苅　弘美氏が任命される（3期目）

7月31日　委員　仲宗根　桂子氏、任期満了により退任

8月23日　委員に宮城　香織氏が選任される。

6 教育委員会職員数

令和6年度　教育委員会職員配置表

令和6年4月1日現在

組織＼職名		職員数	（うち指導主事数）	部長	（うち指導主事数）	参事	事務職員																		技術職員									技能職員		主任臨床心理士	臨床心理士	教育職員				
							課長	館長	所長	主幹	（うち指導主事数）	主幹兼係長	副主幹兼係長	係長	（うち指導主事数）	副所長	主査	（うち指導主事数）	主任主事	主事	指導主事	主査司書	主任司書	司書	課長	室長	技幹	技幹兼係長	副技幹兼係長	係長	技査	主任技師	技師	係長	調理員			幼稚園教頭		幼稚園教諭		
																																						課長補佐級	係長級	主査	主任	主事
定　数（234）		112	8	2	1	1	5	2	1	1	1	0	6	15	0	0	13	0	22	11	6	4	7	2	1		0	0	1	3	0	0	0	3	0	3	1	0	0	1	0	0
社会教育部	部　長	1		1																																						
	参　事	1				1																																				
	教育政策課	12					1						1	1			2		6	1																						
	教育施設課	7																		3					1				1	2												
	生涯学習文化振興センター	9						1						3			1		2	2																						
	文化財課	11					1						1	2			3		2	2																						
	図書館（3館）	10						1						4			1		1			2		1																		
	新調理場整備室	3																	1							1				1												
	小　計	54	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	2	10	0	0	7	0	12	8	0	2	0	1	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学校教育部	部　長	1	1	1	1																																					
	学校教育課	14	5				1			1	1		1	2			2		2	1	4																					
	学校生活応援課 (教育支援センター)	13	2				1						1	1			1		2		2															3	1			1		
	学務課	9					1						1	1			1		3	2																						
	学校給食センター	11							1				1	1			2		3															3								
	小学校（18校）	3																					3																			
	中学校（10校）	7																				2	4	1																		
	幼稚園（1園）	0																																								
	小　計	58	8	1	1	0	3	0	1	1	1	0	4	5	0	0	6	0	10	3	6	2	7	1	0		0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1	0	0	1	0	0

※事務職員の職名横( )に指導主事数を明記　指導主事は全体で8名　学校教育部長(1)・学校教育課(5)・学校生活応援課(教育支援センター)(2)

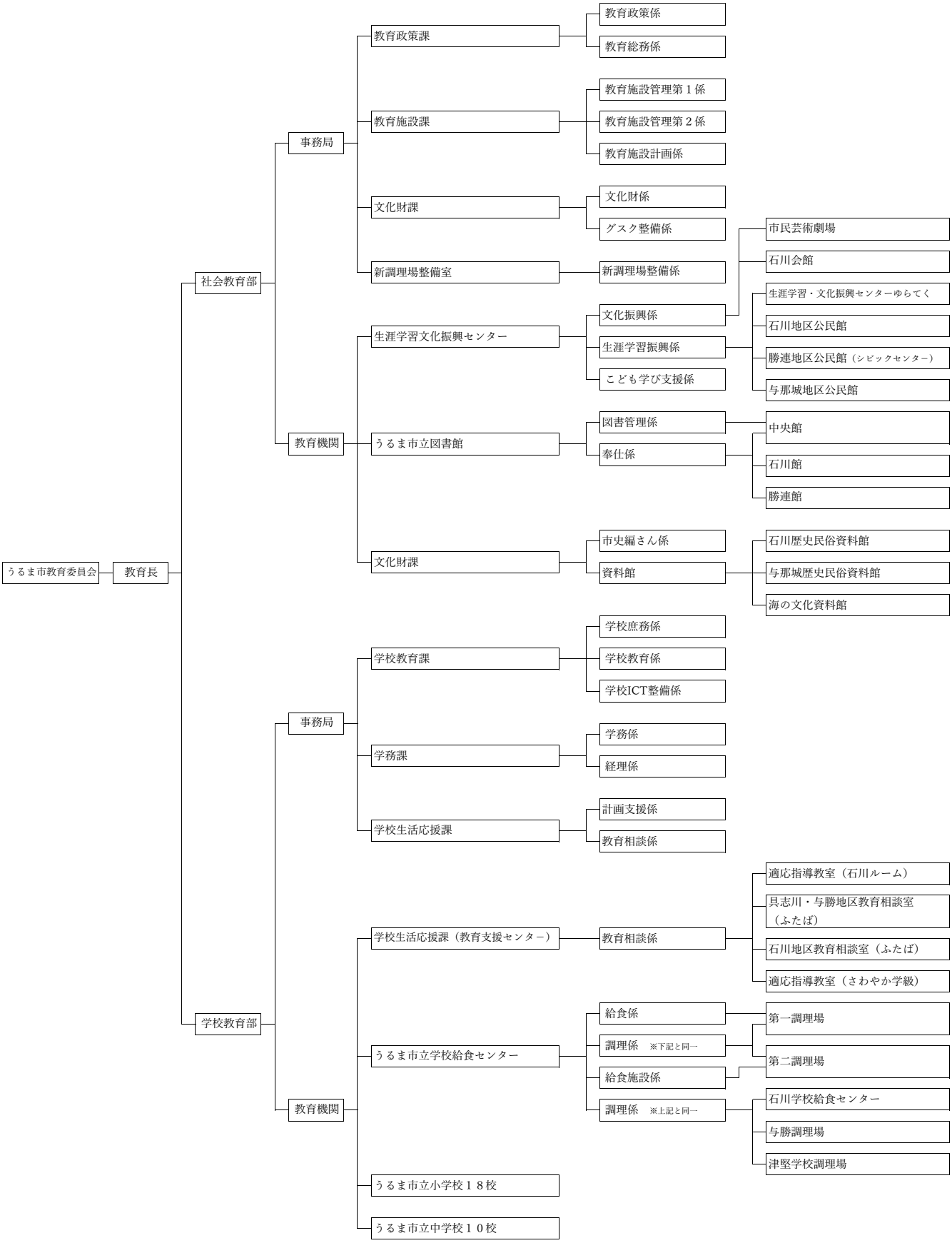
※再任用職員11名を含む（教育政策課(2)・生涯学習文化振興センター (1)・文化財課(2)・図書館(2)・新調理場整備室(1)・学校教育課(1)・学校給食センター(2)）

※会計年度任用職員は含まない。

※幼稚園1園（津堅幼稚園）は、休園中。

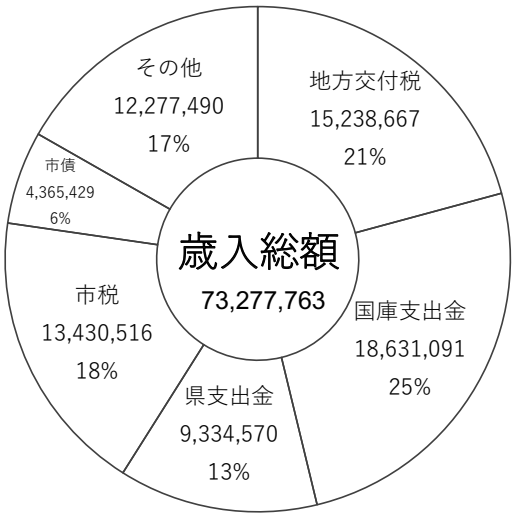
7 うるま市教育委員会組織機構図

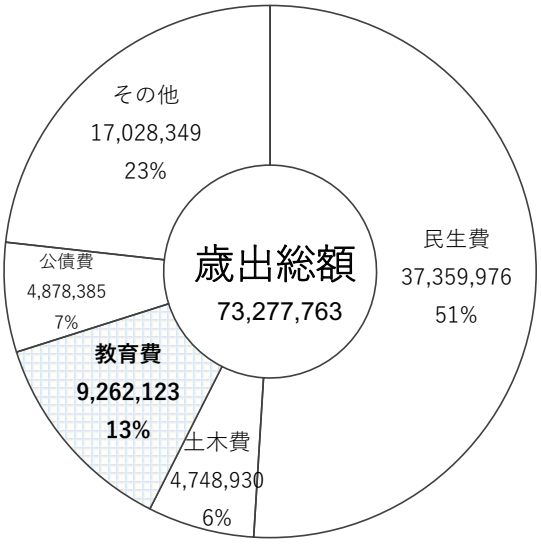
令和6年4月1日



第２節　教育財政

１ 令和6年度　うるま市一般会計歳入歳出予算





歳入　（単位：千円）

款	金 額
1　市税	13,430,516
2　地方譲与税	286,188
3　利子割交付金	1,826
4　配当割交付金	23,215
5　株式等譲渡所得割交付金	25,866
6　法人事業税交付金	160,497
7　地方消費税交付金	2,649,060
8　ゴルフ場利用税交付金	31,656
9　環境性能割交付金	30,474
10　国有提供施設等所在市町村助成交付金	597,972
11　地方特例交付金	101,899
12　地方交付税	15,238,667
13　交通安全対策特別交付金	9,362
14　分担金及び負担金	259,832
15　使用料及び手数料	785,984
16　国庫支出金	18,631,091
17　県支出金	9,334,570
18　財産収入	494,194
19　寄附金	493,001
20　繰入金	5,915,726
21　繰越金	1
22　諸収入	410,737
23　市債	4,365,429
歳入合計	73,277,763

歳出　（単位：千円）

款	金 額
1　議会費	362,034
2　総務費	6,186,880
3　民生費	37,359,976
4　衛生費	4,502,070
5　労働費	61,216
6　農林水産業費	1,232,280
7　商工費	1,051,864
8　土木費	4,748,930
9　消防費	3,382,001
10　教育費	9,262,123
11　災害復旧費	4
12　公債費	4,878,385
13　諸支出金	0
14　予備費	250,000
歳出合計	73,277,763

令和６年度は、財政運営の健全化を図りつつ、少子高齢化などを背景とする社会保障等を充実させる一方、物価高騰に直面している子育て世代への支援として「学校給食食材支援事業」等の事業実施を予定しております。

令和６年度一般会計予算は前年度当初予算と比較して４３億１,０４３万円、率にして6.２％の増額になっていますが、歳入については市税等の自主財源が２９.７％、地方交付税等の依存財源が７０.３％となっています。

歳出については、民生費（福祉や医療などの経費）や教育費（学校教育や生涯学習などの経費）が大きな割合を占めており、依然として厳しい予算編成となっています。

2　教育費予算の項目別内訳

令和６年度 当初予算

（単位：千円）

項　目	令和６年度		令和５年度		対前年比		本年度の財源内訳			
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率	特定財源			一般財源
							国県支出金	地方債	その他	
1 教育総務費	1,556,643	16.8%	1,394,008	15.1%	162,635	11.7%	322,131	0	30,822	1,203,690
1　教育委員会費	4,483	0.0%	4,257	0.0%	226	5.3%	0	0	0	4,483
2　事務局費	1,362,085	14.7%	1,184,950	12.8%	177,135	14.9%	253,255	0	26,882	1,081,948
3　教育支援費	190,075	2.1%	204,801	2.2%	△ 14,726	△7.2%	68,876	0	3,940	117,259
2 小学校費	3,480,609	37.6%	2,652,256	28.6%	828,353	31.2%	1,257,780	727,000	211,904	1,283,925
1　学校管理費	1,016,813	11.0%	696,137	7.5%	320,676	46.1%	262,399	0	33,604	720,810
2　教育振興費	467,168	5.0%	336,400	3.6%	130,768	38.9%	40,680	0	2,500	423,988
3　学校建設費	1,996,628	21.6%	1,619,719	17.5%	376,909	23.3%	954,701	727,000	175,800	139,127
3 中学校費	1,059,766	11.4%	974,053	10.5%	85,713	8.8%	235,368	12,200	372	811,826
1　学校管理費	662,061	7.1%	614,193	6.6%	188,956	30.8%	141,353	4,800	372	515,536
2　教育振興費	316,937	3.4%	325,867	3.5%	△ 8,930	△2.7%	94,015	0	0	222,922
3　学校建設費	80,768	0.9%	33,993	0.4%	46,775	137.6%	0	7,400	0	73,368
4 幼稚園費	3,863	0.0%	77,887	0.8%	△ 74,024	△95.0%	0	0	1,000	2,863
1　幼稚園管理費	3,863	0.0%	4,569	0.0%	△ 706	△15.5%	0	0	1,000	2,863
2　幼稚園建設費	0	0.0%	73,318	0.8%	△ 73,318	△100.0%	0	0	0	0
5 社会教育費	1,225,349	13.2%	979,629	10.6%	245,720	25.1%	55,100	0	268,344	901,905
1　社会教育総務費	67,964	0.7%	63,104	0.7%	4,860	7.7%	16,714	0	1,500	49,750
2　公民館費	137,833	1.5%	156,558	1.7%	△ 18,725	△12.0%	0	0	13,355	124,478
3　図書館費	391,500	4.2%	267,785	2.9%	123,715	46.2%	0	0	151,682	239,818
4　文化振興費	136,226	1.5%	132,623	1.4%	3,603	2.7%	0	0	30,000	106,226
5　文化財保護費	134,649	1.5%	77,450	0.8%	57,199	73.9%	38,386	0	21,086	75,177
6　資料館費	61,055	0.7%	40,519	0.4%	20,536	50.7%	0	0	5,328	55,727
7　市史編さん費	20,402	0.2%	14,329	0.2%	6,073	42.4%	0	0	50	20,352
9　芸術振興費	166,711	1.8%	148,870	1.6%	17,841	12.0%	0	0	36,254	130,457
10　生涯学習振興費	109,009	1.2%	78,391	0.8%	30,618	39.1%	0	0	9,089	99,920
6 保健体育費	1,935,893	20.9%	2,148,023	23.2%	△ 212,130	△9.9%	209,000	694,400	47,549	984,944
1　保健体育総務費	40,640	0.4%	95,518	1.0%	△ 54,878	△57.5%	0	0	15,500	25,140
2　体育施設費	1,098,759	11.9%	1,097,965	11.9%	794	0.1%	185,254	606,500	30,679	276,326
3　学校給食費	659,805	7.1%	613,647	6.6%	46,158	7.5%	0	0	1,370	658,435
4　給食施設費	136,689	1.5%	340,893	3.7%	△ 204,204	△59.9%	23,746	87,900	0	25,043
教育費合計	9,262,123	100%	8,225,856	89%	1,036,267	12.6%	2,079,379	1,433,600	559,991	5,189,153

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%になりません。

第３節　育英事業

１　うるま市育英会貸費事業

1. 目的

うるま市育英会では、優秀な学生で経済的理由によって修学困難な者に対し、その育英上必要な業務を行い有為な人材を育成することを目的に、育英資金を貸費する事業を実施しています。

2. 貸費生の資格・基準

⑴ 本人又は保護者が本市に住所を１年以上有する者。
⑵ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に定める大学（大学院・短期大学を含む)、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程のみで修業年限 2 年以上であること)、及び高等学校（本市島嶼地域出身高校生のみ）並びに、大学校及び海外大学（大学院・短期大学含む。語学プログラムのみ受講する者など非正規の学生は対象外）に在学する者。学業・操行とも優秀で、かつ経済的理由により修学困難と認められる者。
⑶ 貸費した奨学金の償還義務を確実に履行できる者。
⑷ 入学準備金の場合は、⑵に定める学校に入学予定の者。

3. 育英制度の種類

⑴ 学資金貸費制度（無利子）
・ 申請時、大学等に既に在学している方が対象。＊学校によっては対象外の場合もあり。
・ 貸費期間は、貸費生として採用されたときからその者の在学する学校の最短修業の終期まで。
・ 貸費金は、年３回、４か月分ずつ振込みます。

【対象校・貸費額】

種　別 ※修業年限２年以上の学校であること		貸費額	
		県　外	県　内
大学・大学院・短期大学・専修学校・大学校		月額 50,000 円 （年額 60 万円）	月額 30,000 円 （年額 36 万円）
高等専門学校	本科１年次～３年次	月額 30,000 円 （年額 36 万円）	月額 15,000 円 （年額 18 万円）
	本科４年次～５年次	月額 50,000 円 （年額 60 万円）	月額 30,000 円 （年額 36 万円）
	専攻科１年次～２年次	月額 50,000 円 （年額 60 万円）	月額 30,000 円 （年額 36 万円）
高等学校（本市島嶼地域出身高校生のみ）		月額 15,000 円 （年額 18 万円）	
海外（大学・大学院・短期大学等）		月額 40,000 円、50,000 円、60,000 円から選択(年額 48 万円～年額 72 万円)	

⑵ 入学準備金貸費制度（無利子）

・ 大学等に入学予定の者が対象。＊学校によっては対象外の場合もあり。

・ 貸費額は 30 万円、40 万円、50 万円のうちいずれかを選択できます。

・ 入学予定の学校からの合格通知等を確認後、貸費額を一括で振込みます。＊振込は 1 回限り。

4. 応募時期

⑴ 学資金貸費制度（年 1 回）

毎年 4 月 1 日～4 月末日までに必要書類を事務局へ提出

⑵ 入学準備金貸費制度（年 2 回）

【前期】毎年 7 月 1 日～7 月末日までに必要書類を事務局へ提出

＊推薦入試や AO 入試などによる進学を予定しており、11 月末までに合格通知を提出できる方が対象。

【後期】毎年 11 月 1 日～11 月末日までに必要書類を事務局へ提出

＊一般入試や大学入学共通テストなどによる進学を予定しており、3 月下旬までに合格通知を提出できる方が対象。

5. 審査・決定

学資金・入学準備金ともに、家計及び成績の状況に基づき、選考により採用者を決定します。

6. 貸費金の償還

⑴ 償還は、貸費を終了した月（卒業・退学・貸費辞退など）の翌月から 6 か月後に開始。

⑵ 償還金は、一部または全額を繰上償還することができます。

⑶ 毎月の償還金額は、貸費時の金額により下記のとおりとなります。

【償還金額】

貸費月額	償還月額
50,000 円以上の場合	20,000 円
50,000 円未満・入学準備金の場合	10,000 円

＊償還期間は貸費総額及び償還月額により異なります。

⑷ 償還金は次の貸費生の育英資金の原資になります。

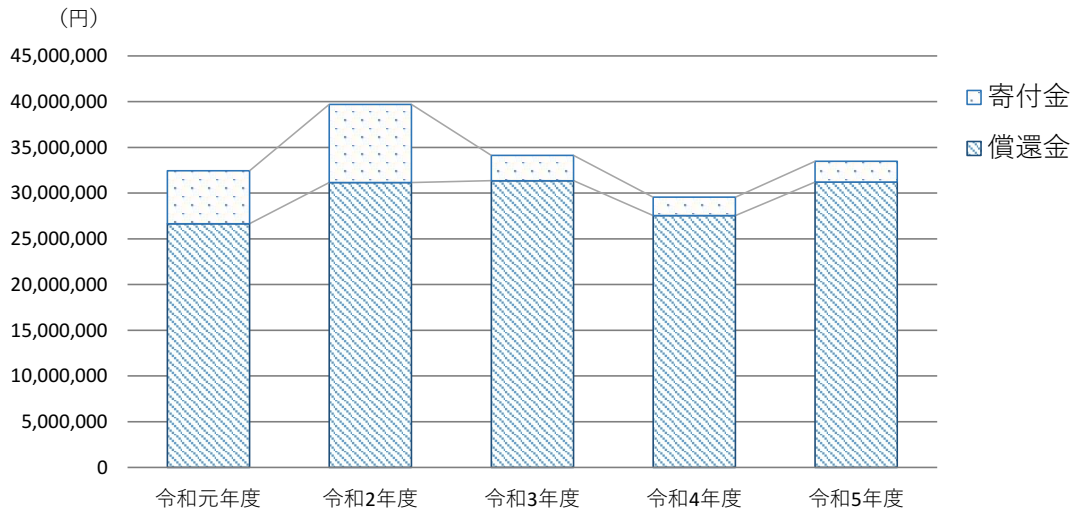
2　うるま市育英会貸費生採用状況及び貸費額

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
継続	35 名	33 名	26 名	31 名	23 名
	県内 11 名	県内 12 名	県内 13 名	県内 15 名	県内 11 名
	県外 23 名	県外 21 名	県外 13 名	県外 15 名	県外 12 名
	国外 1 名	国外 0 名	国外 0 名	国外 1 名	国外 0 名
	計 17,840,000 円	計 16,720,000 円	計 12,480,000 円	計 15,300,000 円	計 11,160,000 円
新規	21 名	12 名	13 名	16 名	30 名
	県内 15 名	県内 4 名	県内 10 名	県内 8 名	県内 15 名
	県外 6 名	県外 8 名	県外 3 名	県外 8 名	県外 13 名
	国外 0 名	国外 0 名	国外 0 名	国外 0 名	国外 2 名
	計 8,640,000 円	計 6,240,000 円	計 5,100,000 円	計 7,680,000 円	計 14,640,000 円
入学準備金	10 名	10 名	10 名	35 名	12 名
	県内 5 名	県内 9 名	県内 8 名	県内 20 名	県内 9 名
	県外 5 名	県外 1 名	県外 2 名	県外 13 名	県外 2 名
	国外 0 名	国外 0 名	国外 0 名	国外 2 名	国外 1 名
	計 4,000,000 円	計 4,900,000 円	計 4,800,000 円	計 16,600,000 円	計 5,800,000 円
合計	66 名	55 名	49 名	82 名	65 名
	県内 31 名	県内 25 名	県内 31 名	県内 43 名	県内 35 名
	県外 34 名	県外 30 名	県外 18 名	県外 36 名	県外 27 名
	国外 1 名	国外 0 名	国外 0 名	国外 3 名	国外 3 名
	30,480,000 円	27,860,000 円	22,380,000 円	39,580,000 円	31,600,000 円

3　うるま市育英会の主な収入

（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
償還金	26,658,416	31,165,100	31,360,800	27,533,000	31,217,534
寄付金	5,772,000	8,536,950	2,766,500	2,016,500	2,266,500
合　計	32,430,416	39,702,050	34,127,300	29,549,500	33,484,034



第３章　乳幼児期の教育・保育

第１節　乳幼児期の教育・保育が目指すもの

第２節　乳幼児期の教育・保育の現状と課題

第３節　乳幼児期の教育・保育の具体的な取り組み

第１節　乳幼児期の教育・保育が目指すもの

1. うるま市の教育目標

郷土に誇りをもち　未来を拓く人づくり

2. うるま市のめざす子ども像

「生きる力」を身に付け　高い志をもった「うるまっ子」

健全な人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びを保障することで、心身の調和のとれた発達を目指します。

3.　子どもの「生きる力」の基礎を育むために（ 資質・能力の３つの柱 ）

乳幼児期の発達の特性に応じ、「遊び」を通した主体的な学びを大切にする

知識・技能の基礎

豊かな体験を通じて、子どもが自ら感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりすること

思考力・判断力表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとすること

乳幼児期は、子どもの自発的な活動としての遊びを十分に確保することにより、「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の３つの資質・能力を育むことが大切です。

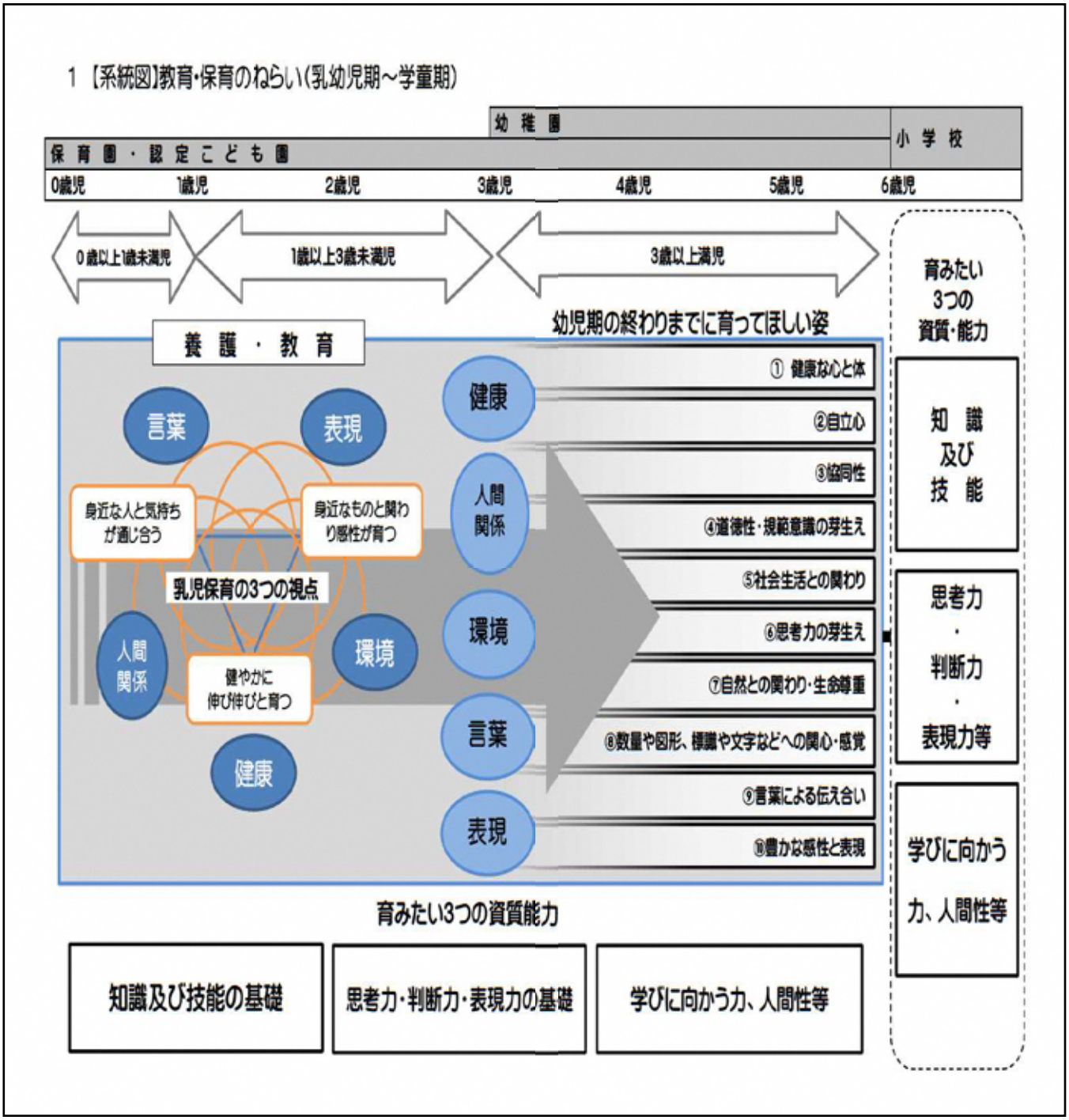
4. 幼児理解に基づく教育・保育

乳児保育の３つの視点及び幼児教育の５領域のねらいと内容（幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領）に基づいて保育をすると、「資質・能力」も育ちます。その際、幼児理解に基づき、子ども一人一人のよさや可能性が拓くとともに、乳幼児期にふさわしい発達を保障していくことが大切です。

保育者（幼稚園教諭、保育教諭、保育士）は、子どもとの信頼関係をつくり、子ども一人一人の主体的活動を促し、自らが発達に必要な経験を積み重ねていくことができるように、計画的に環境を構成し、援助を重ねていくことが大切です。

5.「乳児保育の３つの視点」「５領域のねらい」「育みたい３つの資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の関連性

平成 29 年３月に小・中学校の学習指導要領とともに幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び保育所保育指針が同日告示され、「乳児保育の３つの視点」「育みたい３つの資質・能力」及び「５領域のねらい」に基づく活動全体によって育むとともに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が位置付けられました。これは、幼児期の終わりの育ちの姿をイメージしながら、それぞれの園のスタートから意識して取り組むための手立てであり、それに伴った育ちを捉える視点にもなります。



（沖縄県「保育所・幼保連携型認定こども園・幼稚園における指導計画作成の手引き-平成 29 年告示-」より引用）

第２節　乳幼児期の教育・保育の現状と課題

1. 保育の多様化

平成 27 年に「子ども・子育て支援新制度」が施行されて、本市においても「認定こども園」「小規模保育園」「事業所内保育園」など、保育が多様化しています。本市の保育施設数は年々増加しており、それぞれの施設で「特色」として打ち出している教育・保育内容や方法は様々なものとなっています。

そこで、本方針に基づき、各施設が教育・保育の実践を進めていくことや、保育者が専門職としての自覚を持ち資質・能力の向上を図る必要があります。

2. 配慮を必要とする乳幼児への対応

本市において障がいのある子や保育の中で気になる子など、特別な支援を要する子どもの数は増加傾向にあります。また、医療技術の進歩等に伴い医療的ケア児の保育ニーズも高まってきています。その他にも、虐待を受けた子への対応や海外から帰国した子への支援など、配慮を必要とする乳幼児への支援が求められています。

このような乳幼児に対して、一人一人の実情に応じた支援を計画的かつ組織的に行っていくとともに、すべての乳幼児が安心できる集団づくりへの配慮や、保護者との連携も課題となっています。

3. 家庭・地域との連携

乳幼児を取り巻く環境や社会状況の著しい変化に伴い、子どもの育ちにも変化が見られるようになってきました。また、家庭における養育力の低下、育児不安なども危惧されており、本市においても課題が見られます。

乳幼児期の生活は、家庭や地域での生活体験を基盤にしながら連続的に営まれています。そこで、家庭や地域との連携を十分にとり、乳幼児一人一人の育ちについて理解を深めながら、保育施設と家庭が互いに乳幼児期の望ましい発達を促すための生活を実現させていく必要があります。

4. 乳幼児期の教育・保育と小学校以降の教育との接続

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」や「小学校学習指導要領」の改訂により、環境を通して学ぶ乳幼児期の教育から、教科等の学習を中心とした小学校教育への接続の重要性が示されています。

「保幼こ小連絡協議会」等、小学校教育への接続を意識した取り組みを行っていますが、幼児期から児童期への学びの連続性に関して、相互理解と連携に課題が見られます。

第３節　乳幼児期の教育・保育の具体的な取り組み

取り組み　1　　「生きる力」の基礎を育む乳幼児期の教育・保育の充実

子どもの主体性、好奇心などを重視した遊びや体験を通し、生涯の生活の基礎となる教育・保育を展開し、「生きる力」の基礎を育みます。

○　安心・安全な場の提供
○　基本的生活習慣の確立
○　「遊び」を通した総合的な指導
○　幼児理解に基づいた教育・保育
○　環境を通して行う教育・保育
○　幼児理解に基づいた評価の充実

取り組み　2　　保育者の資質・専門性の向上による教育・保育の質の向上

多様化する保育ニーズに対応しながら、子どもたちの健やかな育ちを保障するために、保育者一人一人に求められる、「豊かな人間性」「広い社会性」「高い専門性」を身につけられるよう研修の充実に努めます。

○　研修の充実（園内研修・市主催保育施設職員研修）
○　カリキュラム・マネジメントによる教育課程の組織的・計画的な質の向上
○　公立保育施設の公開保育及び協議会の実施

取り組み　3　　配慮を必要とする乳幼児への対応

障がいのある子や虐待を受けた子、海外から帰国した子など、一人一人のありのままの姿を受け止め、安心できる環境と認め合う肯定的な関係づくりに努め、一人一人がかけがえのない存在であるという共通認識のもと、保護者と連携した取り組みを進めていきます。

○　家庭や医療、福祉等の関係機関との継続的な連携
○　乳幼児の実態把握を行い、個別の支援計画・指導計画に基づいた適切な支援
○　保育施設における特別支援教育コーディネーターと関係機関との連携強化
○　保護者等への子育て支援および相談事業

取り組み　4　　家庭・地域との連携

子どもが地域の人々と関わり合いを楽しみ、温かな触れ合いの中で、いろいろな人に親しみを感じることは、子どもの成長を支える大きな力になります。また地域にとっても地域ぐるみで子どもを育むことは、「地域の子育て力向上」にもつながり、地域力強化も期待されます。

乳幼児の生活は家庭を基盤として、地域社会を通じて次第に広げていくことを大切にします。

○　保護者に寄り添える体制づくり
○　地域子育て支援センターの充実（親同士の交流の場・子育て相談・セミナーの開催）
○　地域との連携の充実（地域行事の周知など）
○　関係課・関係機関との連携

取り組み　5　　小学校以降の教育への円滑な接続

子どもの育ちの相互理解を深め、子どもの発達や学びの連続性を踏まえて、「育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を職員間で共有し、就学前教育・保育と小学校以降の教育への円滑な接続を図ります。

- ○　学びの連続性を踏まえた教育・保育の実施
- ○　幼稚園・保育園・こども園「アプローチカリキュラム」、小学校「スタートカリキュラム」の充実
- ○　保幼こ小連携の充実（各地区保幼こ小連絡協議会の開催、合同の研修会、相互の参観、交流行事、架け橋プログラムの共通理解）
- ○　「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした小学校への円滑な接続
- ○　幼児一人一人の育ちや対応等の共通理解及び引き継ぎ

第４章　学校教育施設

第１節　学校教育
第２節　うるま市教育支援センター
第３節　学校給食

第１節　学校教育

１　令和６年度　うるま市のめざす学校教育

令和６年度

【学校教育の基本目標】

郷土に誇りをもち、未来を拓く人づくり

【めざす子供像】「生きる力」を身に付け　高い志をもった「うるまっ子」

確かな学力「見通す力、振り返る力」
自らの考えをもって学び合い、教え合いながら進んで学習する子を育てよう！

豊かな心「かかわる力」
いのちや人権を尊重する子、思いやりのある子を育てよう！

健やかな体「やりぬく力」
困難なことがあっても粘り強く取り組み、挑戦する子を育てよう！

学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の推進

■主体的・対話的で深い学びの実現
- ○「授業における基本事項」の徹底で授業の土台づくり
- ○ 問いをもたせる単元・授業デザインと日常的な質的改善

■道徳教育の充実
- ○ 組織的な取組・充実による年間指導計画作成と授業づくり
- ○ 豊かな体験活動と凡事徹底の推進

■健康の基盤づくり
- ○ 学校体育の充実と小中連携した一校一運動の取組
- ○ 適正な運動部活動（休日地域移行の取組）
- ○ 思春期教室・性教育の実施と健康教育の充実

■保幼こ小中連携教育の充実
- ○ 学校段階間の円滑な接続・連携した教育課程の編成
- ○ 教育活動の交流や乗り入れ授業・合同研修会の実施
- ○ 学びや生活の基本を保障する架け橋プログラムの工夫

■児童生徒理解に基づく生徒指導
- ○ 常態的・先行的生徒指導の創意工夫（未然防止の徹底）SEL や SST 等、社会性育成のためのプログラム実施
- ○ 生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

■特別活動の充実
- ○ 学級活動での話合い活動の工夫充実
- ○ 学級活動と連動した、子供主体の児童会・生徒会活動

■特別支援教育と切れ目のない支援の充実
- ○ 巡回支援員派遣、関係機関連携(教育･福祉･家庭)
- ○ 小中をつなぐ個別の教育支援計画・指導計画の活用

■個別支援の充実と学習保障・学力保障
- ○ 通所支援と市適応指導教室等での居場所づくり
- ○ 校内自立支援教室の設置（加配教員・相談員活用）
- ○ オンラインによる学習支援

学校教育を支える

◆**「地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）」**
～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、子供の成長を支える～
○地域を生かす、地域で学ぶ　○地域に還す、地域に貢献する　○市民協働学校推進で学校参画

◆**「GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現」**
～ICT を指導改善や学習改善に活用し、多様な子供たちを誰一人取り残さない学び続ける子供～
○個別最適な学びと協働的な学び　○テストや自学自習への活用　○距離を超えて「つながる」

◆**「教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善」**
～子供の実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～
○ｱｾｽﾒﾝﾄを活用した学級づくり　○全職員で取り組む授業づくり　○経験の振り返りと対話で高め合う教職員集団

重点項目

人を大切にする「聴くこと」
人間関係の構築のために互いの話を最後まで「聴く」、相手の思いを「聴く」という対話の基本を身に付ける

勇気づけのボイスシャワー
自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高めるために子供たちの良さや頑張りを価値づける

評価の改善・充実　～自立した学習者の育成のために～
- ・目的を持った机間指導で学習状況を見取る
- ・形成的評価を実施し授業改善に生かす(ﾃｽﾄ改善)
- ・つまずきに対応するための実態に合った ICT 活用による教材提供と組織的・計画的な補習指導

共通実践項目「**あいさつ・返事・後始末**」
～幼児期から、学校・家庭・地域が一体となって取り組む～

2　令和６年度 うるま市指導行政の基本方針

学校の使命は子供一人一人の生命を守り、よさや可能性を見つけ、生かし、伸ばすとともに、確かな学力等の「生きる力」を育むことである。これまでの指導行政を踏まえ、学校課題や学習指導要領の改訂を受け、各学校が子供たちに育む「資質・能力」の育成を目指し、学校教育の目標の実現が図れるよう、国、県の動向や主要施策及び各学校の実態を踏まえ、うるま市指導行政の基本方針を以下のように作成して推進する。

児童生徒の資質・能力の育成
～子供の学ぶ力や育つ力を伸ばし高める～

めざす子供像
「生きる力」を身に付け
高い志をもった「うるまっ子」

子供の視点
子供主体の施策を発想実践
子供の変容がエビデンス

令和６年度　努力目標
○ 未来志向を持って、教育施策の推進に努める
○ 共感的理解に立って、工夫・改善・協働に努める

めざす学校像
「地域と共にある学校」
地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校

総合計画【目標指標】
①全国学力・学習状況調査
②将来の夢や目標
③不登校生徒数と割合

推進体制
○ 子供の学びと育ち関係する組織の連絡・相談体制を構築する
○ 学校の組織力を発揮し、教育実践の充実及び支援体制を構築する

市重点項目(※共通実践項目)
①人を大切にする「聴くこと」
②勇気づけのボイスシャワー
③評価の改善・充実
※あいさつ・返事・後始末

課題解決指標
①全国学力学習状況調査
②生徒指導関連状況
③児童生徒活躍状況
④人間関係スキルの向上

取 組 事 項

1　子供たちの学力保障と成長保障・しっかり教える・じっくり考え、させてみる・たっぷり価値づける

実際の社会で生きて働く「知識・技能」の習得	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

①育成すべき「資質・能力」の明確化と学校教育目標との関連　②育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善
③主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善（指導方法等の確立）④自主的、自発的な学習の促進（自立心・自律性の育成）
⑤児童生徒の発達を踏まえた支援（子供一人一人の発達の支援）　⑥豊かな心の育成　⑦健やかな体の育成

学力向上推進・児童生徒理解・GIGA スクール構想・学年経営・学級経営
①日常化する【質的授業改善】 ②そろえる【組織的共通実践】 ③支える【発達の支援】
④見通す【学校組織マネジメント】 ⑤つなぐ【学校連携・地域連携】

2 学び合う教職員の資質・能力向上	3 「チーム学校」づくりの推進
① 授業研究と日常の授業を結ぶ校内研修の充実(ICT の活用) ② 校内 OJT の充実による人材育成の推進 ③ 授業力向上に向けた公開授業の実施 ④ 教科部会や学年会の充実による授業改善の推進	① 授業力向上 （学力向上推進） ② 特別支援教育（発達支援） ③ 教育相談（不登校等） ④ 地域学校協働活動(コミュニティ・スクール) ⑤ 言語環境の充実・GIGA スクール構想の実現

4 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

① 教育理念の共有 ② 地域社会との連携・協働 ③「カリキュラム・マネジメント」の推進・充実 ④ 自律的学校経営の推進

指導行政推進の５つの視点

事　業	理　解	報　告	研　修	支　援
意図的・計画的に取り組むことで実践を確かなものにする	参加を通して情報の共有と共に考えることによって理解を深める	報告をまとめることで、分析・考察を通して自校の実践を振り返る	研修の機会を活かして指導技術を高め、明日の授業改善に結びつける	様々な支援策を通して一人一人の子供を大切にする
①学校支援訪問 ②学習内容の定着を図る取組 ③うるま市教育の日 ④指導主事要請訪問 ⑤中学生フォーラム ⑥児童会リーダー研修会 ⑦英語スキットコンテスト ⑧海外短期留学派遣事業 ⑨イングリッシュキャンプ ⑩研究指定校 ⑪定例校長会 ⑫定例教頭会 ⑬幼稚園教頭会 ⑭市民協働学校推進協議会 ⑮市教育支援委員会	①学力向上推進担当者会 ②生徒指導主任研修会 ③児童会・生徒会担当者研修会 ④キャリア教育担当者研修会 ⑤服務規律研修会(校内研) ⑥特別支援研修会(校内研) ⑦特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ⑧中学校区生徒指導連絡協議会 ⑨情報教育担当者会 ⑩教育相談担当者会 ⑪保幼こ小連絡会 ⑫ALT 担当者会 ⑬特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 ⑭教育支援担当者会	①全国学力学習状況調査 ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ③県到達度調査 ④県学力定着度調査 ⑤毎月の問題行動調査 ⑥毎月の児童生徒支援計画 ⑦学校評価の実施 ⑧教育支援センター成果報告会 ⑨学力向上推進の取組評価 ⑩児童生徒の活躍状況調査 ⑪教育実践グランプリ	①ブロック型研修会 ②各種研修 ・教職員研修 ・県内･県外視察研修 ③県立総合教育センター長期研修 ④教育支援センター長期研修 ⑤へき地教育研究大会 ⑥市民協働学校先進校視察 ⑦市民協働学校フォーラム ⑧国、県指定研究校 ⑨市指定研究校 ⑩統合型校務支援システム活用研修 ⑪GIGA スクール研修 ⑫特別支援学級担任等合同研修会 ⑬教科授業研修会	①ALT 配置、 ②学力向上支援員配置、 ③特別支援教育支援員配置、 ④医療的ケア看護職員配置、 ⑤ICT 支援員配置、 ⑥SSW r 配置、 ⑦スクールカウンセラー配置、 ⑧家庭支援員配置、 ⑨臨床心理士配置、 ⑩適応指導教室設置 ⑪教育相談室設置、 ⑫教育支援センター、 ⑬市教育支援委員会、 ⑭スクールバス運行 ⑮スクリレ活用、 ⑯放課後子ども教室、 ⑰地域学校協働本部、 ⑱家庭教育学級、 ⑲作業療法士による巡回相談、 ⑳自立支援員配置、 ㉑日本語教育支援員

学力向上推進構想図

＜学力向上推進協議会＞
中学校区ブロック部会（学校、家庭、地域）
共通実践項目、家庭・地域実践報告会

学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動

① 育てたい資質・能力の設定と教育目標の見直し
② 社会に開かれた教育課程の具現化
③ 横断的な指導の計画・実践・評価
④ 日常的な主体的・対話的で深い学び
⑤ カリキュラムマネジメントの実施
⑥ キャリア教育の推進

子供理解推進構想図

＜中学校区生徒指導連絡協議会＞
学校における生徒指導、教育相談、特別支援教育体制、児童会・生徒会活動の充実

教育研究へ

校内研修「何のために、どのような改善をしようとしているのか」（一人一人の実践）研究指定校「研究課題を踏まえた研究成果」の普及、個人研究等

組織マネジメントを活用した「チーム学校」の構築

○ 学校経営方針に基づく、学校経営の計画的な取組の推進
・校務組織の工夫改善　・校務改善の促進　・地域教育資源の活用
○ 中学校区ブロックの体制を生かした取組の推進
・学力向上推進三部会　・生徒指導連絡協議会　・保幼こ小中連携

教育実践へ

児童生徒への効果的な指導に役立てる。
○報告、伝達
○校内研修
○資料活用
○実践事例
○協議内容の反映

学校運営の支援

教育課程編成、各種指導計画
学年・学級経営、教科経営、特別支援学級経営、保健室経営、学校事務室経営、図書室経営、感染症対策、GIGA スクール構想の実現、SEL の実践による円滑な人間関係、学校における緊急支援

3　令和６年度 うるま市管理行政の基本方針

公教育を行うためには、全ての教職員が教育に携わる公務員として、職責の重大性を自覚し、情熱を持って教育の充実に取り組む必要がある。

あわせて、各校が校長のリーダーシップのもと、児童生徒の夢と笑顔を大切にし、組織マネジメントを生かした服務キャリア形成、研修体系を生かした研究および指導力の向上を目標に自主的・自律的に特色ある教育活動を展開していく必要がある。

めざす子供像

「生きる力」を身に付け
高い志をもった「うるまっ子」

めざす学校像

「地域と共にある学校」
地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校

求める教員像

①人間性豊かで教育者としての使命感と児童生徒への教育的愛情のある教員
②幅広い教養と教育に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある教員
③自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた教員
④豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った教員

教職員関係法令

・学校教育法、教育公務員特例法
・公立の義務教育諸学校等の給与等に関する特別措置法
・地方教育行政の組織及び運営に関する法律
・市町村立学校職員給与負担法
・教員免許法・地方公務員法
・労働基準法
・市立学校職員服務規程

これからの時代に必要な教師力の育成

～チーム学校の中で職能成長を図る～

令和６年度　努力目標

○ 未来志向を持って、教育施策の推進に努める
○ 共感的理解に立って、工夫・改善・協働に努める

育成方針

① 学校職員として職務に専念するとともに、授業及び校務を通して職能成長を図る
② 教職員研修計画に基づく研修の充実を通して指導力向上を図る

環境整備【教育の情報化】

○情報ネットワーク
○統合型校務支援システム
○GIGA スクール構想

子供達の学力保障と成長保障
「チーム学校」づくり推進

学び合う教職員の資質・能力向上
カリキュラム・マネジメントを生かした自立的学校経営の推進

主体的な資質向上・能力開発

研修履歴の記録（必須記録研修、任命権者が必要と認める研修）

児童生徒の資質・能力の育成

～子供の学ぶ力や育つ力を伸ばし高める～

心身の健康

定期健康診断の奨励
ストレスチェックの実施

各種表彰

○市教育委員会表彰（教職員）
○市教育実践グランプリ
○文部科学省、沖縄県等の表彰

教育実践を重ねることによる指導力の向上
～教職員研修事業計画を通して～

① 初任者研修
　○ 校内における研修、校外における研修
② 教職経験２年目研修
③ 教職経験３年目研修
④ 教職経験５年目研修
⑤ 中堅教諭等資質向上研修
⑥ 市教育支援センター長期研修
⑦ 県総合教育センター長期研修・夏季研修
⑧ 校内研修
　○ 授業研究、授業リフレクション
⑨ 中央研修、研究会活動における研究等

組織の一員のとしての自覚を高める職能成長
～組織マネジメント・服務の確立をとおして～

① 教職員評価システム（年３回）
　○ 資質・能力評価
　○ 業績評価
　○ 校長との面談
② 校内服務規律研修（コンプライアンスリーダー）
③ 学年・学級、教科経営案の作成、見直し等
④ 週案を通した日々の計画・実践・記録
⑤ 校務改善の努力
　○ 諸会議、諸連絡等の工夫改善
　○ 資料整理、事務引き継ぎ等の充実
⑥ メンタルヘルス
　○ 健康管理、休暇等の取得、出退勤時刻の確認

学校訪問

○学校支援訪問
○校内における要請訪問

教職員一人一人が資質・能力を発揮させるための４つの視点

支　え	学　び	培　う	育　ち
職員間、学校間の交流に積極的に取り組み、相互支援のある同僚性を身に付けるよう努める。	学習指導要領、諸研究資料に基づいた教材研究、指導方法の工夫改善に努める。	健康増進、深い教養に関心を持ち、情操豊かな教職経験を重ねていけるよう心がける。	社会人としての経験を豊かにするとともに、子供の多様な発達段階や校務の理解を深める。

学校間交流の機会を生かす

① 校内研修の学校間交流
② 校種間（保幼こ小、小中、中高）連携による交流
③ 県外学校との交流

日常的な同僚性の発揮と管理職による支援
～日頃からの授業参観をとおして～

①学年内におけるミドルリーダーとのコミュニケーションの充実（学年会・教科会、等）
②校長、副校長、教頭、主幹教諭による日常的な参観を通した助言と子どもへの励ましの言葉
③校内における相互授業参観の奨励

校外における研修機会を生かす

①各種研修会、研究発表会への積極的な参加による交流
②主体的な研究会活動への参加による専門性の向上

管理職による支援のポイント

教職員一人一人が、身に付けた資質・能力を発揮し、めざす子供像、学校像に迫るためには、学校における同僚性を生かすとともに、自ら授業や諸教育活動に興味を持って取り組むことが大切である。
そのためには４つの視点を持ち、教職のキャリア形成を踏まえて職能成長を重ねていくことが望ましい。

4　確かな学力の向上

目指すべき方向

学習指導要領改訂の趣旨を捉え，カリキュラムマネジメント及び「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り，「確かな学力」の向上に努めます。

目標

① 子供たちが夢を持ち，その実現に向けて主体的に取り組むことができるようにする。
② 学力向上推進５カ年プラン・プロジェクトⅡを推進し，授業における基本事項・うるま市重点項目「人を大切にする『聴くこと』」「勇気づけのボイスシャワー」「評価・改善」を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。
③ 学びの質を高める組織的な学校改善・授業改善の推進やカリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築に取り組む。
④ 学校・家庭・地域の連携協力を推進し，子供たちの健やかな成長を見守っていく。

現状と課題

○ 全国学力・学習状況調査・県学力定着調査・学力到達度調査において，小学校平均正答率は，国語・算数ともに県平均に近い値となっている。中学校の平均正答率は，県平均と比べ差が縮まりつつあるが，学校間差や学年間差が課題である。
○ ICT 機器を活用した学びの質を変える授業改善
○ 自己肯定感の醸成や，自己調整力・人とかかわる力の育成が十分とは言えない。

めざす子供像，教師像

子供像	○主体的に学習に取り組むことができる児童生徒 ○他者と関わり合いを大切にし，ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
教師像	○主体的に授業改善に取り組むことができる教師 ○子供や同僚と関わり，同僚性を高めながら互いに学び合うことができる教師

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善		
	主 な 施 策	○市教委学校訪問，教職員研修，SEL 研修，教育講演会 ○教科授業研究会，校内研・市指定研究の充実，学力向上支援員の配置，単元テスト導入 ○市学力向上推進協議会・三部会の取組（うるま６か条）
	日常化する 【質的授業改善】	**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善** ○生徒指導の４つのポイント※1を生かした授業改善・学級経営の充実 ○ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進 ○授業における基本事項の改善・充実（学習過程を意識した授業展開の工夫）
	そろえる 【組織的共通実践】	**学びの質を高める心理的安全性を基盤とした学校づくり・学級づくり** ○支持的風土づくりの４つのポイント※2に基づく学校経営・学級経営 ○調査に基づく児童生徒の実態分析・共有 ○SEL の共通実践（公開授業），小中共通実践の連携・協働
	支える 【発 達 の 支 援】	**児童生徒理解に基づく学校・学級経営の充実** ○社会性と情動の学習 SEL※3，UD 及び UDL の視点に立った関係づくり※4の推進 ○道徳・特別活動の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用・支援
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築** ○年間サイクル計画に基づく学力向上推進と生徒指導の一体的展開 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びに生かすテスト改善
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**市学力向上推進協議会と連携した取組の充実** ○小中連携の充実　○家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立 ○学力向上支援員の配置による学習支援・補習指導の体制づくり

※1：①安全・安心な風土の醸成，②自己存在感の感受，③共感的な人間関係の育成，④自己決定の場の提供
※2：「安心」「所属」「承認」「自立」を通して学校改善を図る。
※3：社会性と情動の学習 SEL（自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性に関するスキル，態度，価値観を育む学習プログラム）を通して，学校・教師・子供の社会性や学級の人間関係形成に役立てる。
※4：UD とは，特別な支援が必要な子を含めて，通常学級におけるすべての子が楽しく学び合い『わかる・できる』ことを目指す焦点化・視覚化・共有化を意識したユニバーサル授業デザイン。UDL とは，「どう教えるかではなく，どのように学ぶか」という「学習者主体」の学びのユニバーサル化のこと。

5　道徳教育の充実

目指すべき方向

児童生徒の道徳性の育成を通して、心身の調和のとれた発達と豊かな心の育成、個性の伸長を図るため、道徳教育の充実に努めます。

目標

① 道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
② 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
③ 各教科、外国語活動、総合的な活動の時間、特別活動等の特質に応じて、児童生徒の発達段階や特性等を考慮し，適切な指導を行う。
④ 学校・家庭・地域との共通理解を深め、相互の連携を図る。

現状と課題

○ 「主体的で対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の展開と更なる授業改善
○ 教科書を活用した道徳授業の取組と指導書に頼りすぎた授業づくり
○ 支持的な風土のある学校・学級経営の取組と「人と関わろうとする力」がまだ不十分な状況
○ 生命尊重や規範的な行動を促す道徳教育の実施と取組の充実

めざす子供像

いのちや人権を尊重する思いやりのある児童生徒
○ 発達段階に応じて、答えがひとつではない道徳的な課題に向き合う児童生徒
○ 自己を振り返り、これからの課題や目標を見いだすことができる児童生徒
○ 他者と関わり合いを大切にし、ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
○ いじめに対して、その間違いに気づき、友達・教師・家族に相談しながらいじめの防止等に主体的に関わる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善		
	主 な 施 策	○社会性と情動の学習 SEL に基づく対話的な風土づくり
	日常化する 【質的授業改善】	**「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の改善** ○市共通実践項目・市重点項目の徹底（人を大切にする「聴くこと」，勇気づけのボイスシャワー） ○多様な指導を取り入れた道徳の授業改善（問題解決的・対話的・体験的学習等） ○道徳科を核とした組織的な授業改善「考え、議論する道徳」 ○道徳科の授業で学んだことを意識した凡事徹底の推進
	そろえる 【組織的共通実践】	**児童生徒の実態把握と共有化** ○学年会・教科会の充実と評価の視点・観点の共有化 ○豊かな体験の充実と人間関係づくり、いじめの防止を図る。
	支える 【発 達 の 支 援】	**支持的風土をつくる学校経営・学級経営の充実** ○社会性と情動の学習 SEL、ＵＤ及びＵＤＬの視点に立った授業改善 ○道徳科を中心にした学級経営の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築** ○各教科との関連に基づく道徳教育の指導体制の充実 ○組織的な取組・充実による道徳教育全体計画，年間指導計画（別葉）の作成と授業づくり ○各学校の実状に応じた重点目標の明確化と，発達段階に応じた指導内容の重点
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**家庭・地域との緊密な相互連携** ○家庭・地域社会と連携した道徳教育（地域題材・地域人材の活用） ○家庭や地域と連携した道徳教育の充実とキャリア教育の視点を踏まえた校種間連携

6　健やかな心と体を育む教育の充実

目指すべき方向

健康で心豊かな人を育むため、学校体育やスポーツに親しみ、健康や体力の保持増進の基礎づくりを進めます。また、運動部活動の活性化や適正化を促進し、発達段階に応じた基礎的な体力の向上に努めます。学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めます。

目標

① 心と体を一体としてとらえた健康の保持増進と体力の向上を図り、保健安全及び食に関する指導を学校の教育活動全体を通して行う。
② 生涯スポーツの基礎となる体力の向上を目ざした取組を充実させる。

現状と課題

○ 各学校における健康教育に対しての創意工夫した実践
○ 新体力テスト・泳力調査結果の考察及び改善に向けた取組の実施
○ 肥満傾向、体力・運動能力の低下傾向
○ 部活動加入率（57%）＊学校運動部（45%）＊学校文化部（7%）＊学校外活動（4%）

めざす子供像

○ 心身の健康について考えて行動できる児童生徒
○ 生涯にわたって運動に慣れ親しむことのできる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○小学校体育専科教員配置の活用・推進（伊波小） ※休日部活動の段階的な地域移行に向けた取組 ○スポーツ力向上促進事業（9 学校・28 部活） ○地域部活動推進事業（2 部活・スポーツ庁委託） ○地域×スポーツクラブ産業（経済産業省委託） ○部活動指導員配置事業（4 部活 4 人）
	日常化する 【質的授業改善】	**1 体育に関する指導（体力向上）**　＊一校一運動・小中連携の取組 生涯にわたり運動やスポーツを豊かに実践し、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、自ら進んで運動に親しみ、心身を鍛える指導
	そろえる 【組織的共通実践】	**2 安全に関する指導（学校安全）** 生活安全、交通安全及び防災に関する指導や情報技術の進展に伴う事件・事故の防止 また、非常時において、児童・生徒自ら適切に判断し、行動できるよう指導
	支える 【発 達 の 支 援】	**3 食育に関する指導** 食育に関することを中心に健康についての知識を身に付け、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することができるようにする指導
	見通す 【学校組織マネジメント】	**4 心身の健康の保持増進に関する指導（健康教育）** ＊薬物乱用防止集会・思春期教室・性教育等 健康情報や性・薬物等に関する情報を正しく選択して適切に行動することができ、心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるような指導
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**5 部活動（スポーツ少年団含む）等**　＊市スポーツ力向上促進事業 ○毎年度「学校の運動部（文化部）活動に係る活動方針」を策定し、生徒が参加しやすい実施形態等を工夫するとともに、毎年度末に見直しを図る。 ○学童期における社会体育活動（スポーツ少年団）の各競技指導者との連携を密に行い、学校経営方針に沿った適切な活動の推進 ○休養日や活動時間の設定による、短時間で合理的・効率的・効果的な指導

7　生徒指導の充実

目指すべき方向

基本的な生活習慣や態度を育て、自ら主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができる心豊かで明るく伸びやかな児童生徒の育成に努めます。

目標

① 児童生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう、自己指導能力の育成に努める。
② 児童生徒理解に基づいた生徒指導を適切な生徒指導・教育相談体制のもとで行い、教師と児童生徒の信頼関係および児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる。
③ 生徒指導４つのポイントを生かした授業の充実、自己有用感を育てる学級経営，学年経営を充実させ「学習における居場所」「活躍の場」「絆」づくりを推進する。
④ 家庭・地域との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実に努める。
⑤ 児童生徒の実態把握に努め，いじめや不登校、その他問題行動等の未然防止を図る。

現状と課題

○ 不登校児童生徒の増加および要因の多様化
○ 児童生徒間暴力の増加
○ SNS を介した諸問題対応に苦慮している。
○ 他部署との円滑な情報連携および行動連携が図られてきている。

めざす子供像

○ 自分自身と仲間を大切にできる児童生徒
○ 自分で考え、判断、行動し、問題解決ができる児童生徒
○ 自分のよさや興味関心を生かし、自発的に学ぶことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○不登校・いじめ問題対策連絡協議会　○いじめ問題対策審議会 ○小中生徒指導主任研修会（警察署との連携）○児童生徒指導関連研修会 ○不登校問題対策支援訪問　○不登校問題ヒヤリング ○県/市 SSWr・家庭支援員合同研修会（ＳＶ研修会含む）
	日常化する 【質的授業改善】	○生徒指導の４つのポイントを生かした授業の充実 （「規範意識」「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」） ○授業における基本事項・共通実践項目の徹底 ○全ての児童生徒に活躍する場を与える取り組みの推進
	そろえる 【組織的共通実践】	○ガイダンスとカウンセリング機能の充実 ○「一人一人の居場所」「活躍の場」づくりを意識した経営の充実 ○アンケートや教育相談等での実態把握、早期発見・早期対応（いじめ防止）
	支える 【発 達 の 支 援】	○支持的風土・互いに認め合い、支え合う風土の醸成を図る学校・学級経営 ○学びに向かう集団づくり（SEL の実践） ○アセスメント調査の実施と活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題解決に向けた組織マネジメントを高める ○生徒指導 PDCA サイクル×３を活用した指導体制の推進
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○学校・家庭・地域の連携の充実 ○中学校区生徒指導連絡協議会の機能化（情報連携・行動連携等） ○関係機関（福祉面）とのサポートチーム体制の構築と推進

8　キャリア教育の充実

目指すべき方向

学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させるなどキャリア教育の推進に努めます。

目標

① 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
② 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てる。
③ 望ましい勤労観・職業観を育てる。

現状と課題

○ 学校において、キャリア教育の全体計画・キャリア教育学習プログラムが作成され、推進されている。
○ うるま市キャリア教育推進事業「ミライカナイ・プログラム」によって、学校と企業・地域をつなぎ、ワーカーズトーク・拠点型職業体験・各種ワークショップ等の取組が充実している。

めざす子供像

○ 主体的に自己実現を図ろうとする児童生徒
○ 学ぶ意欲を持ち、将来社会的自立に必要な資質・能力を身に付ける児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○４つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成の指導助言 ○商工労政課と連携し、ワーカーズトーク、社会人講話、マナー講座等のキャリア教育推進事業の展開を図る。 ○キャリア教育担当者研修会を実施し、学級活動内容（3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」等の指導の充実を図る
	日常化する 【質的授業改善】	○特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12 年間の学びの履歴をつなぐ ○進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
	そろえる 【組織的共通実践】	○特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12 年間の学びの履歴をつなぐ ○進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
	支える 【発 達 の 支 援】	○職場体験活動(小：ワーカーズトーク、職場見学、中：職場体験)の充実を図る。 ○相談活動･ガイダンス機能を充実させた進路指導と進路情報の家庭への積極的な情報提供
	見通す 【学校組織マネジメント】	○「基礎的・汎用的能力」４つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成 ①人間関係形成・社会形成能力　②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力　④キャリアプランニング能力 ○「学ぶ意義」や「学び・育ちの実感」を積み重ねていく学校教育活動の工夫・改善 ○カリキュラム・マネジメントの視点に基づいた共通実践
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○卒業生や地域人材等を活用して、学校生活と将来の職業のつながりについての進路学習会等を実施 ○地域学校協働活動との関連

9　特別活動の充実

目指すべき方向

自ら学び考え、自らを律しつつ他者と協働できる豊かな人間性・社会性の育成を図る特別活動の充実に努めます。

目標

① 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。
② 集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために、合意形成を図ったり、意思決定ができるようにする。
③ 身に付けたことを生かし、自己（人間として）の生き方についての考え（自覚）を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

現状と課題

○ 集団活動や学校行事の工夫、児童会・生徒会活動の活性化を図っている。
○ 小学校では、集会活動や係活動を通して友達と一緒に活動する楽しさを味わわせている。
○ 中学校では、キャリア教育と関連させながら自治的活動が行われ、生徒の社会性、自立性の向上を図っている。
○ 学級活動の学習過程を踏まえた実践

めざす子供像

○ 互いに協力し合って望ましい人間関係を築ける児童生徒
○ 自分のよさや可能性を学校生活の中で、積極的に生かすことができる児童生徒
○ 体験活動等を通して、自分の将来について考え、生かすことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○全体計画及び年間指導計画を基にした特別活動の充実に向けた支援 ○「うるま市小中学校フォーラム」の開催 ○児童会・生徒会担当者研修会 ○学習過程を踏まえた授業展開を図る研修会の実施
	日常化する 【質的授業改善】	○学習過程を踏まえた話合い活動の授業スタイル確立（合意形成・意思決定） ○学級活動サイクル（PDCA）に取組み、主体的な態度を育む。 ○生徒指導の４つのポイントを生かした授業改善 ○係活動や児童会・生徒会活動等を通した望ましい人間関係の構築
	そろえる 【組織的共通実践】	○特別活動の教育的意義理解と、学校全体での組織的な推進 ○育てたい資質・能力を明確にした、具体的・実践的な全体計画の作成 ○道徳教育・生徒指導の重点化などを踏まえた指導内容の重点化を図る ○学級活動と児童会・生徒会活動との連動 ○「キャリア・パスポート」の効果的な活用
	支える 【発 達 の 支 援】	○児童生徒理解（行動観察・アセス等の活用）による承認関係及び指導・支援体制の構築 ○教師の意図的、計画的な指導と子供の主体的な活動による支持的風土　をつくる学校・学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） ○児童生徒と共に話し合い、決定した学級目標の設定（教室掲示用）
	見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題解決に向けた組織マネジメント機能の向上 ○学級・学年経営や学級活動に関する校内研修や OJT の実施 ○年間を見通した年度初めの学年・学級開きの強化
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○自然や伝統・文化とのふれあいや地域の人々との幅広い交流 ○地域人材・物的資源の効果的な活用 ○小中、小小連携した取組（学校間の交流等）

１０　特別支援教育の充実

目指すべき方向

障がいのある児童生徒が自立し、社会参加するための基盤を培う教育の充実に努めます。

目標

① 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は、克服するための適切な指導や必要な支援を行う。
② 特別支援教育に関する校内教育支援委員会等の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の構築と、全職員が一体となった組織的な取組を推進する。

現状と課題

○ 特別支援学級 146 学級、言語通級指導教室 1 学級、発達障害通級指導教室 1 学級。
○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内教育支援委員会を機能的に活用し、校内体制の充実に努めている。

めざす子供像

○ 自己の自立や社会参加に向けて持てる力を発揮できる児童生徒
○ 正しい障がい理解、自己理解、他者理解を深める児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○うるま市教育支援委員会　○うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ○教育支援担当者会　○作業療法士による巡回相談　○言語聴覚士による訓練-相談 ○特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員の配置及び研修会の実施 ○うるま市特別支援教育研究会、中頭難聴・言語障害研究会との連携 ○関係機関との連携した取り組みの実施（うるま市教福連携プロジェクト）
	日常化する 【質的授業改善】	**個々の特性に応じた指導の充実** ○校内教育支援委員会において個の実態の把握と支援方法の検討 ○生活や学習上の困難さに関する実態把握を行い担任による継続した個別指導の実践（UD 及び UDL の視点に立った授業づくり） ○生徒指導 4 つのポイントを活かした授業の実践 ○児童生徒の障がいの特性に応じた「自立活動」の充実
	そろえる 【組織的共通実践】	**児童生徒の実態把握に基づく組織的・計画的な取組** ○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用、見直し、小中学校間の確実な引継ぎの実施 ○教育相談や生徒指導と連携したチームとしての対応の充実（共通理解・共通実践） ○校内研修や OJT を通した特別な支援を必要とする児童生徒への指導方法や指導上の留意点等についての理解深化、専門性の向上に努める。
	支える 【発 達 の 支 援】	**児童生徒理解に基づく学校・学級経営　～全ての子が過ごしやすい学校・学級～** ○特別支援学級の弾力的な運用、恒常的な体験入学等の実施 ○確かな児童生徒理解（行動観察、心理検査・アセス等の活用） ○支持的な風土をつくる学校、学級経営（SEL、特別活動の充実） ○合理的配慮（教育的ニーズに応じた指導）の適切な提供 ○特別支援教育支援員や医療的ケア看護職員の効果的な活用
	見通す 【学校組織マネジメント】	**カリキュラムマネジメントの視点に基づく校内支援体制の構築** ○校長のリーダーシップのもと、学校経営計画に基本方針を示し、全教職員が協力し、組織的、計画的な支援を推進する。（個別の指導計画の活用） ○個に応じた教育課程の編成 ○校内教育支援委員会の機能化に努め、丁寧な教育相談や就学支援を継続的に実施する。 ○特別支援教育コーディネーター → 全職員協働体制 → 校内研修
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	**切れ目のない支援の充実** ○交流及び共同学習の充実 ○保幼こ・小・中やうるま市教育支援委員会、教育相談員、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士・うるまこどもステーション等と連携した取組の推進 ○トライアングルプロジェクト（教育・福祉・家庭の一層の連携）の推進 ○特別支援学校のセンター的役割としての活用

１１　安全教育・防災教育の充実

目指すべき方向

自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、安全な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全確保に努めます。

目標

① 児童生徒が、安全で安心して学校生活を過ごせるような環境づくりに努める。
② 学校安全計画、危機管理マニュアル等を活用した安全指導の充実に努める。
③ 児童生徒が、登下校を含め地域で安心して生活できるように、家庭や地域社会、関係機関・団体と連携した取組を推進する。

現状と課題

○ 登下校時、道路を横断する際に起きた自動車との接触事故（6 件）
○ ふざけ合い等の中で起きたケガ（4 件）
○ 学校等からの不審者情報（7 件）
○ 通学路における必要点検箇所中学校区（40 件）＊令和 4 年度

めざす子供像

○ 決まりを守り、安全に行動できる児童生徒
○ 自分や他人の生命を尊重し、大切にできる児童生徒
○ 危険を予測して、正しい判断、行動ができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○交通安全教室　○学校安全担当者会　○通学路安全推進会議 ○通学路合同安全点検（学校教育課/学校/市民協働課/維持管理課/警察署/中部土木事務所/各自治会）
	日常化する 【質的授業改善】	○学校安全計画の作成と活用（定期的、日常的な点検、情報の収集） ○児童生徒による地域安全マップの作成を通した危機回避能力の育成 ○児童生徒の安全に対する意識の高揚を図る取組の推進
	そろえる 【組織的共通実践】	○安全点検表等による定期的、臨時的、日常的な安全点検の徹底 ○避難訓練、校内研修、各教科における「危機管理マニュアル」の効果的活用
	支える 【発 達 の 支 援】	○防犯・防災訓練、交通安全教室による児童生徒の危機管理能力の育成 ○児童生徒が安心して学べる場となるような校舎内外の学習環境の整備・充実 ○危険箇所への早期対応と安全対策の表示等の徹底
	見通す 【学校組織マネジメント】	○各校の実情に応じた独自の「危機管理マニュアル」の作成 ○円滑な安全教育、安全管理のための学校安全体制の構築
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○保護者及び地域、関係機関等と連携した学校安全教育の充実 ○不審者情報の発信や注意喚起、地域巡回の実施 ○通学路安全点検の実施と危険箇所についての安全マップ作成 ○市教委、警察署、道路管理者と連携した危険箇所の改善 ○保護者、地域関係者を含む「危機管理マニュアル検討委員会」の設置

１２　人権教育の充実

目指すべき方向

教育活動全体を通し、人権の意義や重要性を理解させ、自他ともに大切にする心を育成するため、人権教育の充実に努めます。

目標

①児童生徒が発達段階に応じ、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるようになり、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。
②日常的なかかわりの中で、教職員と児童生徒間の信頼関係づくり、児童生徒相互の人間関係づくりに努め、共生の心を育てる。

現状と課題

○各学校において「人権を考える日」を設定している。
○人権に関する授業の実践を行っている。
○社会性の未熟さから、人間関係を調整する能力に課題がある児童生徒がおり、いじめや対人トラブルが生じている。

めざす子供像

○多様な他者との「違い」を豊かにとらえることができる児童生徒。
○他の人ともよりよく生きるというノーマライゼーションの理念を理解することができる児童生徒。
○自分の人権を守り、他の人の人権を守るための実践的な行動ができる児童生徒
○「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主な施策	○児童生徒の学校生活や日常生活における様々な困難や悩みに対して、必要な支援が受けられるよう、関係機関と連絡を密にする。 ○「人権を考える日」の設定及び「生徒指導提要」、「沖縄県性の多様性尊重宣言」、「人権教育の指導方法等の在り方について」の活用等、人権感覚を身に付ける取組の充実を支援する。 ○コミュニケーションの能力の向上を図るため、SEL や特別活動の充実のための研修を実施する。 ○人権擁護委員を活用した「人権教室」の計画的な実施を支援する。
	日常化する 【質的授業改善】	○各教科等において、互いの考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、理解する活動を積極的に行い、コミュニケーション能力を育む。 ○人権感覚を身につけるため、学校生活全体で自他が認められ大切にされていることを実感できるよう教育活動の充実を図る。 ○「人権ガイドブック」等の資料を活用した人権教育に関する校内研修等を実施し、人権感覚と人権に関する理解を深め、全職員体制で組織的・計画的な指導に努める。
	そろえる 【組織的共通実践】	○児童生徒や教職員の人権意識を高めるため「人権を考える日」を位置づけ、児童生徒の実態や課題に応じた指導計画を作成するとともに、指導方法を工夫する。
	支える 【発達の支援】	○自己効力感、　自己有用感、を感じ、自尊感情の高まりが得られる学級経営を目指し、自他を大切にする心情を養う。 ○自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるよう支持的風土の醸成に努める。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○各学期や年度ごとに活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かすことで、人権教育の充実を図る。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○家庭や地域、関係機関と連携し、講話やボランティア活動、社会体験活動、高齢者や障害者等との交流など、豊かな体験の機会の充実を図り、指導の工夫・改善に努める。

１３　平和教育の充実

目指すべき方向

平和教育の充実に努め、生命の尊重や個人の尊厳を基盤に「思いやりの心」や「寛容」、「相互理解」など豊かな心や平和を希求する心を育みます。

目標

①平和で持続可能な社会の形成者となるため、生命の尊重と個人の尊厳を基盤に、思いやりの心や寛容の心を育む。
②自国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成及び次世代に継承していこうとする態度を育成する。

現状と課題

○各学校教育課程において「平和教育計画」を位置付け地域人材の活用、地域素材の教材化を進めている。
○発達段階に応じた平和学習が展開されている。
○体験的な活動を実施している。
○教育活動全体で取り組む必要がある。
○戦争体験者の高齢化により、語り手が減少している。

めざす子供像

○「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。
○「共感」「許し」等、和解に向けて、よりよい人間関係を構築できる児童生徒。

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主な施策	○沖縄県及びうるま市内の地域教材及び人材活用の充実を支援する。 （「慰霊の日」、「海から豚がやってきた」、「沖縄本土復帰」等に関連する資料の提供と活用方法等の周知）。 ○うるま市教育委員会ポータルサイトを内に平和教育に関するコンテンツを示し、平和学習の充実を支援する。 ○戦争体験者の高齢化により語り手が減少する中、教職員の初任者研修や校内研修等において平和教育を位置付け、教師の指導力の向上を図るとともに、研鑽を深める。
	日常化する 【質的授業改善】	○児童生徒が「問い」を持って平和について主体的に考えることができる平和教育を推進する ○平和学習ポータルサイトを活用し、地域の戦跡や 資料館、証言等の文献などを調べたり、実地調査を行ったりする等、体験的な学習を行う。 ○沖縄県の歴史的特性に基づき、沖縄戦の実装や教訓を継承し、平和の大切さを自ら発信し、平和を構築できる児童生徒の育成に努める。 ○学校教育全体を通じ、平和に対する多様な考え方や異なる文化を理解する態度を育成するため、指導方法の工夫・改善を図る。
	そろえる 【組織的共通実践】	○平和教育の指導の在り方について研修の機会を持ち、教職員間で共通理解を図る。 ○「慰霊の日」などに関する授業の充実を図るため、平和教育月間等を設け、平和教育を推進する。
	支える 【発達の支援】	○児童生徒の発達の段階に応じた平和教育を教育活動全体を通して推進する ○小学校では、飼育・栽培活動等の体験的学習を通して、生命を慈しみ大切にする心を育て、友達との遊びやふれあいの中から、思いやりの心、寛容の心を育成するよう努める。 ○中学校では、生命の尊重や個人の尊厳、国際社会の平和に関する具体的な認識と、紛争問題への総合的な把握力、探求能力を育てるよう努める
	見通す 【学校組織マネジメント】	○校内に推進組織を位置付けるなど全職員による指導体制の確立に努める ○各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の目標や内容との関連を明確にしながら、各教科等の年間指導計画に位置付ける ○活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かす。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○体験的な学習や地域人材の活用など指導方法の工夫・改善を図る。 ○郷土の歴史を教材化し、その中で平和の尊さを指導する。

１４　国際理解教育・外国語教育の充実

目指すべき方向

国際理解教育・外国語教育の充実を図るとともに、児童生徒の国際交流事業を計画・実施し、国際社会の中で活躍できる人材の育成に努めます。

目標

① 広い視野を持ち、郷土を愛し、異なる文化を持った人々と共に協調していく資質や能力をもつ人材を育成する。
② 小学校段階からの国際理解教育を図り、あわせてコミュニケーションの手段として外国語(英語)に慣れ親しませ、中学校外国語(英語)教育との円滑な接続と学びの連続性を踏まえた外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する。

現状と課題

○ 小学校第３・４学年の外国語活動、第５・６学年の外国語科の授業において担任と ALT(外国語指導助手)が T・T による授業を実施
○ 各小中学校に ALT を配置予定
○ 令和５年度英語検定合格者数 985 名【合格率 50.9%（985/1934)、前年度 48.2%（1060/2200)）

めざす子供像

○ 広い視野を持ち，異なる文化を理解し、郷土を誇れる児童生徒
○ 英語でコミュニケーションを図れる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○ALT（外国語指導助手）配置 ○中学校英語スキットコンテスト ○市英語等検定料補助金交付事業(実用英語技能検定(英検)の受検費用補助) ○イングリッシュキャンプ（小学 5/6 年対象）
	日常化する 【質的授業改善】	○単元を見通した資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導の４つのポイントを生かした授業 ○よさや進捗状況の積極的評価 ○語彙数の増加に伴う、より多くの語に触れる機会の提供
	そろえる 【組織的共通実践】	○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○「話すこと（やりとり)」領域を踏まえた言語活動の継続的指導 ○言語活動を通した、新しい文法事項の導入 ○視点・観点をそろえた評価の実施
	支える 【発 達 の 支 援】	○ALT とのチーム・ティーチングの充実によるコミュニケーション能力の育成 ○英語検定等の技能試験に向けての指導 ○世界とつなぐオンライン学習・国際交流プラットホーム「World Classroom」の試験導入
	見通す 【学校組織マネジメント】	○小学校での指導を踏まえ、中学校において５つの領域の言語活動を通した、英語によるコミュニケーション能力の育成 ○諸学力調査の結果分析に基づくカリキュラムマネジメントを意識した授業改善 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びを生かすテスト改善
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○小学校外国語科との連携 ○国際理解教育の充実（郷土の自然・歴史・文化や生活習慣などの紹介） ○地域人材等を活用した、異文化交流、異文化体験、英会話の体験等、学習したことのアウトプットの機会の提供

１５　情報教育の充実（情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実）

目指すべき方向

　コンピュータやインターネットを活用し情報化社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成と情報モラルに関する指導の充実に努めます。

目標

① ICT 機器を効果的に活用し、児童生徒の情報活用能力を育成する。
② 教師の ICT 活用能力の向上を図り、「わかる授業」に向けた工夫改善を図る。
③ 各教科等におけるプログラミング教育を通して、プログラミング的思考を育む。
④ 「GIGA スクール構想の実現」に向けて組織的、意図的に取り組む。
⑤ 児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育指導計画を作成し、系統的、継続的に指導する。

現状と課題

○ H27 年度に市内小中学校へ設置した電子黒板の更新が必要。
○ １人１台端末の整備が完了(R3 年 4 月)。ICT 支援員 4 名を配置し ICT 機器の活用が進むよう支援。
○ 教師の ICT 活用能力の更なる向上。
○ プログラミング教育の充実を目指した GIGA 端末 Scratch 導入と情報モラル教育の推進。

めざす子供像

○ 主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解する児童生徒
○ 他者と協働して、新たな価値を見出し、問題を解決しようとする児童生徒
（うるま市 GIGA スクール構想推進ビジョン）

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○計画的な情報教育担当者研修会の開催 ○各種研修会の実施 ○LINE みらい財団と連携した情報モラル教育教材の展開
	日常化する 【質的授業改善】	○GIGA スクール構想ステップ２「教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。」取組から、ステップ３「教科の学びをつなぐ。社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。」を見据えた授業実践。
	そろえる 【組織的共通実践】	○情報活用能力の育成について体系的・継続的に取り組む。 ○児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の実践。 ○端末を活用し、情報の収集、整理・比較、発信・伝達、保存・共有などの学習活動を行う。
	支える 【発 達 の 支 援】	○個に応じた支援ができる授業の実践。 ○教材の拡大提示による視覚的でわかりやすい授業の実践。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○情報活用能力の体系表を作成し、体系表に基づいた評価・改善を行う。 ○ねらいを明確にし、意図的・計画的な研修を実施する。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○情報教育に関する研修会を開催して、よい取組や実践を共有することにより、情報教育の更なる充実を図る。

１６　へき地・島しょ地域の教育の推進

目指すべき方向

へき地・島しょ地域では、小中連携を通して、地域に適した特色ある教育の推進に努めます。

目標

① へき地・島しょ地域の特性を生かした地域に根ざした教育課程の編成を行い、主体的で創造性豊かな自立心のある児童生徒の育成に努める。
② 児童生徒一人一人の特性を把握し、少人数指導や複式学級における個に応じた指導を充実すると共に、交流学習を実施し、集団活動の充実に努める。

現状と課題

○ 彩橋小中学校、津堅小中学校の２校。
○ 豊かな自然環境に恵まれ、地域の積極的な協力が得やすい。
○ 地域行事に関わる機会が多く、地域に根ざした教育が推進できる。
○ 津堅小中学校は複式学級を有し、教師の創意工夫のもとに複式授業が行われている。
○ 少人数のため人間関係の固定化が見られ、集団での活動経験や交流の機会が不足している。
○ 特別支援教育を必要とする児童生徒の割合が高い。
○ Ｎ高等学校と連携し、特色あるネット課外活動を実施している。

めざす子供像

○ 夢や希望を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む児童生徒
○ 地域に誇りを持ち、地域の良さを発信することができる児童生徒
○ 社会に関心を持ち、広い視野を持って学習に取り組むことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○へき地児童生徒援助費補助金事業 ○彩橋小中学校通学支援費補助 ○ICT を活用した特色ある学校づくり事業（N 高等学校との連携）
	日常化する 【質的授業改善】	○少人数、複式指導による個に応じた細やかな指導の充実 ○自学自習力を育成し、複式授業における間接指導の充実を図る。 ○ICT 端末の活用を促進し、情報活用能力や表現力を育成する。
	そろえる 【組織的共通実践】	○小中学部会や小中生徒指導、教育相談部会等小中連携した取組の充実 ○合同学習、集合学習、交流学習※を通し、集団での学習の充実に取り組む。 ○県や九州のへき地教育研究大会への参加を通し、へき地校の課題解決に向けた取組の充実に努め、授業力向上を図る。
	支える 【発 達 の 支 援】	○交流学習を通して多くの同年代の子供たちとの関わりを持つことで、自主性や社会性を育て、中学卒業後を見据えた指導を行う。（SEL） ○ＵＤ及び UDL の視点に立った授業づくりに取り組む。
	見通す 【学校組織マネジメント】	○９年間を見通した学校組織体制の構築 ○保幼こ・小・中学校を通して子供たちの育ちや生活指導、学習指導等、個々の情報を共有し合い、ｶﾘｷｭﾗﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの視点に基づいた共通実践に取り組む。
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○地域のよさを知るとともに、誇りと愛着がもてるよう地域の文化、環境、歴史についての体験活動を取り入れた学習の工夫改善に取り組む。 ○近隣の学校と日常的に情報交換や意見交換を行うとともに、交流学習やネット授業、ブロック連携を通し、実践研究の充実に取り組む。

※合同学習・・・１つの学校で、２学級以上の児童生徒が一緒に学習し、一定の人数の集団が必要な学習や異年齢集団のよさを生かした学習を展開する教育方法
※集合学習・・・近隣の２校以上の児童生徒が一か所に集まり、各領域などの指導の計画の一部の学習活動を各学校の教師の協力的な指導により展開する教育方法
※交流学習・・・学校規模や生活環境の異なる学校間で姉妹校的な関係を結び、それぞれの学校が単独では体験できない学習や生活をさせる教育方法

１７　市民協働学校（コミュニティ・スクール）の促進

目指すべき方向

学校と保護者・地域住民が力を合わせて、学校の運営に取り組むことが可能となる仕組みづくりを促進する。

目標

①よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子供達のために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。

②学校運営協議会を通して、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを促進する。

現状と課題

○ 地域住民等の理解と協力を得て、地域教育資源を生かした授業づくりが行われている。

○ 子供たちに地域に対する誇りや地域の担い手としての自覚が高まってきている。

○ 学習支援ボランティアの人員の確保や多様な活動、継続的な活動の維持及び推進に課題。

めざす子供像

○ 生まれ育った地域のよさに気づき、「愛着心」をもつことによって、心穏やかに学校生活を送る児童生徒

○ 学校づくりに参画する大人と接することで次の地域の担い手を志す児童生徒

教育委員会の取組

○ 各学校運営協議会の推進体制の構築を図る。

○ 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の配置。

○ （仮称）市民協働学校フォーラムにて学校運営協議会制度に係る意見交換等を行う（市内各学校取り組み事例の共有化等)。

「社会に開かれた教育課程」の実現
① 行政及び学校は市民に対し、市民協働学校（学校運営協議会制度）の目的・仕組みについて理解を図る。
② 学校は、市民協働学校において地域でどのような子供達を育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンについて、保護者、地域住民等と共有し、できることから実践する。
③ 市民協働学校において、学校課題について地域住民等と共有し、対応策について熟議する。
④ 学校は地域連携担当職員、地域学校協働活動推進員を中心に、地域との協働による授業や体験活動等の調整をし、円滑に行われるようにする。
⑤ 学校、保護者、地域がそれぞれの役割を明確にして連携し、地域人材を活用し「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。
⑥ 学校教育情報を積極的に保護者・地域住民へ周知する。

１８　研究・研修

目指すべき方向

本市の教育の現状をふまえ、これからの時代をたくましく生きる子どもの育成を図るため、学校教育に関する研究、教育関係職員の研修を実施します。

目標

① 本市の教育の課題に即した研究を行い、その結果を教育関係者に提供する。
② 教育職員の研修を計画・実施し、教育実践上の課題を解明する。
③ 教育研究のための資料を収集して、教育関係者に供する。

現状と課題

○ 過去３年間の研究教員採用人数は、令和３年度４名、令和４年度３名、令和５年度１名。
○ 過去３年間の教育実践グランプリ応募作品数の推移は、令和３年度５作品、令和４年度 10 作品、令和５年度 13 作品。
○ 教師エージェンシーの高まりとその発揮を期待して、令和５年度より教育実践グランプリにアイデア部門を新設した。

めざす子供像

○ 主体的に学習に取り組み、自分自身の力で学びを獲得することができる児童生徒
○ 他者と関わりながら課題解決に向けて協働的に取り組むことができる児童生徒

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善	主 な 施 策	○研究教員に係る事業 ○経年研修を中心とした教員研修の実施 ○教育実践グランプリの開催
	日常化する 【質的授業改善】	○質的授業改善の土台となる学級経営の充実（支持的風土のある学級づくり） ○生徒指導の４つのポイント（安心・安全な風土、自己存在感の感受、共感的な人間関係、自己決定の場の提供）を生かした授業実践 ○日々のリフレクションとそこでの気づきを次に生かす改善サイクル
	そろえる 【組織的共通実践】	○子どもの自己肯定感を育む勇気づけのボイスシャワー ○子どもの学びの丁寧な見取りと価値づけ ○端末を活用した授業の展開
	支える 【発 達 の 支 援】	○確かな児童生徒理解とそれを土台とした支援の充実 ○児童生徒の主体的な学びを促し、それを支える教師の姿勢
	見通す 【学校組織マネジメント】	○沖縄県公立学校教員等育成指標の視点に基づく組織的教員等育成 ○教員一人一人の資質能力向上及びチーム学校の一員として連携･協働できる組織体制の構築
	つなぐ 【学校連携・地域連携】	○学校と家庭の互恵的な関係づくり ○児童生徒の学び・育ちを見通した中学校ブロックにおける連携した取組

19　事業計画

令和6年度 教職員研修等事業

1 市定例校長会 ： 担当 主幹

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4 月 24 日（水）	市内小中校長顔合わせ･教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	4 月 27 日（木）	教育長あいさつ･不登校･いじめ問題等対策連絡協議会	西棟3階 第一会議室		
③	5月 22 日（水）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
④	6 月 13 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑤	7月 11 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑥	8月 22 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑦	9月 12 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑧	10 月 17 日（木）	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑨	11 月 13 日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑩	12 月 12 日(木)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑪	1 月9日(木)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑫	2 月5日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑬	2 月 14 日(金)	臨時校長会（定期人事異動内示）	西棟3階 第一会議室		
⑬	3 月 14 日(金)	教育長あいさつ･退職者/市外異動者あいさつ･行政説明	西棟3階 第一会議室		

2 市定例教頭会 ： 担当 仲吉

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4 月 25 日(木)	市内小中教頭顔合わせ･教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室	職務	—
②	7 月 12 日(金)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室		
③	12 月 4 日(水)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階 第一会議室		
④	3 月 17 日(月)	教育長/部長あいさつ･行政説明	西棟 3 階第一		

3 児童生徒指導関連研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月 26 日（金）	市内小中生徒指導主任及び関係機関との顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	2 月21日（金）	今年度の問題行動報告会			

4 市中学校生徒指導関連研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	7 月5日（金）	・問題行動等の状況確認・対策等 ・警察署との連携・情報交換	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	11 月 15 日（金）		西棟3階 中会議室		

5 SSWr・教育相談担当者・自立支援員研修会 ： 担当 仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月2日(火)	任用説明会・各関係機関顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	5 月 30 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 第一会議室		
③	6 月 27 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
④	7 月 22日(月)	SV研修会（予定）	西棟3階 中会議室		
⑤	8 月 13 日(火)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑥	9 月 27 日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑦	10 月 30 日(水)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑧	11 月 26 日(火)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑨	12 月 16 日(月)	SV研修会（予定）	西棟3階 第一会議室		
⑩	1 月 27日(月)	各学校の相談活動など情報交換会（教育相談担当者参加）	西棟3階 中会議室		
⑪	2 月 27 日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑫	3 月 25日(火)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		

6 学力向上推進担当者研修会 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5 月8日（水）	うるまのみらいの推進に向けて（対話型研修）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	10月 16日（水）	各学校の良さと課題・情報共有（対話型研修）			
③	2月5日（水）	まとめと次年度計画（対話型研修）			

7 学力向上支援員研修会 ： 担当 儀間

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月5日(金)	服務指導、勤務形態、業務確認、心構え等	西棟3階 第一会議室	職務	―
②	7 月 16 日(火)	豊かな関わりを中心とした支援のあり方（対話型研修）			
③	12 月 18 日(水)	成果と課題・改善策、次年度に向けて（対話型研修）			

8 研究主任研修会:担当 儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月 13 日(月)	うるまのみらいの推進に向けて（対話型研修）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	12 月 6 日（金）	各学校の良さと課題・情報共有（対話型研修）	西棟3階 第一会議室		
③	2月 19 日(水)	まとめと次年度計画（対話型研修）	西棟3階 第一会議室		

9 学推予算「魅力ある学校づくり活動費」申請者研修会 ： 担当 儀間

対象者：令和6年度「魅力ある学校づくり活動費」を申請した学校の担当者・申請者

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
②	4 月 16 日(火)	学推予算の申請から執行、報告までの流れ	西棟3階 第一会議室	職務	―

10 学力向上推進協議会総会・三部会 ： 担当 名嘉村・儀間

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月 24 日（水）	総会提案事項の確認	紙面にて	課題	―
②	5 月 23 日（木）	・事業報告／本年度事業計画（総会）	西棟3階 第一会議室		
		・R6年度の計画確認（三部会）			
③	3月下旬	事業反省・次年度計画の確認	紙面にて		

11 中学校ブロック小中連携事業 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6月5日（水）	（与勝第二中ブロック）公開授業及び対話	平敷屋小学校	課題	○
②	未 定	（高江洲中ブロック） 公開授業及び対話			
③	未 定	（あげな中ブロック） 公開授業及び対話			
④	未 定	（具志川中ブロック） 公開授業及び対話			
⑤	未 定	（石川中ブロック） 公開授業及び対話			
⑥	未 定	（与勝中ブロック） 公開授業及び対話			
⑦	未 定	（伊波中ブロック） 公開授業及び対話			
⑧	未 定	（具志川東中ブロック）公開授業及び対話			

12 日本語教育支援員研修会 ： 担当 名嘉村

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月8日（月）	服務規律及び職務内容等説明、令和5年度実践確認	西棟3階 中会議室	職務	―
②	7 月 12日（金）	1学期ふり返り、講話、情報交換会、好事例共有			
③	12 月 13 日（金）	2学期ふり返り、好事例共有、まとめ、次年度継続確認等			

13 英語関係事業等説明会【オンライン】

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4 月25日(木)	・ALTの日程管理、事務処理の確認（市費事務、担当教諭） ・FT・ALT の効果的な活用等、小中連携（担当教諭）	各学校 オンライン	職務	―

14 小学生イングリッシュキャンプ ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7 月 22 日(月) ～ 7 月 25 日(木) （予定）	イングリッシュキャンプ（小学 5・6 年対象）	調整中	その他	―

15 教職員研修 （1）全体研修 ： 担当 名嘉村・又吉

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	4 月1日～8日	・あいさつ（教育長、学校教育部長）、行政説明 ・オンデマンド講話「子どもの心の受け止め方」（川上康則）	各学校 オンデマンド	職務	○
②	7月26日（金） 午後	・調整中	各学校 オンデマンド		

15 教職員研修（2） デジタル教材活用研修 ： 担当 儀間

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6月 18 日（火） 19 日（水）	（小学校対象）すららドリル活用研修①（基本操作等）	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	9月 17 日（火） 18 日（水）	（小学校対象）すららドリル活用研修② （管理画面・配信）			
③	10 月9日（水） 11 日（金）	（小学校対象）すららドリル活用研修③（テスト作成）			
④	6月 10 日（月） 11 日（火）	ロイロノート活用研修①（基本操作等）	西棟3階 第一会議室	課題	○
⑤	9月 24 日（火） 25 日（水）	ロイロノート活用研修②（共有ノート、思考ツール）			
⑥	10 月 18 日（金）	ロイロノート活用研修③（応用編・授業づくり・ロイロ認定ティーチャーに向けて）			
⑦	6月4日（火） 28 日（金）	（中学校対象）スタディサプリ活用研修①（基本操作等）	オンライン 研修	課題	○
⑧	9月 12 日（木） 13 日（金）	（中学校対象）スタディサプリ活用研修②（管理画面・配信）			

※ 上記の日程については、希望者を対象に参集型にて研修を実施いたします。

※ 上記の日程以外にも、デジタル教材の各学校の活用状況をモニターし、支援が必要な学校や先生方については指導主事や ICT 支援員を派遣し、随時、伴走支援いたします。

16 教科授業研究会（国語・英語） ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
②	11 月19日（火）	教科授業研究会 公開授業①	調整中	専門	○
③	11 月 28日（木）	教科授業研究会 公開授業②	調整中		

17 学校訪問 ： 担当 名嘉村

	日時	学校名	訪問種	種別	研修履歴
①	5 月 10 日（金）	与那城小学校	午前	課題	―
②	5 月 10日（金）	平敷屋小学校	午後		
③	5 月 14日（水）	川崎小学校	午前		
④	5 月 14日（水）	あげな小学校	午後		
⑤	5 月 17 日（金）	石川中学校	午前		
⑥	5 月 20日（月）	具志川東中学校	午後		
⑦	5 月24日（金）	田場小学校	午前		
⑧	5 月 28 日（火）	宮森小学校	午前		

⑨	5 月 28 日（火）	具志川小学校	午後		
⑩	5月 30 日（木）	赤道小学校	午前		
⑪	5月 30 日（木）	城前小学校	午前		
⑫	6 月3日（月）	高江洲小学校	午後		
⑬	6 月5日（水）	中原小学校	午前		
⑭	6 月11日（火）	天願小学校	午後		
⑮	6 月 12日（水）	あげな中学校	午後		
⑯	6 月14日（金）	与勝中学校	午後		
⑰	6 月17日（月）	与勝第二中学校	午後		
⑱	6 月17日（月）	南原小学校	午後		
⑲	6 月 18 日(火)	具志川中学校	午後		
⑳	6 月 20 日（木）	髙江洲中学校	午後		
㉑	6 月 24 日(月)	伊波中学校	午後		
㉒	6 月 26 日（水）	津堅小中学校	午前		
㉓	6 月 26 日（水）	彩橋小中学校	午後		
㉔	7 月 4 日（木）	伊波小学校	午後		
㉕	7 月 4 日（木）	勝連小学校	午後		

18 中頭教育事務所訪問 ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月 15日(月)	資質･能力向上推進訪問校等打合せ会（兼原小）	中教事	課題	―
②	7 月 2日(火)	中頭教育事務所･資質･能力向上推進訪問	兼原小学校		

19 市特別支援教育支援員･医療的ケア看護職員研修会 ： 担当 喜友名 （年２回）

	日時	研修内容等	場所
①	4 月 8日（月）	第1回 服務･業務内容･障がい特性理解	西棟３階第一会議室
②	8 月 29 日（木）	第2回 学校職場における子どもたちとの関わりについて	西棟３階第一会議室

20 教育支援担当者会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	４月17日（水）	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知（未就学児担当者）	西棟３階第一会議室
	４月18日（木）	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知（小・中担当者）	西棟３階第一会議室
②	5月 13 日（月）	（仮）「これからの特別支援教育、インクルーシブ教育」 （浦添市教育委員会 大城政之氏）	東棟大講堂
③	年2回（うるま市）	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会（年2回） 5月15日特別支援教育コーディネーター養成研修（中頭・教セ） 5月27日中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会（教セ）	中部農林高等学校（仮） 高等特別支援学校（仮）

21 作業療法士による巡回相談 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年	作業療法士による巡回指導を通して、困り感のある児童生徒の支援の仕方や環境調整の仕方を理解し、指導に活かす。	全小学校及び希望する中学校訪問

22 福祉との連携（説明会・巡回訪問・施設見学等） ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	４月24日（水）	教福連携プロジェクトについての説明（校長会にて）	西棟３階第一会議室
②	通 年	放課後等デイサービス施設の訪問・情報交換	事業所
③	通 年	福祉と連携した個別の教育支援計画の活用	各小学校・こども園

23 特別支援ヒヤリング ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	１月～2月	「特別支援教育支援員配置児童生徒」及び「教育支援委員会にて『経過観察』が望ましいとされた児童生徒」について、学習及び支援・指導状況確認、特別支援教育に関する情報交換（必要に応じて）	各学校

24 うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	５月 16 日（木）	自立活動の授業について（難聴・言語、通級言語）	沖縄ろう学校
②	７月 ４日（水）	自立活動の授業について（肢体）	泡瀬特別支援学校
③	2025年 １月 17日（金）	「通常学級からはじめの一歩（国語・算数）」（仮題） 飯塚市飯塚小学校通級指導教室 杉本陽子先生	市民芸術劇場 （橙ホール）

25 うるま市教育支援委員会 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	６月 13 日（木）	第１回教育支援委員会・研修会（遠藤医師）	西棟３階第一会議室

②	6月25日(火)	第2回教育支援委員会	共用会議室
③	7月17日(水)	第3回教育支援委員会	
④	7月30日(火)	第4回教育支援委員会　※共用会議室なし	
⑤	8月15日(木)	第5回教育支援委員会	
⑥	8月28日(水)	第6回教育支援委員会	
⑦	9月　5日(木)	第7回教育支援委員会	
⑧	9月26日(木)	第8回教育支援委員会	
⑨	10月　8日(火)	第9回教育支援委員会	
⑩	10月22日(火)	第10回教育支援委員会	
⑪	11月　7日(木)	第11回教育支援委員会　※共用会議室なし	
⑫	11月19日(火)	(予備日)教育支援委員会・答申	西棟3階第一会議室
⑬	11月28日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申 (11月22日に変更かも)	
☆	2月13日	就学相談会(4歳児対象)	東棟 3階 大講堂

26 保幼こ小連携研修 ： 担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	5月17日(金)	第1回保幼こ小連携担当者研修会(教頭)	東棟 3階 大講堂
②	8月　7日(水) 8月14日(水) 8月21日(水)	第2回保幼こ小連携担当者研修会(1年担任:教務(任意)) (公開保育・講演会「仮:幼児教育について」)	公立認定こども園予定 各小学校
③	11月28日(木)か 12月 2日(月)	第3回保幼こ小連携担当者研修会 講演会「仮・かけはしプログラム」について(校長・園長対象)	東棟 3階 大講堂

27 児童会・生徒会担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月4日(火)	児童会生徒会担当者研修会	じんぶん館	職務	―
②	8月2日(水)	こども議会	本会議場		
③	1月22日(水)	児童会生徒会担当者研修会	西棟3階 第一会議室		

28 情報教育担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月7日(火)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室	職務	―
②	11月8日(金)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室		
③	2月20日(木)	情報教育担当者研修会(GIGA 関連、校務支援システム等)	西棟3階 第一会議室		

29 校務支援システム研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4 月12日（金）	校務支援システム概要（教頭）	具志川中学校	職務	—
②	4月23日（火）	校務支援システム概要（教頭）	具志川中学校		
③	4月26日(金)	校務支援システム概要（養護教諭）	オンライン		
④	6月7日（金）	成績処理、通知表等（教頭・教務）	オンライン		
⑤	10月10日（木）	調査書作成等（中3学年主任、進路担当）	オンライン		
⑥	2月6日（木）	指導要録等（教頭・教務）	オンライン		
⑦	2月26日（水）	年度更新・新クラス設定等（教頭・教務）	オンライン		

30 キャリア教育担当者研修会 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5 月22日（水）	キャリア教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	11 月 27 日(水)	キャリア教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		

31 市初任者研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8 月 1 日(木)	市初任者研修（終日）	西棟 3 階 第一会議室	指定	○

32 市中堅教諭等資質向上研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8 月 1 日(木)	社会体験研修①	各事業所	指定	○
②	8 月 2 日(金)	社会体験研修②	各事業所		

33 市教育実践グランプリ ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	1 月 31 日(金)	市教育実践グランプリ表彰式	東棟 3 階 大講堂	課題	—

34 研究教員入所前研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6 月 21 日(金)	研究テーマ検討①	3F 共用会議室	課題	○
②	8 月 21 日(水)	研究テーマ検討②	3F 共用会議室		

35 長期研修 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	10月1日(火)	研究教員入所式	西棟3階 共用会議室	課題	○
②	10月31日(木)	研究教員テーマ検討会	西棟3階 中会議室		
③	12月19日(木)	研究教員中間報告会	西棟3階 中会議室		
④	2月28日(金)	研究･研修報告会	西棟3階 第一会議室		
⑤	3月21日(金)	研究教員修了式	(仮)西棟3階 共用会議室		

36 臨時的任用教員(1年目)研修会 ： 担当 又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月5日(金)	臨時的任用教員(1年目)研修会	西棟3階 第一会議室	職務	―

37 （仮名）うるまふるさとプロジェクト ： 担当 名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
※	調整中	地域探究（文京区中学との交流を含む）及び国際探究	調整中	その他	―

38 租税教育推進事業 ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月29日(水)	租税教育推進協議会	ゆらてく	その他	―
②	11月22日(金)	租税教育推進事業表彰式	じんぶん館（仮）		

39 プログラミングコンテスト ： 担当 辺士名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月8日(月)～ 9月30日（金）	第4回うるま市プログラミングコンテストエントリー期間	学校教育課HP	その他	―
②	12月10日(か)	第4回うるま市プログラミングコンテスト表彰式	じんぶん館		

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【4月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	月	教職員全体研修(行政説明)【デ】	令和6年度新規採用職員辞令交付式	
2	火	学校教育課内会議(西3会9:00～) 県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00)		
3	水		教育相談員等連絡協議会①	
4	木	メクビット(L-Gate)研修①【オ】13:30～15:00	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会① (小学校:午前、中学校:午後)	
5	金	臨時的任用(1年目)教員研修会(10:30) 第1回　学習支援員研修会(西3会15:30～)	学推企画委員会①(午前) 児童生徒支援加配連絡会(小学校)①	学校運営アドバイザー連絡協議会①(本庁)
6	土			
7	日		gatu	
8	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 日本語教育支援員研修会①	小学校英語専科FT及び指導主事補連絡協議会①	県立学校始業式、入学式
9	火	一学期始業式 中学校入学式		教育事務所特別支援教育担当者会議【オ】 中堅教諭等資質向上研修担当者連絡協議会①
10	水	小学校入学式	新任教務主任研修会	第1回教育事務所長会議・総務班長会議 教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会①
11	木	全国学調生徒質問調査(具志川中)	初任者研修①(午後) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会①	授業改善推進教師研修会①本庁【オ】 教育事務所生徒指導担当主事会① 教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会① 学校安全担当指導主事等連絡会議①(午前)
12	金	校務支援システム研(小中教頭) 全国学調生徒質問調査(あげな中)	定例教育長会① 新任校長・教頭研修会(午前) 教職員評価システム評価者研修会Ⅱ(午前) 中頭地区授業改善リーダー研修会(午後)	第1回県立学校校長研修会 県人事担当者会①(本庁) 市町村教育委員会学校支援連絡協議会①【オ】
13	土			
14	日			
15	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) メクビット(L-Gate)研修②【オ】15:30～ 全国学調生徒質問調査(与勝中、津堅中)	新任特別支援学級・通級担当者研修会①(～26日)【デ】 資質・能力向上推進訪問校等打合せ会 業務改善検討委員会①	
16	火	学推予算「魅力ある学校づくり活動費」 申請担当者説明会(西3会16:00～) 全国学調生徒質問調査(伊波中、彩橋中)	中堅教諭等資質向上研修①	教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会①
17	水	教育支援担当者会(特支コ) 全国学調生徒質問調査(石川中・与勝二中・高江洲中・具志川東中)	初任者研修に係る校長等連絡協議会	教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会①午前【オ】 令和6年度教科用図書選定審議会①
18	木	全国学力・学習状況調査(小6・中3)	全国学力・学習状況調査	教育事務所等情報教育担当指導主事連絡協議会① 教育事務所指導班長等会議①(本庁) 生涯学習・社会教育行政連絡会①
19	金	全国学調児童質問調査(伊波小、天願小、兼原小、高江洲小、中原小)	第3金曜日「少年を守る日」	沖縄県指導主事等連絡協議会①
20	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
21	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
22	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 全国学調児童質問調査(宮森小、城前小、与那城小、あげな小、具志川小、赤道	授業改善推進教師研修会①・指導主事補研修会 特別支援教育指導主事補連絡協議会	養護教諭　初任者研修　校長・指導者等 連絡協議会① 養護教諭　初任者研修②(教セ)
23	火	校務支援システム研(小中教頭) 全国学調児童質問調査(南原小、勝連小、平敷屋小、川崎小、田場小、彩橋小)	定例小中校長会①	養護教諭　初任者研修③(教セ)
24	水	市定例校長会①(西3会9:00～)	スクールカウンセラー連絡協議会①(午前) 特別支援教育巡回アドバイザー連絡会議(午後)	市町村教育委員会帰国・外国人児童生徒教育担当指導主事等連絡協議会【オ】 幼稚園・認定こども園法定研修等説明会【オ】本庁 栄養教諭　初任者研修② 栄養教諭初任者研修　校長等連絡協議会① 令和6年度教科用図書選定審議会調査委員会①
25	木	市定例教頭会①(西3会9:00～) 英語関係事業等説明会【オ】	教職2年目研修①	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会 教職員評価システム評価者研修会Ⅲ(教セ) おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会①
26	金	校務支援システム研(養護教諭) 市小・中生徒指導主任研(西3会15:00～)	(新)教職2年目研修②(【デ】～5/10)	教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会① 特別支援教育市町村連絡協議会①【オ】 市町村就学支援担当者連絡会【オ】 学校栄養職員　初任者研修② 学校栄養職員初任者研修　校長等連絡協議会① 学校栄養職員初任者研修　指導者連絡協議会①
27	土		「子ども読書の日」記念事業	
28	日			
29	月	昭和の日		
30	火	学校教育課内会議(西3会9:00～)		教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会②【オ】 特別支援教育地域支援事業説明会(予定)【オ】

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【5月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	水		特別委支援学級等担当2年目研修①	
2	木		生徒指導担当指導主事連絡協議会①(午前) 派遣指導主事研修会①(午後)	
3	金	憲法記念日		
4	土	みどりの日		
5	日	こどもの日		
6	月	振替休日		
7	火	学校教育課内会議(西3会9:00～) 情報教育担当者研①		養護教諭　中堅教諭等資質向上研修②(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修②(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修②(教セ)
8	水	第1回　市学推担当者研修会(西3会　15:15～)	中堅教諭等資質向上研修②	
9	木		初任者研修②【オ】	特別支援教育新任管理職悉皆研修(【デ】～22日) 子どもの読書活動推進担当者会議①
10	金	学校訪問(平敷屋小・与那城小)	児童生徒支援加配連絡会(小学校)② 市町村教育委員会人事担当者会議①	市町村幼児教育担当者連絡協議会①本庁【オ】
11	土		運動部活動指導者及び外部指導者研修会	
12	日			
13	月	学校教育課内会議(西3会9:00～) 第1回　市研究主任研修会(西3会15:15～) 校長当初面談① 教育支援担当者会(特支コ)		沖縄県生涯学習関係者研修会① 学校環境衛生・安全管理講習会(教セ)
14	火	学校訪問(あげな小・川崎小)	教職3年目研修①	養護教諭　初任者研修④(教セ) 主幹教諭研修会(本庁) 幼児教育研究協議会における説明会【オ】本庁
15	水	校長当初面談②	新任特別支援学級・通級担当者研修会②(～26日)オンデマンド 中堅教諭等資質向上研修③(【デ】～30日)	特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭)(教セ)
16	木	校長当初面談③ 市特別支援学級担任合同研修会(聴・言)	教職5年経験者研修 新規採用・臨時任用事務職員等研修会②	
17	金	学校訪問(石川中) 保幼こ小連絡協議会①	授業力アップ研(小・算数)①(中頭)【オ】 第2金曜日「少年を守る日」	第2回教育事務所長会議 令和6年度教科用図書選定審議会調査委員会③
18	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
19	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
20	月	学校訪問(具志川東中) 沖縄県学力定着状況調査及び教科等横断調査 ～7月12日(金)		第2回総務班長会議
21	火	校長当初面談④	教頭会①	
22	水	市定例校長会②(西3会9:00～) 校長当初面談(予備) キャリア教育担当者研①	通級指導教室担当者研修(発達・小、日本語) 共同学校事務室事務長会①	
23	木	市学力向上推進協議会総会・三部会(【オ】15:00～)	小学校体育主任研修会 授業力アップ研究会(数学)①(中頭)【オ】	養護教諭　中堅教諭等資質向上研修③
24	金	学校訪問(田場小)	中学校国語授業力アップ研究会①(中頭)【オ】 共同学校事務室事務主査会①	県人事担当者会議②【オ】 幼稚園・認定こども園法定研修等説明会【オ】本庁 栄養教諭　初任者研修③ 学校栄養職員　初任者研修③ 令和6年度教科用図書選定審議会②
25	土			
26	日			
27	月	学校教育課内会議(西3会9:00～)	定例教育長会②(学推委員会①)	中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会(教セ)
28	火	学校訪問(宮森小・赤道小)	授業力アップ研究会(外国語)①(国頭・中頭)【オ】	県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会①(参集型)本庁
29	水	校長当初面談(予備) 租税教育推進協議会	小中学校生徒指導教育相談担当研修会②【恩納村・うるま市・読谷村・中城村・西原町】	
30	木	学校訪問(城前小・具志川小) 県・市SSWr・自立支援員研修会(西3中15:00～)	初任者研修③	公立小中学校特別支援学級設置学校校長研修会(教セ) 就学支援スキルアップ研修【オ】
31	金		小中学校生徒指導教育相談担当研修会①【嘉手納町・沖縄市・北谷町・宜野湾市・北中城村】 通級指導教室担当者研修(言語)	教育事務所指導班長等会議②(本庁)

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【6月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	土			
2	日			
3	月	学校訪問(高江洲小)		
4	火	スタディサプリ研修会①(希望者15:45～) 児童会生徒会担当者研①	中頭地区小中校長研修会	養護教諭　初任者研修④(教セ)
5	水	学校訪問(中原小) 小中連携事業(平敷屋小:与勝二中ブロック)	通級指導教室担当者研修(発達・中) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信①)	
6	木		初任者研修④	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議①(参集型)
7	金	教育支援センター運営委員会①(17:30) 校務支援システム研(教頭・教務) 教育支援センター運営委員会①(17:30～)	9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会① 特別支援学級等担当2年目研修②(～7/12)	沖縄県養護教諭研修会①(教セ) 初任者研修担当主事会① 第3回教育事務所長会議
8	土			
9	日			
10	月	ロイロノート研修会①(希望者15:45～)	中堅教諭等資質向上研修④【オ】	
11	火	学校訪問(天願小) ロイロノート研修会①(希望者15:45～)	資質・能力向上推進訪問①	
12	水	学校訪問(あげな中)	中学校教科研修会(音楽) 小学校英語専科教員(FT)等連絡協議会①	
13	木	市定例校長会③(西3会9:00～) 応急手当オンライン授業①(うるま市消防) 市教育支援委員会①	授業力アップ研究会(小国語)①(中頭)【オ】	学校栄養職員　初任者研修④
14	金	学校訪問(与勝中)		学校栄養職員　初任者研修⑤
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	教員候補者選考試験第1次試験
17	月	学校訪問(南原小・与勝第二中)	市町村教育委員会人事担当者会議② 業務改善検討委員会②	県立高等学校入学者選抜学力検査結果分析説明会
18	火	学校訪問(具志川中) すららドリル研修会①(希望者15:45～)	資質・能力向上推進訪問②	
19	水	すららドリル研修会①(希望者15:45～)	中学校英語STEP UP研修会①(中頭)	
20	木	学校訪問(高江洲中)	初任者研修⑤	
21	金	研究教員入所前研修①	地区小中教頭・教務主任研修会 第3金曜日「少年を守る日」	
22	土		gatu	
23	日	慰霊の日		
24	月	学校訪問(伊波中)		
25	火	応急手当オンライン授業②(うるま市消防) 市教育支援委員会②	定例教育長会③ 中堅教諭等資質向上研修⑤【オ】 小学校外国語ステップアップ研修3,4年① 新規採用・臨時任用事務職員等研修会③	教育支援研修会(教セ)
26	水	学校訪問(津堅小中・彩橋小中) 小中連携事業(中原小:高江洲中ブロック) 小中連携事業(赤道小:具志川中ブロック)	教育相談員等連絡協議会② 特別支援教育コーディネーター連絡会①	日本語指導教育担当者等連絡協議会①【オ】
27	木	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)	小中連携合同研究会(算・数)中頭	
28	金	スタディサプリ研修会①(希望者15:45～)	小学校外国語ステップアップ研修3,4年② 地域連携担当教員等研修会【オ】	
29	土			
30	日		教員候補者選考試験第1次試験(予備日) おきなわ県民カレッジ主催講座①	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【7月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	月	小中連携事業(石川中:石川中ブロック)		
2	火	中教事 資質・能力向上推進訪問(兼原小)	資質・能力向上推進訪問③	
3	水	応急手当オンライン授業③(うるま市消防)	中堅教諭等資質向上研修⑥(【デ】～17日) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信②)	中学校期の学力課題に関する連絡協議会①(本庁)
4	木	学校訪問(伊波小・勝連小) 市特別支援学級担任合同研修会(肢体)	初任者研修⑥	
5	金	小中連携事業(具志川小:具志川東中ブロック) 市中学校生徒指導主任研修(西3中15:00～)		第1回道徳教育推進連絡協議会 第1回研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会 県人担当者会議③
6	土			
7	日			
8	月	第4回うるま市プログラミングコンテストエントリー開始 ～12月10日(火)		
9	火		地域特別支援教育総合推進事業運営協議会①	教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会③【オ】
10	水		中頭地区主幹教諭研修会	沖縄県保育者育成協議会①(参集型)本庁
11	木	市定例校長会④(西3会9:00～)	(新)初任者研修に係る指導教員等連絡協議会②【オ】	
12	金	市定例教頭会②(西3会9:00～) 日本語教育支援員研修会②	児童生徒支援加配連絡会(小学校)③	市町村教育委員会新任道徳教育担当主事研修(本庁) おきなわ県民カレッジ奨励賞授賞
13	土			
14	日			
15	月	海の日		
16	火	第2回　学習支援員研修会(西3会15:30～)		
17	水	市教育支援委員会③		教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会② 養護教諭　5年経験者研修②(教セ)
18	木		教育相談員等連絡協議会③	市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会①本庁【オ】 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議(本庁)
19	金	一学期終業式	第3金曜日「少年を守る日」	第4回教育事務所長会議
20	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 管理職候補者選考試験第1次試験	
21	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
22	月	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)		
23	火		特別支援学級・通級指導教室担当者悉皆研修(【デ】～8/2) 教頭ヒアリング①	学校栄養職員初任者研修　指導者連絡協議会②
24	水		教頭ヒアリング② 学校安全指導者養成講習会(ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ・参集) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信③)	
25	木		初任者研修⑦(オンデマンド)～8/13 中堅教諭等資質向上研修⑦(【デ】～8/13) 教頭ヒアリング③	県栄養教諭・学校栄養職員等研修会 幼稚園・小学校運動実技指導者講習会
26	金	【仮】教育講演会(午後)	児童会・生徒会担当者研修会 教頭ヒアリング④ 事務主事研修会 新規採用・臨時任用事務職員等研修会④	小学校体育実技指導者講習会 第43回沖縄県小中学校司書研究大会(中部大会) 沖縄県栄養教諭研修会
27	土		管理職候補者選考試験第一次試験(予備日) おきなわ県民カレッジ主催講座②	
28	日			
29	月			初任者研修(教セ)(【デ】～8/15) 幼児期の学びを生かした授業改善研修会(生活科)本庁【オ】 栄養教諭　初任者研修④(教セ) 栄養教諭　5年経験者研修①(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修③(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修③ 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑤
30	火	市教育支援委員会④	道徳教育推進教師研修会	夏期ダンス実技研修会 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑥ 栄養教諭　初任者研修⑤ 栄養教諭　5年経験者研修②(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修④(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修④ 子どもの読書活動推進担当者会議②
31	水		中堅教諭等資質向上研修⑧(OIST)午前 第11回科学の甲子園ジュニア地区大会(OIST)午後	中高キャリア教育講座(中頭・宮古)【オ】 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑦ 県スクールソーシャルワーカー合同研修会

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【8月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	木	市初任者研修(終日) 市中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)①	特別支援学級等担当2年目研修③	本庁初任者研修(【デ】～8/15) 養護教諭　5年経験者研修③(教セ) 養護教諭　中堅教諭等資質向上研修⑧⑨(教セ) 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑥⑦(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑥(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑥⑦(教セ) 県人事担当者会議④【オ】
2	金	市中堅教諭等資質向上研修(社会体験研修)② 小中学校フォーラム	初任者研修⑧(終日)	沖縄県幼児教育合同研修会(ハイブリッド型)本庁 九州地区情緒障害教育研究会【オ】 養護教諭　5年経験者研修④(教セ)
3	土			
4	日		リフレッシュ・ウィーク(～8/10)	
5	月			教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会②【オ】
6	火			県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議②本庁 学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会①【オ】
7	水	保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	学校閉庁日(～8/9)	第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会(1日目)
8	木			第76回九州地区小学校長協議会研究大会沖縄大会(2日目) 第5回教育事務所長会議
9	金			全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
10	土			全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
11	日	山の日		
12	月	振替休日		
13	火	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会9:00～)	教育・医療・福祉等早期支援地方協議会(【デ】～26日) 教頭ヒアリング⑤ 県研究指定校中頭地区連絡会	
14	水	保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	中堅教諭等資質向上研修⑨ 教頭ヒアリング⑥	体力つくり・体育指導改善講習会
15	木	市教育支援委員会⑤	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会③ 教頭ヒアリング⑦	
16	金		旧盆(ウンケー) 臨時教育長会 第3金曜日「少年を守る日」	
17	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
18	日		旧盆(ウークイ) 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
19	月		教頭ヒアリング(予備日)	学校運営アドバイザー連絡協議会②(本庁)
20	火		教職2年目研修③(午前・午後)	初任者研修(教セ)半日 栄養教諭　5年経験者研修③(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑦(教セ) 養護教諭　初任者研修⑦(教セ)
21	水	研究教員入所前研修② 保幼こ小連絡協議会②:開催形態未定	小学校・中学校生徒指導主任研修会	県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会②(参集型)本庁 養護教諭　初任者研修⑧(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑧(教セ) 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑧(教セ)
22	木	市定例校長会⑤(西3会9:00～)		中・高・特別支援諸学校キャリア教育・生徒指導・高校入試等地区講座(中頭) 教育事務所学力向上担当指導主事等連絡協議会①【オ】 養護教諭　初任者研修⑨(教セ) 学校栄養職員　初任者研修⑨(教セ) 特別支援教育地域支援事業中間報告(予定)
23	金			市町村教育委員会学校支援連絡協議会②【オ】 科学の甲子園ジュニア沖縄県大会 県人事担当者会議⑤(本庁)
24	土		教員候補者選考試験第2次試験	
25	日		教員候補者選考試験第2次試験	
26	月			
27	火		市町村教育委員会特別支援教育担当指導主事連絡協議会 教育委員会ヒアリング(予備日)	
28	水	二学期始業式 市教育支援委員会⑥	教育委員会ヒアリング①	市町村幼児教育担当者連絡協議会②【オ】
29	木	市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会	資質・能力向上推進訪問④ 教育委員会ヒアリング②	
30	金		教育委員会ヒアリング(予備日) 小・中司書教諭・学校司書等研修会【オ】午後	
31	土		教員候補者選考試験第2次試験(予備日)	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【9月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	日		教員候補者選考試験第2次試験（予備日）	
2	月		校長ヒアリング①（午後）	
3	火		校長ヒアリング② 特別支援学級等担当2年目研修④（～11/29）	教育事務所指導班長等会議③（本庁）
4	水		資質・能力向上推進訪問⑤ 校長ヒアリング③	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議③本庁
5	木	市教育支援委員会⑦	中学校教科研修会（美術） 校長ヒアリング④	
6	金		地区発達障害研修（中）午後 学推企画委員会②（午前）	県人事担当者会議（予備日）【オ】
7	土		管理職候補者選考試験第2次試験 おきなわ県民カレッジ主催講座③	
8	日			
9	月	不登校ヒヤリング訪問・小学	校長ヒアリング⑤（午後）	
10	火		資質・能力向上推進訪問⑥ 校長ヒアリング⑥ 新任特別支援学級・通級担当者研修会③中頭A【オ】	
11	水		校長ヒアリング⑦ 新任特別支援学級・通級担当者研修会③中頭B【オ】	
12	木	市定例校長会⑥（西3会9:00～） スタディサプリ研修会②（希望者15:45～）	初任者研修⑨ 校長ヒアリング⑧	地区別学校保健教育研修会（教セ） 授業改善推進教師研修会②【オ】 教職員研修事業調整会議①
13	金	スタディサプリ研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑨ 資質・能力向上推進訪問（予備日）	第2回県立学校校長研修会
14	土		管理職候補者選考試験第2次試験（予備日）	
15	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
16	月	敬老の日		
17	火	すららドリル研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑩	
18	水	すららドリル研修会②（希望者15:45～）	定例小中校長会② 共同学校事務室事務長会②	沖縄県学力向上推進本部会議①（本庁）
19	木	不登校ヒヤリング訪問・小学	地区発達障害研修（小） 小学校英語専科教員（FT）等連絡協議会② 校長ヒアリング⑪	市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会②本庁【オ】
20	金		教育相談員等連絡協議会④（SV研①） 第3金曜日「少年を守る日」	第6回教育事務所長会議・第3回総務班長会議
21	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
22	日	秋分の日		
23	月	振替休日		
24	火	ロイロノート研修会②（希望者15:45～）	校長ヒアリング⑫（予備日）	
25	水	ロイロノート研修会②（希望者15:45～）	小学校外国語ステップアップ研5,6年① 校長ヒアリング⑬（予備日）	
26	木	市教育支援委員会⑧	初任者研修⑩ 校長ヒアリング⑭（予備日）	
27	金	小中連携事業（伊波小：伊波中ブロック） 県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00-	園長等運営管理協議会【オ】	教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会④【オ】
28	土			
29	日			
30	月			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【10月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	火	研究教員入所式	小学校外国語ステップアップ研5,6年② 教育委員会計画訪問①(北谷町、北中城村)	
2	水	教育委員会訪問(中頭教育事務所)13:00	おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信④) 教育委員会計画訪問②(恩納村、うるま市)	
3	木	校長中間面談①	教育委員会計画訪問③(嘉手納町、読谷村)	
4	金	校長中間面談②	生徒指導担当指導主事連絡協議会②	第7回教育事務所長会議 県人事担当者会議⑥(那覇)
5	土			
6	日			
7	月	校長中間面談③		
8	火	市教育支援委員会⑨	教育委員会計画訪問④(沖縄市、宜野湾市)	
9	水	すららドリル研修会③(希望者15:45～)	定例教育長会④(学推委員会②) 市町村教育委員会人事担当者会議③	
10	木	校長中間面談④ 校務支援システム研(中3学年主任、進路担当)	教育委員会計画訪問⑤(中城村、西原町) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑤	初任者研修担当主事会②
11	金	すららドリル研修会③(希望者15:45～) 小中連携事業(南原小:与勝中ブロック)	定例小中校長会③(定期人事異動) 事務主任研修会	
12	土			
13	日			
14	月	スポーツの日		
15	火		学推企画委員会③(午後)	
16	水	第2回　市学推担当者研修会(西3会15:15～) 校長中間面談(予備)	授業力アップ研究会(外国語)②(中頭) 特別支援教育コーディネーター連絡会②	
17	木	市定例校長会⑦(西3会9:00～)	中学校国語授業力アップ研究会②(中頭)	
18	金	ロイロノート研修会③(希望者15:45～) 校長中間面談(予備)	事務主査研修会 第3金曜日「少年を守る日」	
19	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
20	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
21	月		業務改善検討委員会③	
22	火	市教育支援委員会⑩	中学校教科研修会(技術) 特別支援教育管理職(校長)悉皆研修(【デ】～11/6)	教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会②
23	水		防犯教室講習会(国頭・中頭)	
24	木		初任者研修⑪	九州地区へき地・小規模校研究大会(沖縄大会)1日目 第2回県立中高一貫校連絡協議会 教職員研修事業調整会議②
25	金		おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信⑤)	九州地区へき地・小規模校研究大会(沖縄大会)2日目 日本語指導教育担当者等連絡協議会②ｵﾝﾗｲﾝ 学校栄養職員　中堅教諭等資質向上研修⑨ 県人事担当者会議(予備)オンライン
26	土			
27	日			
28	月		県立中学校入学者選抜出願期間(～11/1)	
29	火		教育相談員等連絡協議会⑤(SV研②)	
30	水	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)	教頭会②	
31	木	研究教員テーマ検討会	授業力アップ研究会(小国語)②(中頭)	令和6年度第65回九州音楽教育研究大会・沖縄大会①(～11/1)

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和６年度　　教職員研修事業年間計画　　【１１月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	金		授業力アップ研（小・算数）②（中頭）	県立中学校入学者選抜出願締切 第8回教育事務所長会議 学校栄養職員　初任者研修⑩（教セ） 県学力向上推進フォーラム（【デ】～２２） 令和６年度第65回九州音楽教育研究大会・沖縄大会②
2	土			
3	日	文化の日		
4	月	振替休日		
5	火		学推大会打ち合わせ会①	子どもの読書活動推進担当者会議③
6	水		授業力アップ研究会（数学）②（中頭） 合理的配慮に基づくICT教育推進研修【デ】	沖縄県教育関係職員表彰式 道徳教育推進研修（～11月8日）
7	木	市教育支援委員会⑪		第65回沖縄県中学校長研究大会中頭大会（1日目）
8	金	情報教育担当者研②	中学校教科研修会（家庭）	第65回沖縄県中学校長研究大会中頭大会（2日目） 教職員研修事業調整会議③
9	土			
10	日			
11	月	校長ヒアリング（予備）	定例教育長会⑤	
12	火		中学校教科研修会（理科） 市町村教育委員会人事担当者会議④	養護教諭　初任者研修⑩（教セ） 特別支援教育研修会（教セ）
13	水	市定例校長会⑧（西３会9:00～）	中学校英語STEP UP研修会②（中頭）	
14	木	校長ヒアリング（予備）		第５８回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(国頭) 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会③本庁【オ】
15	金	校長ヒアリング（予備） 市中学校生徒指導主任研（西３会１５：００～）	第３金曜日「少年を守る日」	第５８回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(国頭) 特別支援教育市町村連絡協議会②（本庁） 沖縄県養護教諭研修会② 県人事担当者会議⑦（本庁） 第54回沖縄県公民館研究大会南部大会
16	土		第３土曜日「おきなわ地域教育の日」	
17	日		第３日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
18	月	校長ヒアリング①		
19	火	市中学校教科授業研究会（仮：国語） 市教育支援委員会⑫（予備）	中頭地区幼児教育研究協議会（恩納村）	
20	水	校長ヒアリング②	教育相談員等連絡協議会⑥（SV研③）	
21	木	校長ヒアリング③	中学校教科研修会（保健体育科）	
22	金	租税教育推進事業表彰式		沖縄県学力向上推進本部会議②（本庁） 第9回教育事務所長会議 沖縄県情緒障害教育研究大会 特別支援教育管理職（校長）悉皆研修（～１１/6）【オ】 九州学校体育研究発表大会（沖縄大会：国頭開催） 栄養教諭　初任者研修⑥（教セ） 栄養教諭　5年経験者研修④（教セ） 栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑧（教セ） 教育事務所指導班長等会議④（本庁）
23	土	勤労感謝の日		
24	日			
25	月		教育長ヒアリング（予備日　午後）	
26	火	県・市SSWｒ・自立支援員研修会（西３会１５：００～）	教育長ヒアリング①	
27	水	キャリア教育担当者研②	教育長ヒアリング②	
28	木	市中学校教科授業研究会（仮：英語） 市教育支援委員会⑬（予備） 保幼こ小連絡協議会③(仮)	教育長ヒアリング（予備日）	
29	金		中学校教科研修会（社会科）	県人事担当者会議⑧（本庁）
30	土			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【12月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	日			
2	月	保幼こ小連絡協議会③(仮)		第2回道徳教育推進連絡協議会(本庁) 第2回研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会
3	火			中学校期の学力課題に関する連絡協議会②(本庁)
4	水	市定例校長会③(西3会9:00～)	地域特別支援教育総合推進事業運営協議会②	教職5年経験者研修担当者連絡協議会 中堅教諭等資質向上研修担当者連絡協議会②
5	木			教育事務所等情報教育担当指導主事連絡協議会②
6	金	第2回　市研究主任研修会(西3会15:15～)	共同学校事務室事務主査会②	教職員研修事業調整会議④
7	土			県立中学校入学者選抜適性検査
8	日			
9	月			
10	火	第4回うるま市プログラミングコンテスト表彰式		
11	水			
12	木	市定例教頭会⑨(西3会9:00～)		教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会③【オ】
13	金	日本語教育支援員研修会③	児童生徒支援加配連絡会(小学校)④ 共同学校事務室実践報告会 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑥ 事務長及び事務主幹研修会	臨時教育事務所長会 沖縄県特別支援教育研究大会 教職員研修事業調整会議(予備)
14	土			
15	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
16	月	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会15:00～)		
17	火			学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会②【オ】
18	水	第3回　学習支援員研修会(西3会15:30～)	教育相談員等連絡協議会⑦(午前) スクールカウンセラー連絡協議会②(午前) おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座(ライブ配信⑦)	
19	木	研究教員中間報告会	初任者研修に係る指導教員等連絡協議会④	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議④本庁 おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会②
20	金		第3金曜日「少年を守る日」	
21	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)
22	日			
23	月			
24	火			
25	水	二学期終業式		
26	木			
27	金			
28	土			
29	日	年末年始休(～1月3日)		
30	月			
31	火			

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【1月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	水	元日		
2	木	年末年始休（～1月3日）		
3	金			
4	土			
5	日			
6	月		仕事始め	
7	火	三学期始業式		県立中学校入学者選抜結果通知期限 県人事担当者会議⑨【オ】
8	水			
9	木	市定例校長会⑩（西3会9:00～）		教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会②【オ】
10	金			第10回教育事務所長会議 第3回県立学校校長研修会
11	土			
12	日			
13	月	成人の日		
14	火	GIGA推進訪問・中学	定例教育長会⑥	初任者研修担当主事会③
15	水		共同学校事務室事務長会③	教育事務所等キャリア教育担当指導主事連絡協議会③ 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会④ 教育事務所生徒指導担当主事会②
16	木			沖縄県難聴・言語障害教育研究会 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議（本庁） 教育事務所学力向上担当指導主事等連絡協議会②【オ】 学校安全担当指導主事等連絡会議②（午前） 生涯学習・社会教育行政連絡会②
17	金	市特別支援学級担任合同研修会	第3金曜日「少年を守る日」	沖縄県指導主事等連絡協議会② 県人事担当者会議⑩（本庁）
18	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	大学入学共通テスト①
19	日		大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
20	月	GIGA推進訪問		
21	火	校長最終面談（予備）		沖縄県保育者育成協議会②（参集型）本庁
22	水	校長最終面談（予備） 児童会生徒会担当者研②	学推大会実践発表リハーサル②	教育事務所等社会科担当指導主事連絡協議会③
23	木	校長最終面談①	9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会②【オ】	
24	金	校長最終面談（予備）		県立中学校入学確約書提出期限 第66回沖縄県社会教育研究大会 学校栄養職員　初任者研修⑪（教セ） 学校栄養職員初任者研修　校長等連絡協議会② 市町村教育委員会学校支援連絡協議会③【オ】 教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会⑤
25	土			
26	日			
27	月	県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00		
28	火	校長最終面談②	中頭地区授業改善推進教師研修会②	栄養教諭初任者研修　校長等連絡協議会② 栄養教諭　初任者研修⑦（教セ）
29	水		定例小中校長会④	
30	木	校長最終面談③	教育相談等連絡協議会⑧	日本語指導教育担当者等連絡協議会③【オ】
31	金	教育実践グランプリ表彰式（第1案）	小学校英語専科FT及び指導主事補連絡協議会②	市町村幼児教育担当者連絡協議会③本庁【オ】

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【2月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁4課・教育センター等
1	土	うるま教育の日（月間）		
2	日			
3	月			県立高校願書受付（～4日）
4	火			
5	水	市定例校長会⑪（西3会9:00～） 第3回　学推担当者研修会（西3会15:15～）	教職3年目研修②	県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議⑤本庁
6	木	校務支援システム研（教頭）	学推大会前日準備・リハーサル③	授業改善推進教師研修会③本庁【オ】 小学校英語専科教員（FT）等連絡協議会③（本庁）
7	金		第47回中頭地区学力向上実践推進大会	県立学校志願変更申し出（～10日） 第11回教育事務所長会議 県幼児教育アドバイザー・初任者研修指導員等連絡協議会③（参集型）本庁
8	土			
9	日			
10	月	教育実践グランプリ表彰式（第2案）		養護教諭　初任者研修　校長・指導者等 連絡協議会② 養護教諭　初任者研修⑪（教セ）
11	火	建国記念の日		
12	水		児童生徒支援加配連絡会（小学校）⑤	栄養教諭　中堅教諭等資質向上研修⑨（教セ）
13	木	沖縄県学力到達度調査（小）～3/13（木）までで選択可 教育支援センター運営委員会②（17:30）	沖縄県学力到達度調査（小）	
14	金	沖縄県学力到達度調査（中）～3/14（金）までで選択可 臨時校長会 教育支援センター運営委員会②（17:30～）	沖縄県学力到達度調査（中） 定例教育長会⑦（学推委員会③） 市町村教育委員会人事担当者会議④	学校運営アドバイザー連絡協議会③（本庁） 県人事担当者会議⑪【オ】
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
17	月			県立学校願書取り下げ・再出願（～18日）
18	火		教職2年目研修④	
19	水	第3回　研究主任研修会（西3会15:15～）	教育長ヒアリング① 中堅教諭等資質向上研修⑩	
20	木	情報教育担当者研③	教育長ヒアリング②	
21	金	市小中生徒指導主任研修（西3会15:00～）	教育長ヒアリング（予備日） 第3金曜日「少年を守る日」	
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	月	振替休日		
25	火		教育相談員等連絡協議会⑨	
26	水	校務支援システム研（教頭）	定例小中校長会⑤	
27	木	県・市SSWr・自立支援員研修会（西3会15:00～）	初任者研修⑫	
28	金	研究・研修報告会（西3会15:00～）	生徒指導担当指導主事連絡協議会③（午前） 派遣指導主事等研修会②（午後）	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

令和6年度　教職員研修事業年間計画　【3月】

日	曜	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	本庁４課・教育センター等
1	土			県立高校卒業式
2	日			
3	月			
4	火			県立学校入学者選抜学力検査(1日目)
5	水			県立学校入学者選抜学力検査(2日目)
6	木		学推企画委員会④	
7	金			第12回教育事務所長会議 教育事務所指導班長等会議⑤(本庁) 県人事担当者会⑫(本庁)
8	土	中学校卒業式(予定1)		
9	日	中学校卒業式(予定2)		
10	月			県立学校入学者選抜学力検査追検査
11	火			
12	水		教育相談員等連絡協議会⑩	
13	木		初任者研修に係る次年度説明会	
14	金	市定例校長会⑫(西3会9:00～)		
15	土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	
16	日		第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	
17	月	市定例教頭会④(西3会9:00～)		
18	火	小学校卒業式		県立学校合格発表
19	水	修了式		県立学校二次募集願書受付(～21日) 県立学校修了式
20	木	春分の日		
21	金	研究教員修了式(11:00～)	第3金曜日「少年を守る日」	
22	土			
23	日			
24	月			県立学校二次募集志願変更再出願
25	火	県・市SSWr・自立支援員研修会(西3会9:00～)		
26	水		共同学校事務室事務長会④ 共同学校事務室事務主査会③	
27	木			
28	金			県立学校二次募集合格発表
29	土			
30	日			
31	月		退職者辞令交付式	

【オ】：オンライン　　【デ】：オンデマンド

学校教育

20　就学援助事業

目標

生まれ育った環境によって左右されることのないよう、必要な教育を受ける機会の均等を図る取組として、就学援助制度等の拡充に努めます。

1. 就学援助制度

本市では、経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、学用品費等の就学上必要な経費の一部を援助する就学援助制度を実施しています。

⑴　援助の対象

うるま市に住所を有する保護者で、児童生徒がうるま市立小中学校又は県立中学校に在学している方、又は区域外就学の手続きを行い、許可を受けうるま市立の小中学校および他の市町村が設置する公立の小中学校に在学している児童生徒の保護者で、教育委員会が要件に該当すると認めた方。

⑵　援助の内容（就学援助費目）

① 学用品費
② 通学用品費（小・中 1 年生除く）
③ 校外活動費
④ 新入学用品準備金または新入学児童生徒学用品費（いずれか 1 回）
⑤ 修学旅行費
⑥ 学校給食費

＊ 要保護、区域外就学、県立中学校の援助については、支給費目が限られます。

2. 特別支援教育就学奨励費

⑴　援助の対象

うるま市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者又は市の就学支援委員会において判定され、普通学級に在籍する児童生徒の保護者。

⑵　援助の内容

市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者等に対し、学用品費等の一部を援助。就学援助費目①～⑥について実費のおよそ 1/2 の額（上限あり）。

3. 関係部署との連携

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していけるよう、各分野で取り組んでいる生活支援や学習支援、家庭支援員による相談業務等をとおし、関係部署と連携することにより、就学援助制度の効果的な周知及び利用しやすい環境の整備に努める。

第２節　うるま市教育支援センター

１　うるま市教育支援センターの概要

1. 目的

21 世紀をたくましく生きる子どもの育成を図るため、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の定着、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導（学習指導を含む。）を行うことにより、その学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立に資することを基本とする。

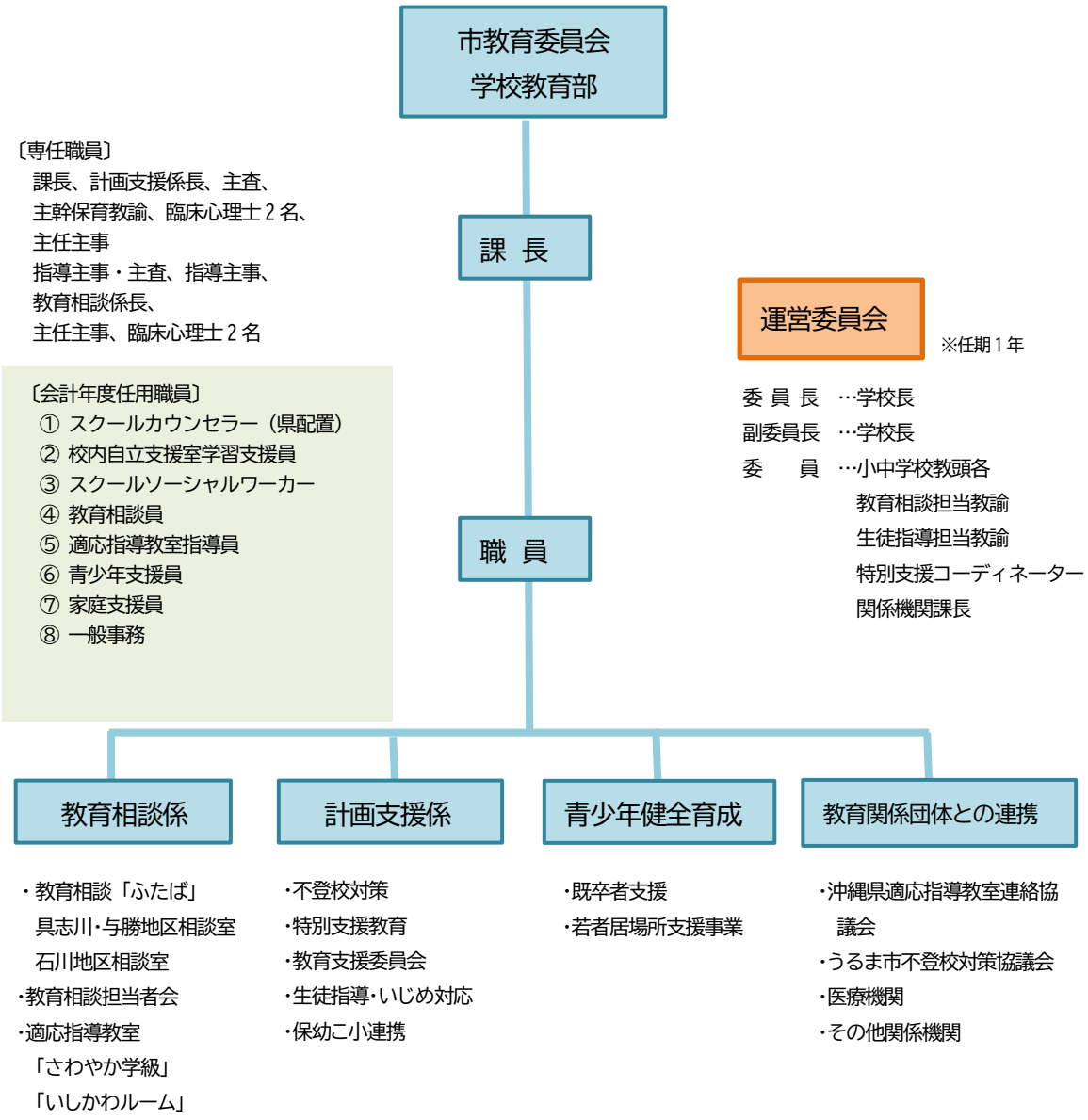
2. 運営方針

①市内の児童生徒及び保護者、教師の教育上の問題や悩みについて相談に応じ支援する。
②適応指導教室、各地区相談室、若者居場所事業の運営の充実に努め、不登校児童生徒を支援する。
③各教育団体・機関との連携を図る。

3. 重点目標及び具体的な取り組み

①　教育相談室「ふたば」の事業実施および適応指導教室「さわやか教室」「いしかわルーム」の運営
〇学校との連携強化
来所相談と小集団活動で対象児童生徒を支え、報告書やケース会議等で対応の連携を図る。
〇小集団活動や体験活動の充実
〇オンラインによる自立支援・ICT を活用した学習支援（いしかわルーム）
②　青少年健全育成事業の実施
〇 既卒者支援の充実
〇 子どもの貧困対策事業（若者居場所事業）
③　各連絡会等の実施
小中教育相談担当者会、適応指導教室協力委員会、教育相談地区連絡会
④　心理的要因等による不登校児童生徒の適応指導教室の開級
〇 体験活動の充実
〇 学校との連携強化
〇 教育相談員との連携及びスーパーバイズの充実
〇 個人面談と保護者面談の充実
⑤　教育支援センター運営委員会（年２回）

4. 運営組織、職員


市教育委員会
学校教育部
〔専任職員〕
課長、計画支援係長、主査、
主幹保育教諭、臨床心理士２名、
主任主事
指導主事・主査、指導主事、
教育相談係長、
主任主事、臨床心理士２名
〔会計年度任用職員〕
① スクールカウンセラー（県配置）
② 校内自立支援室学習支援員
③ スクールソーシャルワーカー
④ 教育相談員
⑤ 適応指導教室指導員
⑥ 青少年支援員
⑦ 家庭支援員
⑧ 一般事務
課 長
運営委員会
※任期１年
委 員 長 …学校長
副委員長 …学校長
委 員 …小中学校教頭各
教育相談担当教諭
生徒指導担当教諭
特別支援コーディネーター
関係機関課長
職 員
教育相談係
計画支援係
青少年健全育成
教育関係団体との連携
・教育相談「ふたば」
具志川・与勝地区相談室
石川地区相談室
・教育相談担当者会
・適応指導教室
「さわやか学級」
「いしかわルーム」
・不登校対策
・特別支援教育
・教育支援委員会
・生徒指導・いじめ対応
・保幼こ小連携
・既卒者支援
・若者居場所支援事業
・沖縄県適応指導教室連絡協議会
・うるま市不登校対策協議会
・医療機関
・その他関係機関

2　事業計画

1. 事業内容

	事業名	内容及び方法等
教育相談	⑴ 教育相談 【ふたば】	・児童生徒、保護者、教師への相談支援 ・来所相談 ・小集団活動 ※来所している利用者を中心に小集団活動を実施。
	⑵ 教育相談担当者会	・児童生徒理解について教育相談担当者の資質向上を図るための研修を行う。 ・教育相談活動について、センターからの資料提供・協議事項の提案・確認、および各園・各校の教育相談活動について情報交換を行う。
	⑶ 適応指導教室 【さわやか学級】 【いしかわルーム】	・心理的要因等による不登校の児童生徒への適応指導 （主に通級による適応指導、個に応じた体験活動の重視） ・オンライン、ICT を活用した学習支援を行い、学校や社会適応を促進する。
計画支援係	⑴ 不登校対策	・不登校の実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定 ・自立支援員、市 SSW r 、県 SSW r 関係　・子育て包括支援課等との連携の確立
	⑵ 生徒指導・いじめ対応	・いじめ、不登校（実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定）及び生徒指導
	⑶ 特別支援教育	・特別支援教育　・不登校の実態把握、不登校予防施策の立案、個別支援計画の策定　・作業療法士及び言語聴覚士巡回相談
	⑷ 教育支援委員会	・うるま市教育委員会の諮問に応じて、次に掲げる事項を調査審議する。
	⑸ 保幼こ小連携	・保幼こ小連携、架け橋プログラム及び研修 ・こども未来部との連携
青少年健全育成	⑴ 来室相談	・既卒者に対する面接相談や就労支援の実施 ・子どもの貧困対策事業（若者居場所事業）
	⑵ 寄り添い支援	・各中学校に配置し、非行防止や登校支援、見守り等の支援を行う。
	⑶ 学校生活応援課 （教育支援センター）要覧	・学校生活応援課（教育支援センター）の組織、運営、 事業計画等の紹介

2. 主な事業の趣旨・方針等

〔教育相談事業について〕

① 事業の趣旨

教育上の問題や悩みを持つ児童生徒とその保護者及び教師の相談に応じ支援する。

② 事業方針

ア 教育相談の充実を図る。

イ 教師の教育相談に関する啓発活動の推進を支援する。

〔青少年健全育成事業について〕

① 事業の趣旨

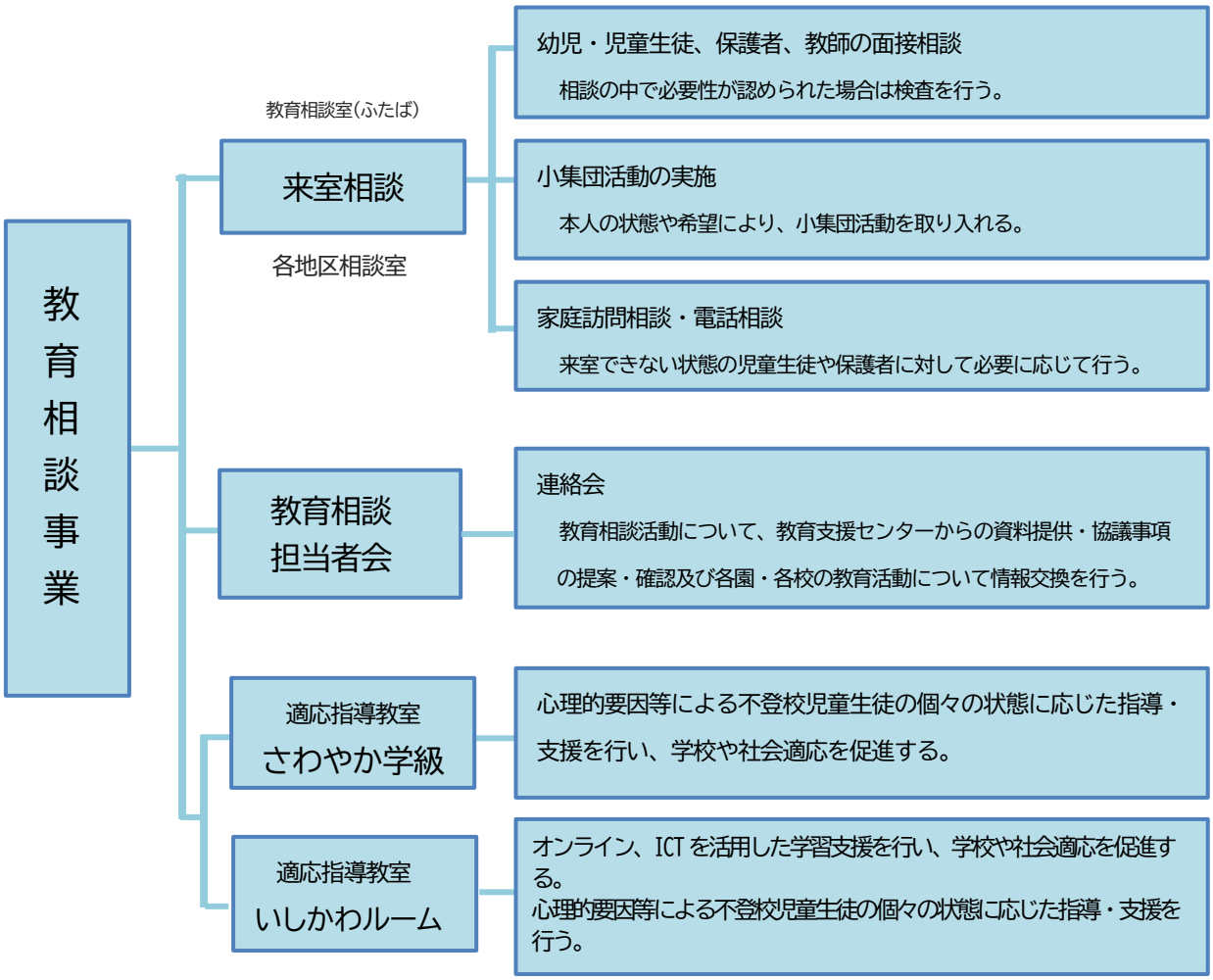
18 歳未満の生徒・既卒者、保護者の面接相談を実施し、困りごとを整理した上で必要な支援を行う。

② 事業方針

ア 支援機関との連携を図る。

イ 子どもの貧困対策事業（若者居場所運営支援事業）の実施。

3　教育相談事業の概要

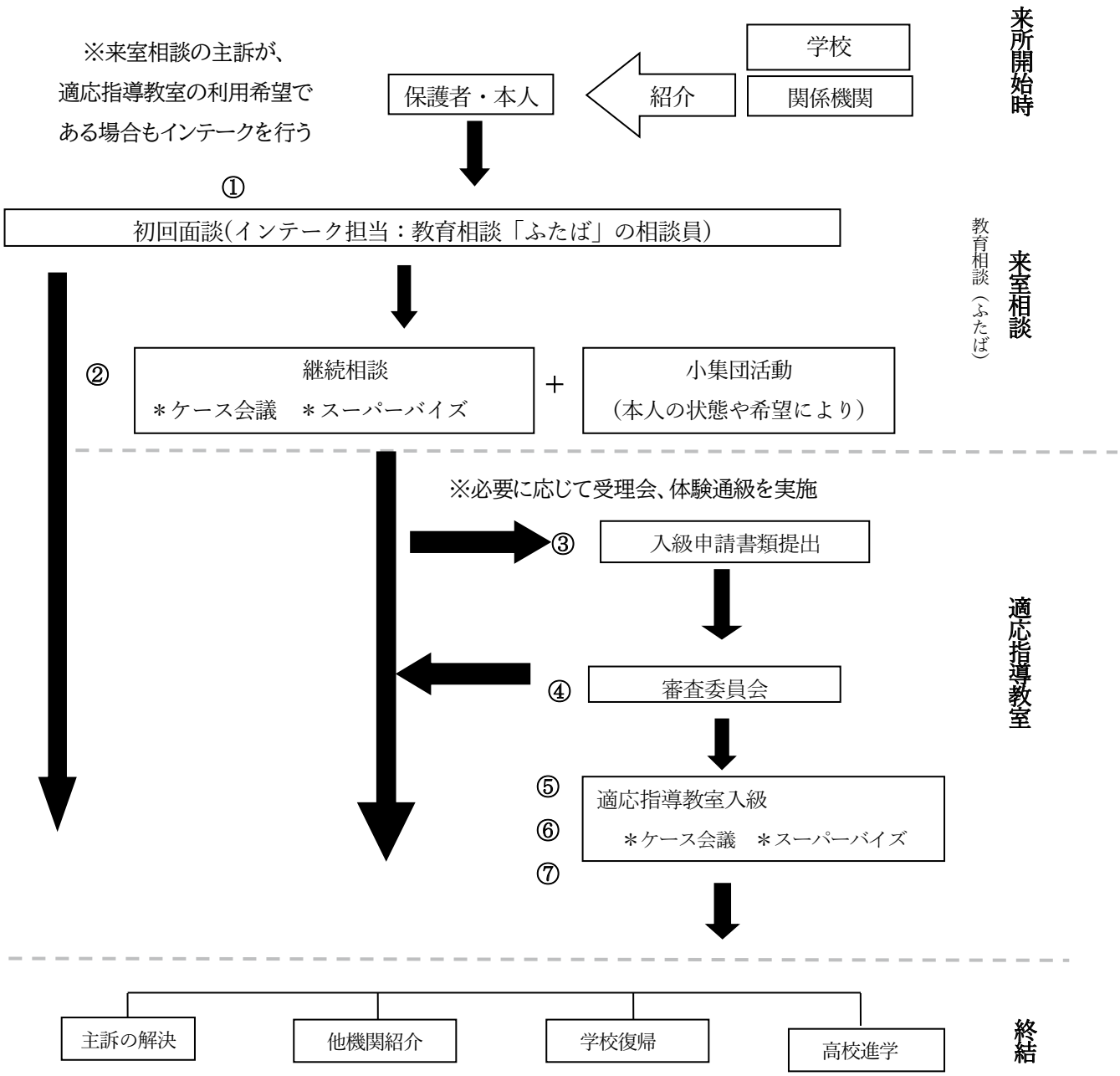


相談対象	相談内容	相談方法
幼　　児 児童生徒 保 護 者	・学校、対人関係、生活行動面に関すること ・登校しぶり、不登校、友人とのトラブル ・反抗的な態度、多動、ぼんやり等	来 室 相 談※1 毎週月曜日～金曜日（祝祭日除く） 時 間　9：00～17：00 場 所　各地区教育相談室
教 職 員	教育活動に関する悩み ・学習、問題行動への対応の仕方等 ・その他教師自身に関すること	

※1 来室が困難なケースについては、必要に応じて、家庭訪問や電話にて相談を行う。

相談室	場　所
具志川・与勝地区相談室	与那城地区公民館 2 階　　☏：098-989-9127 〒904-2304 うるま市与那城屋慶名 467 番地 4　2 階　教育支援センター
石川地区相談室	宮森小学校　敷地内　　☏：098-964-2870 〒904-1106 うるま市石川一丁目 46 番 1 号　教育支援センター

4　教育相談の流れ



1)石川地区、具志川・与勝地区でそれぞれ来室相談を行っている。

◇ 相談対象 ◇

児童生徒、保護者、教師

①入級希望の際は、教育相談ふたばを経て入級を検討する。

学校や他機関からの紹介があっても、すぐに適応指導教室に入級するのではなく、児童生徒が学校復帰する可能性を大切にしている。

②入級前の来室相談（本人・保護者）を実施する。本人・保護者の入級への要望があることを踏まえつつ、以下のことを確認する。

・本人の状態の把握
・本人の自己理解
・本人に合った教育環境を話し合う
・学校との連携（部分登校、行事参加など）
・適応指導教室に対する理解
・入級に向けての意思（意欲）及び基本的生活行動（リズム）の改善
・保護者としての支援に関する理解・心づもり・準備（送迎、面談、その他）
＊現在の入級に至るまでのプロセスについては、入級後の通級がよりスムーズにでき、入級児の成長・発達・変容がより高められる準備期となるものとします。
・本人、保護者、原籍校長ともに、適応指導教室への入級希望である
・適応指導教室での支援が有効と考えられる児童生徒

③本人、保護者、原籍校長ともに適応指導教室への入級の希望と確認出来たら、指定の様式「適応指導教室入級申請書」「児童生徒の概要」「適応指導教室入級願い(保護者記入)」を添えて学校から入級申請を行う。

＊各書類は本計画書、後半部分に添付。
・教育相談ふたばより、入級にあたっての本人の支援計画や配慮点について事前に情報提供を行う受理会を必要に応じて行う
・適応指導教室の職員及び教室に慣れる期間として体験通級を必要に応じて行う

④審査委員会

適応指導教室において本人への支援を効果的に行うために、上記の手続きを経た上で、入級審査委員会にて入級の可否の判定を行う。

入級決定後、「入級承諾通知書」を学校長に通知する。学校長から本人・保護者に入級決定の旨を伝える。在籍校においても、引き続き、本人支援や、保護者支援を継続していくことを親子に伝え、適応指導教室の利用が開始となる。

⑤段階的指導計画に沿って、活動する。
⑥個に応じた段階的登校支援を試みる。
⑦可能なかぎり学校復帰を試みる。

＜入級の期間＞

・入級の期間は学校復帰までとするが、年度３月で退級とする。
・継続して適応指導教室の支援が必要と認められる児童生徒も、新年度に再度入級の手続きをとる。

（★４月、５月は学校対応を主とし、新しい原籍校担任と親子とのラポートづくりの期間とする。
必要に応じて、適応指導教室職員が支援する。）

5　適応指導教室

1. 設置

心理的要因等により登校困難な状態にある児童生徒に対して、集団生活への適応を促し、在籍校への復帰又は将来的な社会的自立を支援するため、適応指導教室を設置する。

2. 名称及び場所

名　称	場　　所
さわやか学級	うるま市与那城屋慶名４６７番地４　２階
いしかわルーム	うるま市石川一丁目４６番１号

3．組織

うるま市教育支援センター（以下「教育支援センター」という）が主管となって本事業を推進する。

① 適応指導教室「審査委員会」

適切な教室利用を図るため、下記の構成で入級・退級の判定を行う。

※児童生徒の状態によっては入級に関して一旦保留の場合もある。

【審査委員会】

教育支援センター	所長、教育相談係長、臨床心理士、教育相談員
適 応 指 導 教 室	担任、指導員

② 適応指導教室「協力委員会」

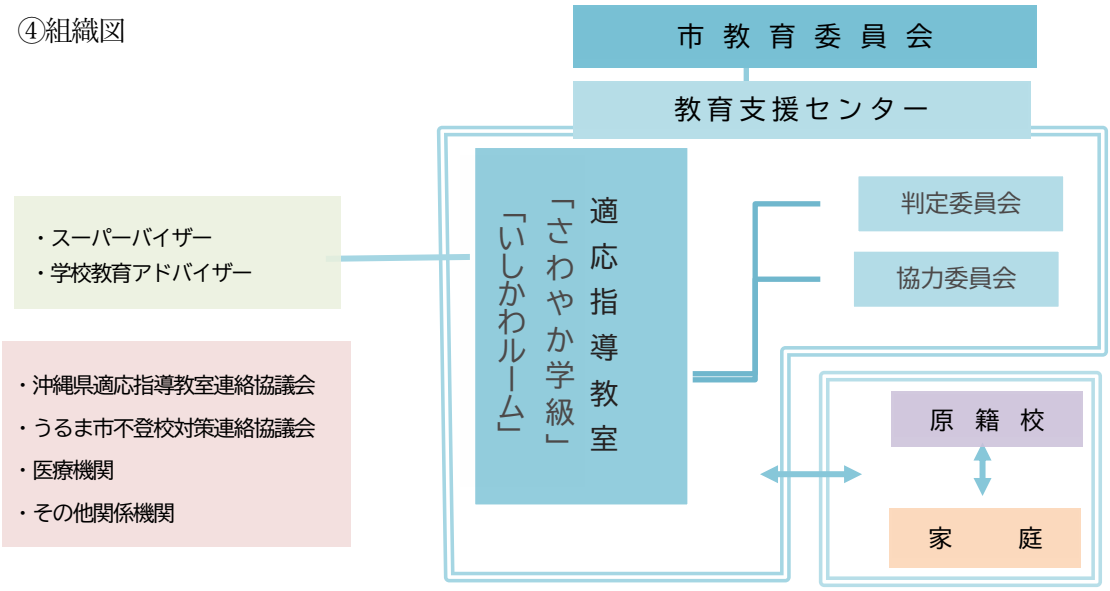
個々の子どもの状態理解および配慮・留意事項を把握・整理した上で、各児童生徒の在籍する学校との具体的な連携について協議する。

【協力委員会】

学 識 経 験 者	スーパーバイザー・学校教育アドバイザー ※必要に応じて
教育行政関係職員	学校教育課研修係長
学 校 関 係 者	児童生徒の原籍校より校長、担任、教育相談担当教諭・養護教諭等 ※必要に応じて SSWr 等
学校生活応援課 （教育支援センター）	課長、教育相談係長、臨床心理士、生徒指導担当主事 適応指導教室担任・指導員

③スーパーバイザー（医師）・学校教育アドバイザーの配置（必要に応じ助言を行う）

④組織図



4．入級対象児童生徒

うるま市に住所を有し、かつ、小中学校に在籍し、心理的要因等によって登校できない児童生徒で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

（1）　うるま市教育支援センターにおいて適応指導教室における指導及び助言が効果的と判断され、かつ、通級が可能であるもの

（2）　不登校児童生徒及び当該不登校児童生徒の保護者が適応指導教室に入級することを希望するもの

（3）　適応指導教室に入級を希望する児童生徒の在籍する学校長が適応指導教室に入級することを認めたもの

5．（入級・退級の決定）

適応指導教室の入級・退級の可否は、教育委員会が決定し、対象児童生徒の在籍する学校長へ通知する

6．適応指導教室の運営・活動

① 開設期間及び日時

5 月～翌年 3 月中旬

月曜日から金曜日（休業日は公立学校に準ずる。）

8：30～12：00（児童生徒の状況に応じて午後の対応も考慮する。）

② 運営方針

③ 指導・支援の内容

ア、教育相談　イ、体験活動　ウ、学習活動　エ、基本的生活習慣の 4 本の柱で実施します

めざす子ども像

自分の気持ちを表現することができる

相手を思いやることができる

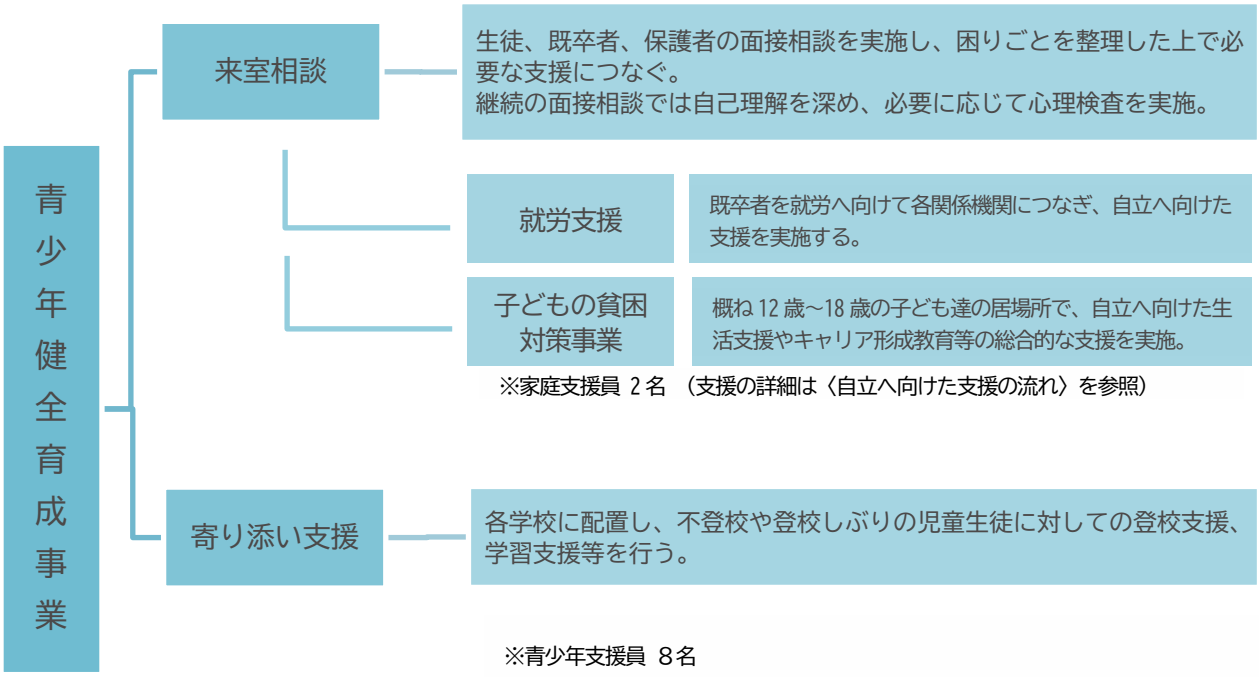
考えて行動することができる

6　青少年健全育成事業

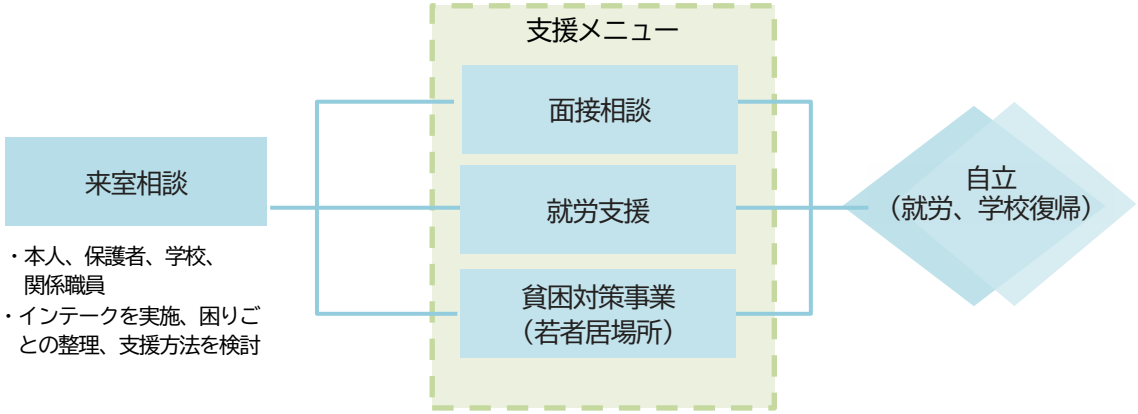
1．業務内容

⑴ 電話、面接、文書及び訪問などによる相談活動に関すること。
⑵ 児童生徒の生活指導のための家庭及び学校への訪問に関すること。
⑶ 青少年の非行防止に関する家庭、地域の啓発に関すること。
⑷街頭指導に関すること。
⑸学習支援活動、その他、青少年の健全育成に関すること。

2．青少年健全育成事業の概要



〈 自立へ向けた支援の流れ 〉



第３節　学校給食

１　学校給食センターの概要

なぜ学校給食があるのでしょうか

小学校へ入学すると、みんな揃って食べる楽しい給食が始まります。学校給食は、お昼の食事を先生や友達と一緒に食べるというふれあいの中で、児童生徒の健康を保持増進し、体力を向上させると共に、豊かな心を育み、心身の健全な発達を促進するための大切な**「食育の場」**です。

1．学校給食の７つの目標（学校給食法第２条）

① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2．学校給食センター施設

本市における学校給食センターは、共同調理場方式４施設と津堅学校調理場をもって構成され、その総括、管理を第一調理場に置き、うるま市内の小学校 18 校の児童へ 8,601 食、中学校 10 校の生徒へ 3,977 食、認定こども園２園の園児へ 142 食、合計 12,720 食を学校給食として提供しています。

本市教育委員会では、令和５年度教育主要施策において、学校教育の中で「健やかな心と体を育む教育の充実」を掲げ、学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めるとしています。

そのため、本市学校給食センターでは、特色ある学校給食を目指し、児童生徒の望ましい食習慣の形成に向け、学校と連携しながら食育授業を展開しています。

また、安全・安心で栄養バランスの摂れた給食を提供するとともに、沖縄の年中行事食を取り入れた献立、地元食材を活用した地産地消の充実を図り、食育の普及・啓発を推進しています。

さらに、学校給食センターの安定的な運営を行うため、津堅学校調理場を除く４つの共同調理場において調理等業務を委託しており、与勝調理場においては、令和５年６月よりアレルギー対応除去食の給食提供を開始しております。

今後、老朽化を主な課題とする石川学校給食センターと第二調理場は統合し、移転建替えを予定しております。また、第一調理場につきましては、アレルギー対応除去食の給食提供に向け、アレルギー室の整備に取組んでまいります。

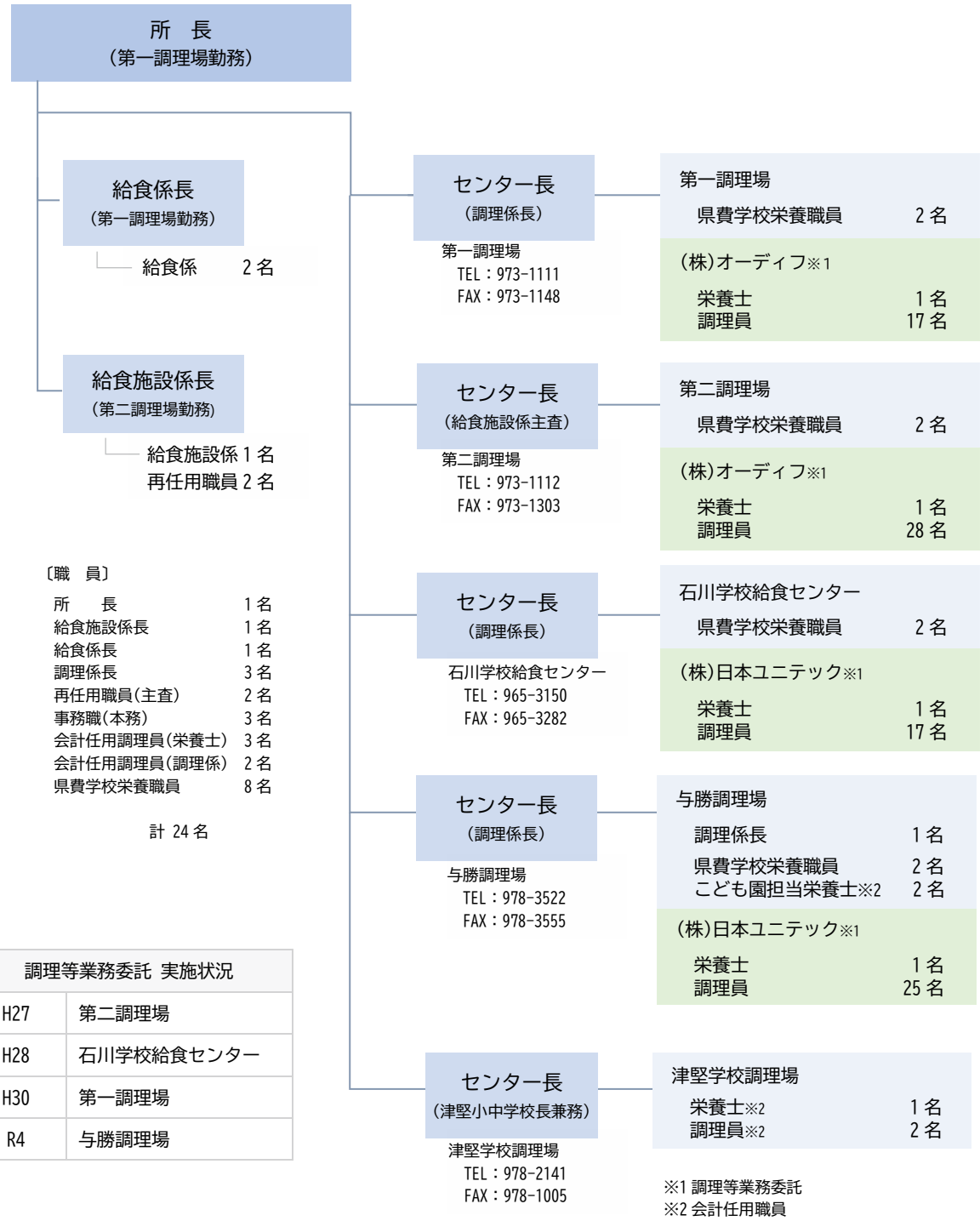
2　給食センター別　学校給食児童生徒・職員一覧表

令和6年5月1日現在

調 理 場	学　　校	児童生徒	職　　員	計
第一調理場	あげな中学校	791	57	848
	具志川中学校	697	56	753
	高江洲中学校	551	45	596
	具志川東中学校	499	36	535
	給食センター	－	25	25
	第一調理場 計	2,538	219	2,757
第二調理場	川崎小学校	382	34	416
	天願小学校	785	53	838
	あげな小学校	491	40	531
	田場小学校	890	58	948
	具志川小学校	299	28	327
	兼原小学校	650	42	692
	中原小学校	852	49	901
	赤道小学校	597	41	638
	給食センター	－	35	35
	第二調理場 計	4,946	380	5,326
石川学校給食センター	石川中学校	411	36	447
	伊波中学校	344	29	373
	中学校 小計	755	65	820
	宮森小学校	404	30	434
	城前小学校	388	34	422
	伊波小学校	779	56	835
	給食センター	－	21	21
	小学校 小計	1,571	141	1,712
	石川学校給食センター 計	2,326	206	2,532
与勝調理場	彩橋中学校	47	22	69
	与勝中学校	550	47	597
	与勝第二中学校	80	20	100
	中学校 小計	677	89	766
	彩橋小学校	101	7	108
	与那城小学校	454	38	492
	南原小学校	267	31	298
	勝連小学校	324	33	357
	平敷屋小学校	197	22	219
	高江洲小学校	739	48	787
	給食センター	－	31	31
	小学校 小計	2,082	210	2,292
	与那城こども園	73	29	102
	赤道こども園	69	27	96
	こども園 小計	142	56	198
	与勝調理場 計	2,901	355	3,256
津堅学校調理場	津堅小学校	2		2
	津堅中学校	7	16	23
	給食センター	－	3	3
	津堅学校調理場 計	9	19	28

区分	児童生徒	職　　員	計
小学校	8,601	644	9,245
中学校	3,977	364	4,341
こども園	142	56	198
給食センター	－	115	115
総合計	12,720	1,179	13,899

3　うるま市立学校給食センター組織図

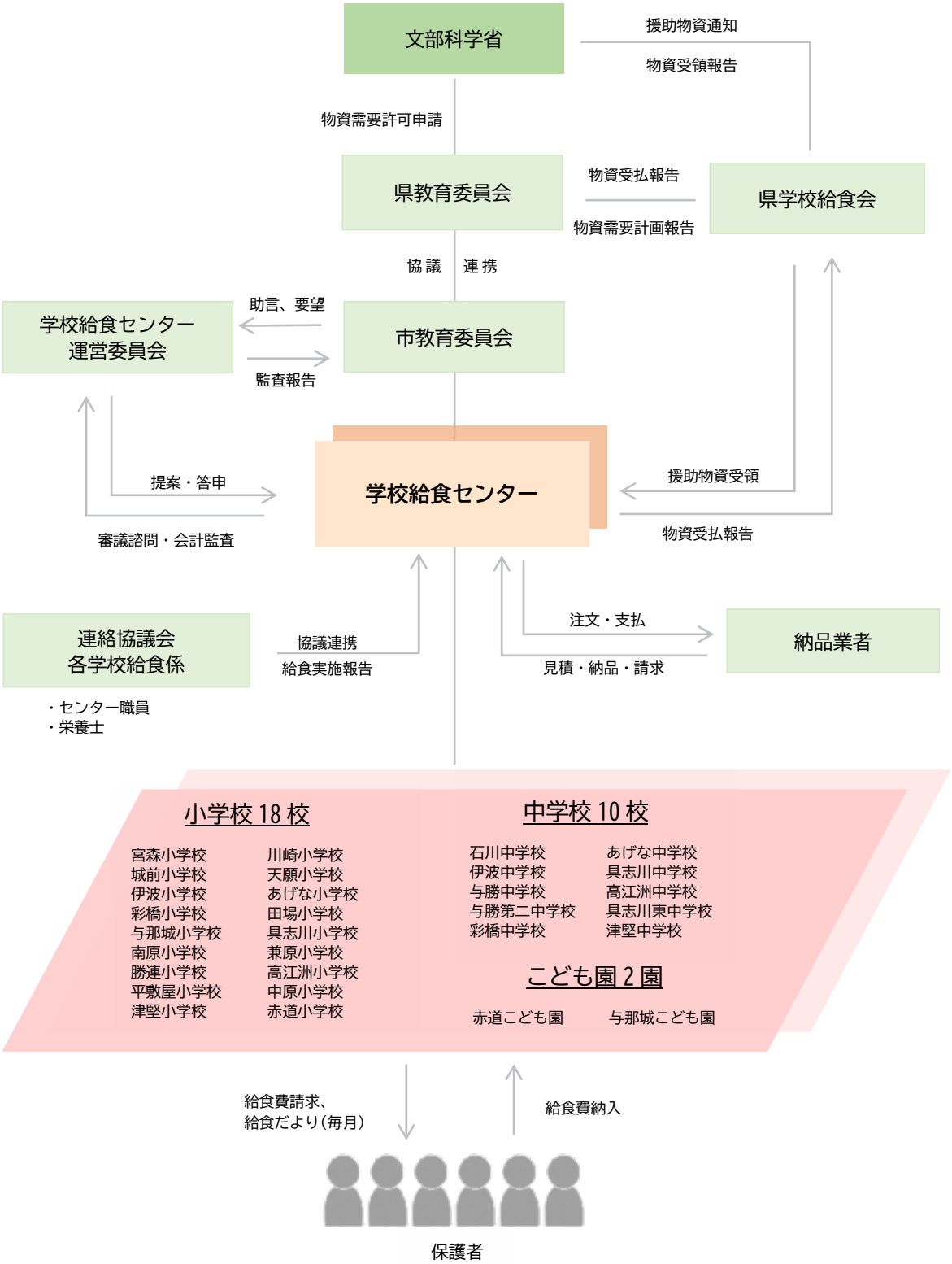


〔職　員〕

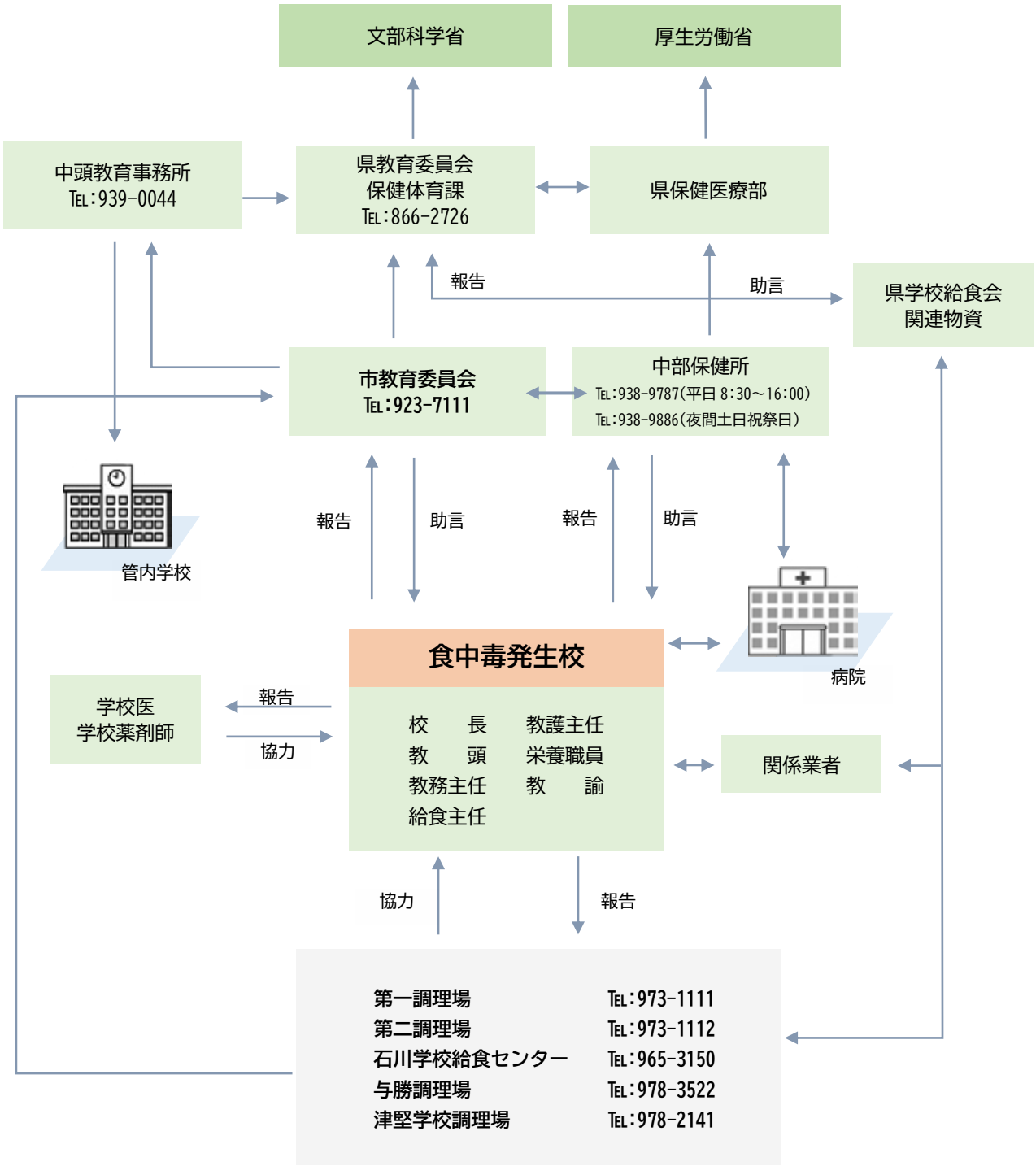
所　　長	1名
給食施設係長	1名
給食係長	1名
調理係長	3名
再任用職員(主査)	2名
事務職(本務)	3名
会計任用調理員(栄養士)	3名
会計任用調理員(調理係)	2名
県費学校栄養職員	8名
計	24名

調理等業務委託 実施状況	
H27	第二調理場
H28	石川学校給食センター
H30	第一調理場
R4	与勝調理場

4　うるま市立学校給食センター機構図



5　食中毒発生時の緊急通報体制



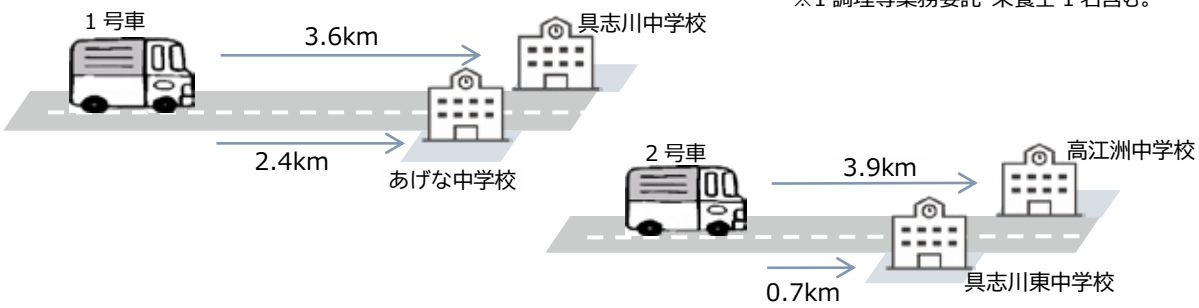
6　各学校給食センター

①　うるま市立学校給食センター　第一調理場

所 在 地	〒904-2213 うるま市字田場 709-1 TEL:(098)973-1111　FAX:(098)973-1148
敷地面積	3,972 ㎡
施設面積	1,326 ㎡
工事竣工	平成 16 年 7 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	平成 16 年 9 月
職員構成	所長 1 名、給食係長 1 名、調理係長 1 名 係員 2 名 学校栄養職員 2 名 調理員 18 名※1　　計 25 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔第一調理場 配送系統図〕

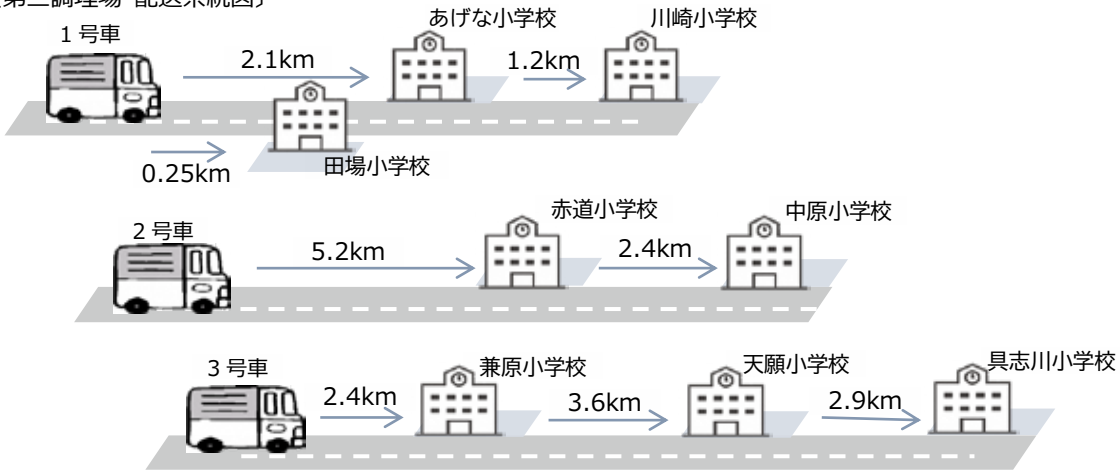


②　うるま市立学校給食センター　第二調理場

所 在 地	〒904-2213 うるま市字田場 850 TEL:(098)973-1112　FAX:(098)973-1303
敷地面積	4,552.99 ㎡
施設面積	984.74 ㎡
工事竣工	昭和 59 年 7 月
調理能力	6,000 食
給食実施年月	昭和 59 年 9 月
職員構成	給食施設係長 1 名、係員 3 名※1 学校栄養職員 2 名、 調理員 29 名※1　計 35 名

※1 再任用職員 2 名含む。
※2 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔第二調理場 配送系統図〕

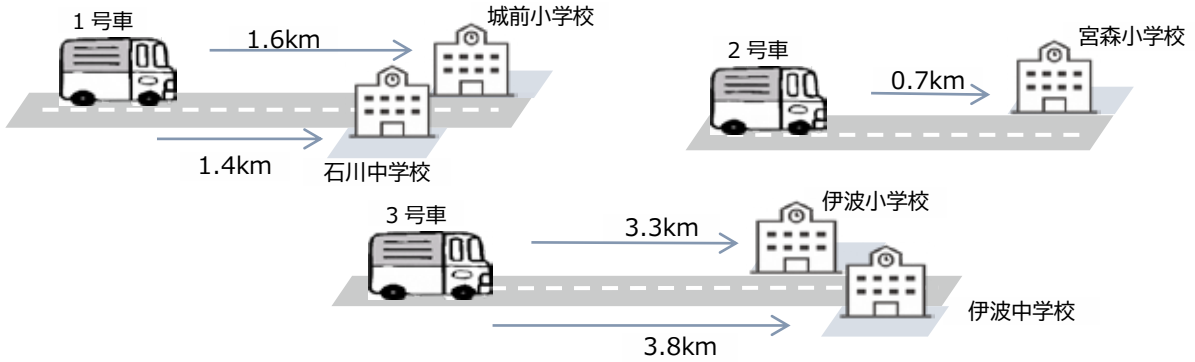


③ うるま市立石川学校給食センター

所 在 地	〒904-1103 うるま市石川赤崎 1-3-2 TEL:(098)965-3150　FAX:(098)965-3282
敷地面積	2,355 ㎡
施設面積	908 ㎡
工事竣工	昭和 57 年 6 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	昭和 57 年 9 月
職員構成	調理係長 1 名 学校栄養職員 2 名、 調理員 18 名※1　計　21 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含

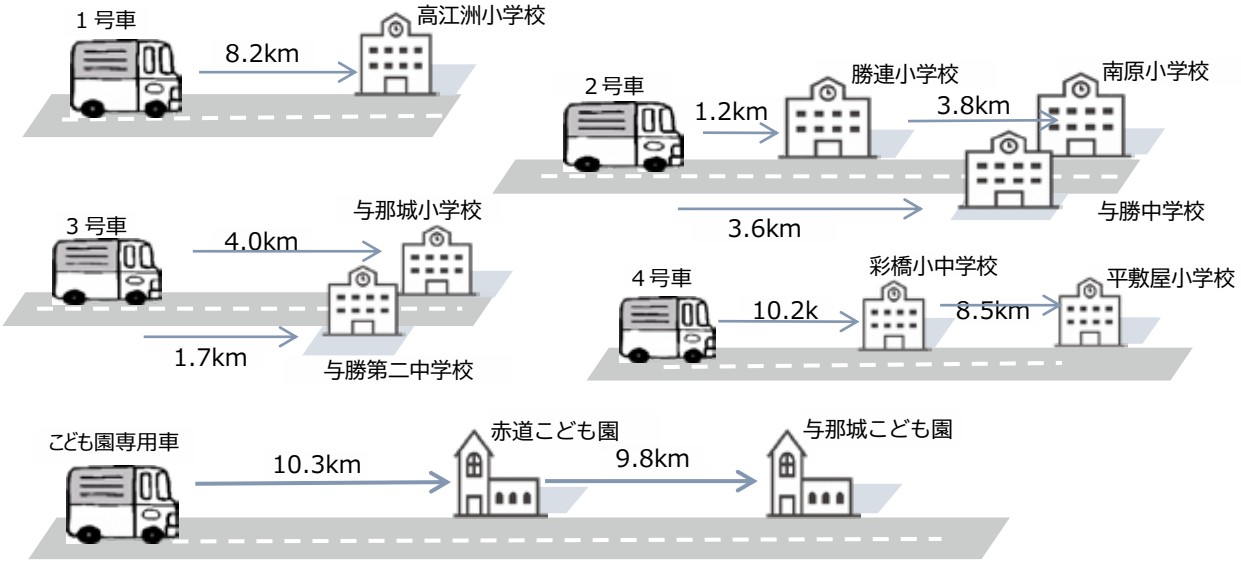
〔石川学校給食センター 配送系統図〕



④ うるま市立学校給食センター 与勝調理場

所 在 地	〒904-2307 うるま市与那城饒辺 231 TEL:(098)978-3522　FAX:(098)978-3555
敷地面積	2,973.38 ㎡
施設面積	1,930.64 ㎡
工事竣工	令和 4 年 7 月
調理能力	3,500 食
給食実施年月	令和 4 年 8 月
職員構成	調理係長 1 名、学校栄養職員 2 名、 市会計任用栄養士こども園担当 2 名、 調理員 26 名※1　計　31 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。



⑤ うるま市立津堅学校調理場

所 在 地	〒904-2317 うるま市勝連津堅 1327 TEL:(098)978-2141　FAX:(098)978-1005
敷地面積	192 ㎡ ※ランチルームを含む
施設面積	73 ㎡
工事竣工	平成 21 年 3 月
調理能力	100 食
給食実施年月	平成 21 年 4 月
職員構成	市会計任用栄養士 1 名、 会計任用調理員　2 名、 計 3 名

〔津堅学校調理場 配送系統図〕

※学校敷地内調理場のため、調理場からランチルームへ。

＊＊＊＊　令和５年度学校給食ポスター　最優秀賞作品１０作品より抜粋　＊＊＊

兼原小学校６年（当時）
島袋笑子さん
『食に感謝』

平敷屋小学校３年（当時）
大城　希紗季さん
『おいしい給食』

第５章　学校教育施設

第１節　学校教育施設

第１節　学校教育施設

1　学校施設整備の基本的な考え方

1. 施設整備の現状と課題

うるま市は平成17年4月の合併に伴って市域面積が広くなり学校数も増加しましたが、島しょ地域における複式学級解消のために統廃合を実施し、平成24年4月には彩橋小中学校が誕生しました。現在では、小学校18校、中学校10校、幼稚園2園（休園中）となっております。

本市は、校舎等の建築年が昭和 40 年代後半から昭和 50 年代前半の老朽化した危険校舎等を優先的に施設整備を行ってきました。さらに、耐力度調査や耐震診断調査結果を基に策定している耐震化施設整備計画に沿って取り組んできた結果、令和６年４月末現在、学校施設の耐震化率 100％を達成しております。

2. 施設整備の方針

本市の総合計画に掲げる「児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。」の観点から教育環境整備の推進に向け、下記のとおり取組んでまいります。

多目的スペースや新世代型学習空間、少人数教室の設置は、今日までの一斉画一授業の形態から、学習の個別化・個性化を重視したものです。個別化学習によって、子どもが自らの学習課題を見つけ、その課題を解決する課程で、創造性を発揮させ、学習に対する成就感・満足感を味わうことにより、次の目標に向かって挑戦する意欲となり、主体的学習活動を展開していくことができます。

また、近年の社会情勢は、科学技術の高度化を背景とした情報手段の急速な発展、情報化の進展等社会変化は著しいものがあります。

教育方法の多様化に伴い生徒による選択科目の増加、習熟度別学習、少人数学習、コンピュータ学習、総合学習など、ＩＣＴの活用、省エネ、バリアフリー、ユニバーサルデザインを学校建築の常識として定着してきており、今後の学校指導体制や本市の施設整備方針として新しい学習環境を構築する必要があります。

多目的スペースや普通教室、少人数教室の配置は、隣接する教室との音の問題を回避できる空間造りを最重要視して、学年ユニット型のスペースを快適で水準の高い本質的な意味での空間計画へと引き上げていきます。

また、学校建築の計画の立脚点を児童・生徒の学校における学習・生活の場として、学校に対する地域社会のニーズに置くべきと考えることから、地域社会との共生を重視します。

学校は、児童・生徒の学習、生活の場として1日の大半を過ごすことから、安全で快適な居住感が求められ、豊かな人間性を育む教育環境の場であるとともに、非常災害時には、地域住民の応急避難場所ともなることから、その安全性の確保は極めて重要です。

児童・生徒が安全で安心して学べる施設として、また、地域からも親しめる各学校の特色が生かせる施設として、学校施設整備に取り組んでいきます。

3. 今後の取り組み

これまで学校施設整備を計画的に進めてきましたが、まだまだ老朽化や狭隘化している校舎等があり、今後も校舎改築整備計画と学校施設長寿命化計画に基づく改修整備に取り組んでまいります。

現在、学校施設整備の取り巻く環境は、厳しい市財政の状況下にありますが、明日を担う人づくりに欠かせない安全な学習環境を確保するために、関係機関とも密接に連携を図りながら施設整備・維持管理（「予防保全」型の管理への転換）の充実強化を推進していきます。

2　校舎等保有状況

令和５年５月１日現在

学校名称	児童生徒数		学級数		校舎						
	普通	特別支援	普通	特別支援	必要面積 ㎡	保有面積 ㎡				達成率	整備資格面積 ㎡
						ＲＣ造	木造	その他	計		
宮森小学校	399	23	15	5	6,233	5,622	－	－	5,622	90.20%	611
城前小学校	365	24	13	6	5,990	6,197	－	－	6,197	103.46%	
伊波小学校	727	53	22	11	8,897	7,516	－	－	7,516	84.48%	1,381
彩橋小学校	90	9	6	2	2,804	1,751	－	－	1,751	62.45%	1,053
与那城小学校	441	34	15	6	6,039	5,647	－	－	5,647	93.51%	392
南原小学校	257	13	12	4	5,045	4,606	－	－	4,606	91.30%	439
勝連小学校	301	26	12	5	5,571	5,379	－	－	5,379	96.55%	192
平敷屋小学校	188	17	6	4	3,140	3,614	－	－	3,614	115.10%	
津堅小学校	2	－	1	－	769	1,340	－	－	1,340	174.25%	
川崎小学校	353	35	12	5	5,231	4,356	－	－	4,356	83.27%	875
天願小学校	739	40	23	6	7,615	8,258	－	－	8,258	108.44%	
あげな小学校	461	34	16	7	6,432	5,469	－	－	5,469	85.03%	963
田場小学校	802	57	26	8	9,119	7,374	－	－	7,374	80.86%	1,745
具志川小学校	283	14	12	3	4,385	－	－	－	－	0.00%	4,385
兼原小学校	633	46	20	7	6,522	6,907	－	－	6,907	105.90%	
高江洲小学校	632	54	21	10	8,495	6,770	－	－	6,770	79.69%	1,725
中原小学校	813	38	26	5	8,524	7,359	－	－	7,359	86.33%	1,165
赤道小学校	524	39	18	6	7,089	7,090	－	－	7,090	100.01%	
小学校計	**8,010**	**556**	**276**	**100**	**107,900**	**95,255**	**－**	**－**	**95,255**		**14,926**
石川中学校	373	32	10	5	5,769	6,814	－	－	6,814	118.11%	
伊波中学校	323	17	9	3	5,146	5,264	－	－	5,264	102.29%	
彩橋中学校	37	16	3	3	2,654	2,147	－	－	2,147	80.90%	507
津堅中学校	6	1	2	1	1,667	1,145	－	－	1,145	68.69%	522
与勝中学校	517	42	14	7	7,321	6,927	－	－	6,927	94.62%	394
与勝第二中学校	73	1	3	1	2,318	3,176	－	－	3,176	137.01%	
あげな中学校	725	51	20	7	8,352	6,854	－	－	6,854	82.06%	1,498
具志川中学校	695	41	18	7	8,027	7,872	－	－	7,872	98.07%	155
高江洲中学校	512	27	15	4	6,815	4,655	－	－	4,655	68.31%	2,160
具志川東中学校	473	29	13	4	6,468	6,254	－	19	6,273	96.99%	195
中学校計	**3,734**	**257**	**107**	**42**	**54,537**	**51,108**	**－**	**19**	**51,127**		**5,431**
小・中学校合計	**11,744**	**813**	**383**	**142**	**162,437**	**146,363**	**－**	**19**	**146,382**		**20,357**
津堅幼稚園	－		－		－	203	－	－	203	－	
高江洲幼稚園	－		－		－	811	－	－	811	－	
幼稚園計	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**1,014**	**－**	**－**	**1,014**		**－**

3　屋内運動場及び水泳プール・柔剣道場・部室保有状況

令和５年５月１日現在

学校名称	屋内運動場				水泳プール		柔剣道場	部室
	必要面積 ㎡	保有面積 ㎡	整備資格面積 ㎡	達成率 %	保有面積（㎡）		保有面積 ㎡	保有面積 ㎡
					水面積	更衣室		
宮森小学校	1,215	1,214	1	99.92%	400	159		
城前小学校	1,215	1,747	－	143.79%	400	181		
伊波小学校	1,215	1,255	－	103.29%	400	201		
彩橋小学校	894	633	261	70.81%		25		
与那城小学校	1,215	1,251	－	102.96%	400	138		
南原小学校	1,215	1,050	165	86.42%	400	193		
勝連小学校	1,215	1,215	－	100.00%	400	198		
平敷屋小学校	894	1,081	－	120.92%	400	191		
津堅小学校	894	797	97	89.15%	400	146		
川崎小学校	1,215	986	229	81.15%	400	99		
天願小学校	1,215	1,256	－	103.37%	400	122		
あげな小学校	1,215	931	284	76.63%	400	127		
田場小学校	1,215	1,232	－	101.40%	400	121		
具志川小学校	919	919	－	100.00%	400	120		
兼原小学校	1,215	1,252	－	103.05%	400	157		
高江洲小学校	1,215	1,327	－	109.22%	400	171		
中原小学校	1,215	1,262	－	103.87%	400	300		
赤道小学校	1,215	1,065	150	87.65%	400	155		
小学校計	**20,611**	**20,473**	**1,187**	**99%**	**6,800**	**2,804**	**－**	**－**
石川中学校	1,138	1,690	－	148.51%	400	270		427
伊波中学校	1,138	1,320	－	115.99%	400	182	365	288
彩橋中学校	1,138	1,005	133	88.31%	400	26	227	
津堅中学校	1,138	243	895	21.35%				
与勝中学校	1,476	2,333	－	158.06%	400	196	350	150
与勝第二中学校	1,138	1,508	－	132.51%	400	179		104
あげな中学校	1,476	1,476	－	100.00%	400	217	360	350
具志川中学校	1,476	1,516	－	102.71%	400	224	356	228
高江洲中学校	1,476	1,205	271	81.64%	325	331	350	350
具志川東中学校	1,138	1,286	－	113.01%	350	685	350	350
中学校計	**12,732**	**13,582**	**1,299**	**107%**	**3,475**	**2,310**	**2,358**	**2,247**
合計	**33,343**	**34,055**	**2,486**	**102%**	**10,275**	**5,114**	**2,358**	**2,247**

4　教室保有状況

令和５年５月１日現在

学校名称	普通教室			特別教室			特別教室の保有内訳												
	必要数	保有数	不足数	必要数	保有数	不足数	理科	生活	音楽	図画・美術	家庭	視聴覚	コンピュータ	図書館	特別活動	教育相談	技術	外国語	進路資料・指導
宮森小学校	20	20		11	12		1		1		1		1	1	4	2		1	
城前小学校	19	19		11	13		1	2	1		1			1	5	1		1	
伊波小学校	33	36		14	11	3	2		1		1	1		1	4	1			
彩橋小学校	6	8		8	2	6	1				1								
与那城小学校	21	22		11	8	3	1		1		1			1	2	1		1	
南原小学校	16	16		10	9	1	1	1	1	1	1			1	2	1			
勝連小学校	17	17		10	14		1		1		1			1	8	2			
平敷屋小学校	10	10		8	10		1		1		1		1	1	4	1			
津堅小学校	1	1		4	8		1		1						5	1			
川崎小学校	17	17		10	8	2	1		1		1			1	3	1			
天願小学校	29	31		12	12		2		2	1	1			1	2	2		1	
あげな小学校	23	23		11	7	4	1		2	1	1			1		1			
田場小学校	34	33	1	14	13	1	2		2		1			1	5	1		1	
具志川小学校	仮設校舎のため保有なし																		
兼原小学校	27	30		12	7	5	2		1		1			1	1	1			
高江洲小学校	31	33		14	7	7	2		1		1			1		2			
中原小学校	31	31		14	11	3	2		2	1	1			1	3	1			
赤道小学校	24	27		12	11	1	2	1	1		1		1	1	1	2		1	
小学校計	**359**	**374**	**1**	**186**	**163**	**36**	**24**	**4**	**20**	**4**	**16**	**1**	**3**	**15**	**49**	**21**	**0**	**6**	**0**
石川中学校	15	17		15	20		2		2	1	2			1	9	2	1		
伊波中学校	12	15		15	14	1	2		1	1	2	1	1	1	2	2	1		
彩橋中学校	6	6		12	6	6	1		1	1				1		1	1		
津堅中学校	3	4		10	7	3				1	1		1	1	1		1		1
与勝中学校	21	24		15	12	3	3		2	1	2			1	1		1		1
与勝第二中学校	4	4		10	17		1		1	1	2		1	1	6	2	1	1	
あげな中学校	27	29		17	20		3		2	2	2			1	6	2	2		
具志川中学校	25	28		17	22		2		2	2	2	1	1	1	5	3	2		1
高江洲中学校	19	19		15	11	4	2		1	1	2			1	3		1		
具志川東中学校	17	19		15	20		2		2	1	2	1	1	1	6	2	1		1
中学校計	**149**	**165**	**0**	**141**	**149**	**17**	**18**	**0**	**14**	**12**	**17**	**3**	**5**	**10**	**39**	**14**	**12**	**1**	**4**
合計	**508**	**539**	**1**	**327**	**312**	**53**	**42**	**4**	**34**	**16**	**33**	**4**	**8**	**25**	**88**	**35**	**12**	**7**	**4**

5　学校敷地の実態

令和５年５月１日現在

学校名称	建物敷地	屋外運動場　㎡		実験実習地その他	敷地合計	左のうちの借用地　㎡			備考
	㎡	基準	敷地	㎡	㎡	建物敷地	運動場敷地	その他	
宮森小学校	8,119	4,220	5,902	3,266	17,287	535		2,240	
城前小学校	10,164	3,890	4,967		15,131	1,486			
伊波小学校	10,128	7,200	7,553	6,156	23,837				
彩橋小学校	0	2,400	0		0				彩橋中学校に計上
与那城小学校	14,665	4,750	8,965	141	23,771				
南原小学校	2,932	2,700	7,660		10,592				
勝連小学校	6,816	3,270	4,296	1,206	12,318				
平敷屋小学校	6,131	2,400	8,739		14,870				
津堅小学校	9,575	2,400	6,573		16,148		197		
川崎小学校	10,785	3,880	6,808		17,593			134	借地は学校敷地外
天願小学校	14,266	7,200	9,438		23,704	10,126	109		
あげな小学校	9,312	4,950	5,812		15,124				
田場小学校	18,937	7,200	7,533		26,470				
具志川小学校	10,712	2,970	0		10,712				仮設校舎
兼原小学校	12,060	6,790	7,113		19,173				
高江洲小学校	8,516	6,860	6,518	2,921	17,955				
中原小学校	13,172	7,200	7,504		20,676				
赤道小学校	11,138	5,630	8,368	6,878	26,384				
小学校計	177,428	85,910	113,749	20,568	311,745	12,147	306	2,374	
石川中学校	12,842	5,250	8,666		21,508	3,445	656		
伊波中学校	11,829	4,600	9,682		21,511				
彩橋中学校	11,152	3,600	7,587		18,739				
津堅中学校	0	3,600	0		0				津堅小学校に計上
与勝中学校	14,402	6,790	10,487	5,710	30,599				
与勝第二中学校	11,480	3,600	8,629		20,109				
あげな中学校	7,726	8,400	14,068		21,794	1,555			
具志川中学校	15,755	8,400	11,009	1,101	27,865				
高江洲中学校	9,262	6,590	6,253	2,874	18,389				
具志川東中学校	17,948	6,220	12,581		30,529				
中学校計	**112,396**	**57,050**	**88,962**	**9,685**	**211,043**	**5,000**	**656**	**0**	
合計	**289,824**	**142,960**	**202,711**	**30,253**	**522,788**	**17,147**	**962**	**2,374**	

6　学校夜間開放事業実施校一覧表　（令和６年度実施校）

地区	学校名	学校体育施設（開放施設）	
		体育館	運動場
具志川	川崎小学校		
	天願小学校		
	あげな小学校	○	
	田場小学校	○	○
	具志川小学校	○	
	兼原小学校		
	高江洲小学校	○	
	中原小学校	○	
	赤道小学校	○	
	あげな中学校	○	○
	具志川中学校	○	○
	高江洲中学校	○	
	具志川東中学校	○	
石　川	宮森小学校		
	城前小学校		
	伊波小学校	○	
	石川中学校	○	
	伊波中学校	○	○
勝　連 及び 与那城	南原小学校		
	勝連小学校		
	平敷屋小学校		
	与那城小学校	○	
	与勝中学校	○	
	与勝第二中学校		
	津堅小中学校		
	彩橋小中学校		

開放の施設及び日時

開放校	施　　設	曜　日	時　間
市内小中学校	体　育　館	月 ～ 日	20：00～22：00
	運　動　場		

うるま市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則に基づき、経済産業部スポーツ課
補助執行

第６章　生涯学習

第１節　生涯学習振興
第２節　生涯学習文化振興センター
第３節　図書館

第１節　生涯学習振興

1　基本方針

まちづくり生涯学習推進基本計画に基づき市民一人ひとりが、生涯を通して生きがいのある心豊かな生活が送れるよう、学習環境を整備し、市民の多様なニーズに応じた生涯学習を支援するとともに、社会教育関係団体の指導・育成に努め、世代を超えて学び合う生涯学習のまちづくりを推進する。

2　重点目標

① 生涯学習推進体制の拡充と基盤整備
② 生涯学習機会の拡充
③ 社会教育関係団体の指導・育成
④ 青少年健全育成活動の推進
⑤ 家庭・地域の教育力の向上
⑥ 地域学校協働活動推進事業の推進
⑦ 放課後子ども教室推進事業の推進

3　主要施策

1. 生涯学習推進体制の拡充と基盤整備

生涯学習社会の実現をめざすため、生涯にわたる学習活動を推進し、生涯学習の視点に立って学校教育、家庭教育、社会教育それぞれの教育機能を充実させると共に、市長部局との連携・協力のもと、まちづくり生涯学習推進本部を中心に、全庁的な総合行政としての推進体制を確立し市民の多様な学習活動のための施策が展開できるよう基盤整備を図る。

① 生涯学習まちづくりの推進
② 生涯学習施設の整備・充実

2. 生涯学習機会の拡充

生涯学習は、各人が自発的意志に基づき、自主的に行なうことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段、方法を自ら選んで生涯にわたって行うものである。生涯学習情報の発信等広報活動の充実と強化を図るとともに、生涯学習フェスティバルや各種学習活動を開催し、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる学習機会の拡充をはかり、市民一人ひとりが生きがいのある豊かな人生を過ごすことができるよう、生涯学習の充実に努める。

①　生涯学習フェスティバルの開催
②　シニア大学事業の開催

3. 社会教育関係団体の指導・育成

社会教育は、国や地方公共団体によって奨励されなければならない教育事業であるが、行政が行う教育活動には限界がある。その上、今日の機械文明の高度な発達の中で人間疎外の事象が増え、さらに都市化現象に伴う地域連帯意識の欠如など、生涯学習時代に向けて、社会教育関係団体の役割はますます重要になっており、社会教育の充実を図るためには、その指導・育成に努めなければならない。

4. 青少年健全育成活動の推進

青少年は、自然とのふれあいや仲間との活動等生活体験をとおして主体的に考える能力や望ましい人間関係、困難にたち向かう意志等を身につけていくものである。社会の構成員としての規範意識や社会性、命を大切にし、他人を思いやる豊かな人間性を育むためにも発達段階に応じた活動の機会を充実させることが重要である。

青少年育成市民会議、市青連、市Ｐ連、市子連などの青少年関係団体との連携、人材や各種施設等地域資源の活用を図りつつ、青少年の奉仕活動、自主的な体験学習や社会参加活動等を促進し健全育成に努める。

① 青少年の奉仕活動・体験活動の推進
② 放課後子ども教室実施の推進
③ 子ども会ジュニア・シニアリーダーの育成
④ 少年ふれあい事業の実施
⑤ 各種機関・団体との連携強化
⑥ その他青少年健全育成事業

5. 家庭・地域の教育力の向上

家庭は、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など「生きる力」を育成するすべての教育の出発点である。

基本的な生活習慣や指導は、学校、家庭、地域社会がそれぞれの立場で徹底することはもちろんであるが、学校が道徳教育を一層充実するとともに、家庭や地域社会との連携を積極的に進めてこそ、その効果が期待できるものである。

心豊かな望ましい幼児・児童・生徒の基本的生活習慣を身につけさせ、その定着を図るとともに家庭・地域の教育機能を高め、教育力の向上に努める。

① けじめある生活の習慣化（早寝・早起き・朝ご飯）
② 家庭教育の充実
③ 沖縄県家～なれ～運動の周知
④ 学力向上推進のための家庭・地域部会との連携
⑤ 市青少年健全育成協議会との連携強化

6. 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の推進

① 地域学校協働活動推進事業

未来を担う子ども達の成長を支えるため、地域と学校が連携・協働し、地域住民や企業・団体等の参画により、地域を創世する活動を推進することが必要である。そのため地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校の求める支援を行いつつ、地域学校協働活動の推進を目指し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた様々な取り組みを行う。

・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置
・学校支援ボランティアの推進
・学校と地域が協働した地域課題解決学習や、郷土学習、地域人材育成等の推進
・地域人材を活用した活動の実施・運営
・地域未来塾による無料塾の実施

② 放課後子ども教室推進事業

子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりが求められている。

国の「放課後子ども教室推進事業」創設に伴い、うるま市では各小中学校において「放課後子ども教室推進事業」の実施に際しては、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取組を実施する。

・放課後子ども教室の実施支援
・教育活動推進員・教育活動サポーターの配置支援
・地域人材を活用した活動の実施・運営

令和５年度 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 実施状況

学校名	地域学校協働活動推進事業 （地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ配置状況）	地域未来塾	放課後子ども教室推進事業
宮森小学校	２名		学習、三線教室
城前小学校	２名		学習、物づくり
伊波小学校	１名		学習、物づくり、お楽しみ会
与那城小学校	１名		学習支援
南原小学校	２名		学習支援、物づくり、和太鼓、三線、漢字検定、動物園へ遠足、スポチャレ
勝連小学校	２名		未実施
平敷屋小学校	１名		学習、物づくり
津堅小学校	１名 ※中学校と兼任		未実施
川崎小学校	１名		未実施
天願小学校	１名		未実施
あげな小学校	１名		学習、自由あそび
田場小学校	１名		学習、自由あそび
具志川小学校	１名		学習、剣道、自由あそび
兼原小学校	１名		未実施
高江洲小学校	１名		学習、自由あそび
中原小学校	０名		未実施
赤道小学校	１名		学習、手話、体操、工作
彩橋小学校	２名 ※中学校と兼任		学習、三線教室、工作
石川中学校	１名	199 回	エイサー
伊波中学校	１名	13 回	花壇作り、グリーン教室
津堅中学校	１名 ※小学校と兼任	未実施	未実施
与勝中学校	２名	29 回	未実施
与勝第二中学校	１名	未実施	未実施
あげな中学校	１名	27 回	未実施
具志川中学校	１名	36 回	未実施
高江洲中学校	１名	26 回	学習、自由あそび
具志川東中学校	１名	11 回	未実施
彩橋中学校	２名 ※小学校と兼任	48 回	未実施

令和５年度 地域学校協働活動推進事業

事業趣旨

子ども達の成長を支えるため、地域と学校の連携・協働を目指し、学校に地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校の求める支援を行いつつ、地域住民等の参画による地域の実情に応じた様々な取り組みを行う。

宮森小学校

あげな小学校

津堅小中学校

高江洲中学校

実施校数

小学校 17 校、中学校 10 校にて実施。
地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）35 名配置。

ボランティア内容

交通安全指導、学習支援、部活動指導、環境整備、学校行事支援などを行う。
これまでの延べボランティア回数は約 7,665 回、延べボランティア人数は 43,726 人。

令和５年度 放課後子ども教室推進事業

事業趣旨および実績

小学校及び中学校において、放課後や週末等に子ども達が安全に安心して活動する拠点（居場所）を設け、地域の参画を得て、勉強やスポーツ、文化、地域住民との交流活動等を実施することで、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

延べ実施回数 705 回（平均 47 回/年）、1 回あたりの平均参加者数 17 人。

実施校数

小学校 12 校、中学校 3 校にて実施。

取組内容

学習教室、三線教室、太鼓教室、剣道教室、昔遊び、物づくりなど。

伊波小学校

あげな小学校

具志川小学校

彩橋小学校

赤道小学校

南原小学校

城前小学校

平敷屋小学校

田場小学校

第２節　生涯学習文化振興センター

１　生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」

1. 生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」の目的

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、うるま市ならではの伝統芸能文化の振興と生涯学習の推進を目的に設置された。各種サークルや生涯学習関係団体の活動の拠点となるほか伝統芸能や音楽団体と市民との接点をつくり、新たな文化創造の場を醸成する。

2. 運営方針

うるま市は戦後高等教育発祥の地であり、市内の捕虜収容所から戦後初の舞台芸能が演じられた、学びと芸能の黎明を誇るまちである。うるま市には闘牛、エイサー、獅子舞など沖縄ならではの伝統的な文化芸能が保護継承され、観光客にも人気のスポットとなっている。これらうるま市ならではの文化資源を「ゆらてく」の事業展開のなかで守り育てることによって、魅力的なまちづくりの一翼を担うものである。うるま市固有の文化を生かした多様な事業展開のなかで、常に開かれた学びの拠点づくりをめざす。

従来、生涯学習施設はサークルの活動拠点であり、講座の開催場所にもなるなど主に団体を対象としているが、生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、サークルや講座以外の個人利用にも対応の幅を広げる。コモンズや屋上庭園などはこういった個人利用者が長時間滞在するための格好のコンテンツであり、知的創造活動の要ともなる大切な機能である。

「ゆらてく」は、公民館と異なり、自由度の高い企画運営が可能となっている。フリーマーケットやバザーなどの営利事業についても、門戸が開かれている。

3. 事業内容

ゆらてく講座（随時）

4. 施設案内

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、市民芸術劇場に隣接している。生涯学習の拠点であり、同時に文化を育てる場として隣接する市民芸術劇場と連携して事業を進めていく。音楽室や創作活動室などの新しい機能のほか、ひとりでも気軽に立ち寄れるよう、コモンズや屋上庭園などが整備されている。

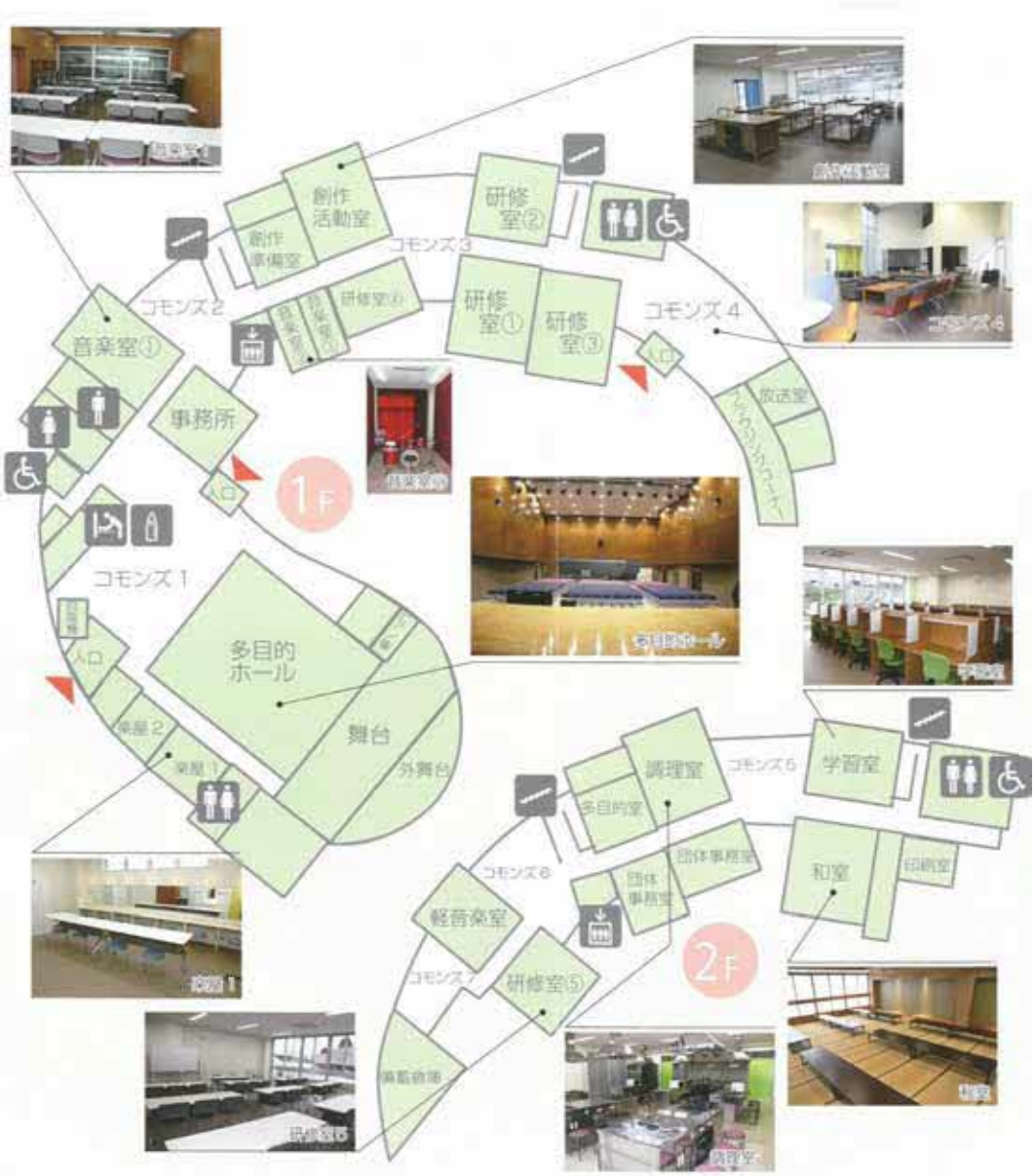
5. 利用の申し込み等

施設の予約	管理事務室へ問い合わせ後 → 使用申請書を提出 → 使用料を納付 （利用目的によっては、お断りさせていただくこともあります。ご了承ください。）
予約の変更・取消	変更・取消等が生じた場合は、速やかに届け出を行ってください。 （天災やご利用 10 日前までに取消の場合に限り施設使用料返還が可能）
開館時間	午前 9：00　～　午後 10：00
休館日	毎週月曜日と年末年始（12/29～1/3）、暴風警報が発令された時

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」

〒904-2226
沖縄県うるま市字仲嶺 187 番地
TEL：098-988-5508
FAX：098-988-5504

館内見取り図



生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」各部屋の詳細

フロア	エリア	特　　徴	面積（㎡）	収容人数	主な備品
1F	多目的ホール	講演会から音楽コンサートまで多目的に利用できる。舞台照明機材のＬＥＤ化で省電力を図っている。 ホール後方の昇降パネルを収納することでコモンズ１と一体化して大型イベントに対応できる。昇降パネル壁は鏡面仕様。映画会用３００インチスクリーンとプロジェクター装備。	430.17	最大300	テーブル54台　イス310脚 演台、司会用演台、花台 舞台照明、音響　ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ 大型スクリーン・プロジェクター
	楽屋１	化粧台、着替えスペース、姿見有り。	32.30	15	ﾃｰﾌﾞﾙ2台、イス12脚
	楽屋２		22.38	10	ﾃｰﾌﾞﾙ１台、イス8脚
	コモンズ１	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 コモンズのなかでは最大の広さがあり、展示会に特化した使用を推奨する。多目的ホールと一体化して使用できる。	344.08	－	テーブル　ソファー　ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄｽﾀﾝﾄﾞ 有料コピー機
	授乳室	湯沸かし器、オムツ替え台が自由に使える。	5.38	－	幼児用イス　オムツ替え台
	音楽室１（大）	音楽活動（三線・太鼓・バンド）、演劇、ダンス等のパフォーマンスに向いた部屋。防音防振仕様。	84.03	30	テーブル11台　イス30脚 譜面台15台　アップライトピアノ
	音楽室２（小）	ドラム練習可　　防音防振仕様	22.08	7	ドラムセット　イス7脚　譜面台2台
	音楽室３（小）	少人数・個人用　　防音防振仕様	22.08	7	イス７脚
	研修室1（大）	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋	88.00	50	テーブル18台　イス50脚 50インチ液晶テレビ
	研修室2（中）	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋　Wi-fi環境	66.00	26	テーブル9台　イス26脚
	研修室3（中）	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋　Wi-fi環境	78.40	32	テーブル11台　イス32脚
	研修室４（小）	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋	44.00	20	テーブル7台　イス20脚
	コモンズ２	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 個人・グループを問わず、自主的・自立的に活動が可能。 展示パネルを使ったミニ展示会も可能。	86.62	－	テーブル　イス
	コモンズ３		75.80	－	テーブル　イス
	コモンズ４	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 個人・グループを問わず、自主的・自立的に活動が可能。	146.56	－	テーブル　ソファー
	創作活動室	美術・工芸などの作業を行う部屋 室内外に手洗い場、 屋外に陶芸用窯が有る。	83.20	37	工作台7台　イス37脚 手動ロクロ9台　電動ロクロ13台 ネスティングカットテーブル1台
	創作活動準備室	創作活動室で使う道具、備品などを保管。 乾燥用棚有り	－	－	粘土乾燥棚　粘土貯蔵機　真空土錬機 各種電動のこ5台 電動ドリル1台　仕上げサンダー1台
2F	軽音楽室	音楽活動（三線・太鼓・バンド）、演劇、ダンス等のパフォーマンスに向いた部屋。完全防音仕様。	67.50	26	テーブル9台　イス26脚
	印刷室	印刷機やコピー機を使ってチラシや資料が作成できる			輪転機　コレ-ター
	学習室	個別学習机を備えた静寂な学習室（無料）。Wi-fi環境	66.00	32	32席
	研修室5（中）	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋　Wi-fi環境	60.07	29	テーブル10台　イス29脚
	コモンズ５	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース　Wi-fi環境	40.75	－	テーブル、イス
	多目的室	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋 調理室の控えや臨時の託児室として使用可	38.76	－	テーブル6台　イス18脚
	調理室	調理等の学習活動に最適。 ガスオーブン付き調理台有り（うち１台は高さ調節可）。	82.04	36	調理台7台　イス40脚 冷凍冷蔵庫、オーブンレンジ6台 その他調理器具
	コモンズ６	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース　Wi-fi環境	70.83	－	テーブル　イス　ロビーチェアー
	コモンズ７	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース	80.30	－	テーブル　イス　ロビーチェアー
	和室	茶道や書道などに活用できる４０畳の畳間。水屋あり。	85.66	36	和机12台　姿見4台　座布団 基本茶道具一式
屋外	中庭	エイサー祭りや音楽会などに使用できる芝広場。			
屋外	屋外	陶芸用窯			灯油窯
屋上	屋上庭園	3つのライブエリアを有し、祭りイベントなどに使用できる屋上広場。			
可動式備品		92インチスクリーン1台　プロジェクター1台　ポータブルアンプ1台 音響セット一式（録音機能付き）　ホワイトボード5台 簡易ステージ一式　イベント音響一式			

2　うるま市立公民館

1. 公民館の目的（社会教育法第 20 条）

公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

2. 基本目標

① 市民自ら学習する意欲と能力を培い、個性的で、心豊かな人間性の伸長をはかり、新しいコミュニティの形成者としての資質の向上を目指す。

② 自治公民館や関係機関、団体との緊密な連携のもとに、いつでも、誰でも、気軽に学習が受けられるように学習機会を拡充し、生涯学習の拠点としての役割、機能の充実を図る。

3. 運営方針

学習の場・いこいの場・語らいの場として市民が気軽に利用できて、親しまれるような施設としての運営に努める。

4. 事業内容

学習機会の拡充

多種多様な講座等を開設し、住民の生活、文化の向上及び豊かな人間性を養う。

【市立公民館講座】
地区公民館において公民館講座の開設

【自治公民館講座】
自治公民館講座の開設奨励

【自主サークルの結成奨励】

関係団体との連携・情報提供

- 事業計画書の作成、受講募集の案内
- 各学級や講座等のまとめ、報告書作成
- サークル団体の支援
- 生涯学習推進に関する情報収集と提供
- うるま市自治公民館連絡協議会補助事業
- 公民館研究大会、研修会の参加推進

公民館施設・運営の充実

- 公民館運営審議委員会活動の充実
- 職員研修の充実
- 施設の維持管理
- ホール、研修室等の貸館
- 各種サークル、講演会、研修会等の受け入れ

新しいコミュニティの形成・豊かな人間性の伸長

令和６年度　ゆらてく・公民館講座年間計画一覧表

講座名	内　容	開催月	回数
日常生活を健康に初めての「アーユルヴェーダとインドヨガ」	ヨガの知識を学ぶ。ハーブスパイスを用いて、体質にあったスパイスティーつくりを体験。	5月	３回
親子講座　手足形アート	子どもの手足形を使った、初心者でもできるアート作品作り。	5月	１回
基礎からはじめる刺繍レッスン	基本の縫い方、図案の写し方、文字刺繍を学び、A4サイズのエコバッグの作品作り。	5･6月	５回
初心者のための～作ってワクワク！飾ってキュン♡バルーンアート	作って飾って、見て楽しめる、かわいいバルーンアートで想像力と集中力を高めよう！	6月	１回
お父さんと力を合わせてお菓子作り	お父さんと力を合わせ、完成の喜びと同時に最後の片付けまで体験。	7月	２回
大人のためのステップダンス	ディスコステップダンスで体を動かし、楽しみながら健康増進へとつながる	7月	４回
夏休み 陶芸 親子手びねり	親子で好きな形の陶器づくり	7月	１回
首里城瓦アート	貴重な首里城瓦を使ってアート作品を作る。	8月	２回
ユンタク講座～エンタメから歴史を楽しむ～	ＳＦやアニメなどエンタメは歴史とどうつながるのか？	8月	３回
Hello！未来のわたし 先輩から学ぶ	先輩（専門学生等）が学んでいることを体験して考える進路選択。	8月	１回
うるま市・沖縄の行事と習わし	沖縄の行事・風習を学ぶ。	8･9月	４回
沖縄の木で作る仔イス	自然の木に触れて、ものつくりを実践体験。	9月	２回
あなたが「儲ける」じゃないお金がはたらく話	仕事で得る所得だけではなく、若いうちから知ってほしい、”お金を働かせる”お話し。	9月	１回
米粉でおいしくやさしく♡ハロウィンおやつ	体にやさしい米粉を使った、スイーツ作りを学ぶ。	10月	２回
チアダンスで楽しくGOGO！ＳＭＩＬＥ😊	リトルコース・キッズコース、年齢に合わせた振り付けで楽しくチアダンス。	10月	1回
沖縄の伝統芸能　組踊にふれる	組踊の作法を学び、組踊を体験する(観る）。	10･11月	２回
初心者からの英会話講座	英語の歌や体操をしながら英会話を楽しもう！	10･11月	７回
野草を楽しもう！	野草の調理方法を学び、実食まで。	11･12月	３回
大人も子どもも夢中になるボードゲームの世界	アナログゲームを通して、世代を超えた交流を楽しむ。	調整中	３回
ものづくり体験 コケ玉植物づくり	コケと植物を使い、自分だけのオリジナル作品を作る。	調整中	1回
おつまみ作り	家で簡単に作れる”家呑みおつまみ”を作る。	調整中	1回
月夜を楽しむ＆絵本・紙芝居	十五夜のおもちつき・お月さまを見ながら絵本・紙芝居をみる	調整中	1回
ものづくり体験 ミニ畳制作	手縫いで畳の製作方法を体験する。	調整中	1回
ゆかたリメイク・パンツ作り	ゆかたを実用的なパンツにリメイク	調整中	3回

※うるま市ホームページに各講座の詳細を掲載しています。

石川地区公民館

石川地区公民館は、市立石川図書館、石川歴史民俗資料館の隣です。
「い」いつでも楽しく和やかに、学びあうところ
「し」親しい友ができ、生きがいを見つけるところ
「か」語り合いがあって、自分を高めるところ
「わ」私もあなたもみんなで仲良く集うところ
地域住民の生涯学習の場を提供します。

〒 904-1107　うるま市石川曙二丁目 1 番 52 号
電話（098）964-3433　FAX（098）964-3467

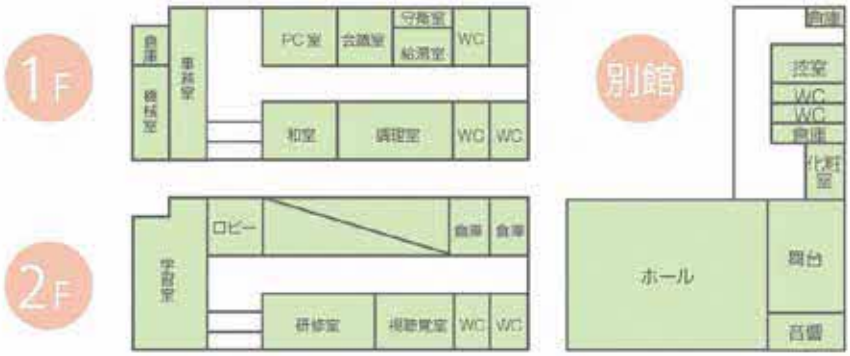
部屋名	収容人数	用　途（備　品）
ホ　ー　ル	約200名	講演会・レク・発表会・展示会等（ピアノ・テーブル・イス・音響等）
第一研修室	約30名	会議・研修会等（テーブル・イス・白板等）
第二研修室	約20名	会議・研修会等（テーブル・イス・白板等）
図　書　室	約25名	会議・研修会等（テーブル・イス・白板等）
会　議　室	約10名	小会議等（テーブル・イス・白板等）
談　話　室	約8名	小会議等、業務打ち合わせ（テーブル・イス・白板等）
和　　室	約20名	小会議等、茶道等（テーブル・イス等）
調　理　室	約30名	調理実習等（調理器具）
学　習　室	約20名	学習（テーブル・イス・白板等）
コンピュータ室	12名	パソコン講座（パソコン・テーブル・イス等）

与那城地区公民館

与那城地区公民館は、地域住民のコミュニティセンターとしての役割を担っています。公民館講座、学級、サークル、団体活動の場として使用できます。

〒 904-2304　うるま市与那城屋慶名 467 番地 4
電話・FAX 兼用（098）978-6836

部屋名	収容人数	用　途（備　品）
ホ　ー　ル	約200名	講演会・レク・発表会・展示会等
和室(32畳)	約30名	会議・学習会（三線・操体道）
調　理　室	約20名	調理学習・生花等（調理器具）
会　議　室	約15名	小会議室等
コンピュータ室	約10名	パソコン講座
研　修　室	約30名	会議・研修会等
視 聴 覚 室	約30名	レク体操等
学　習　室	約24名	自主学習

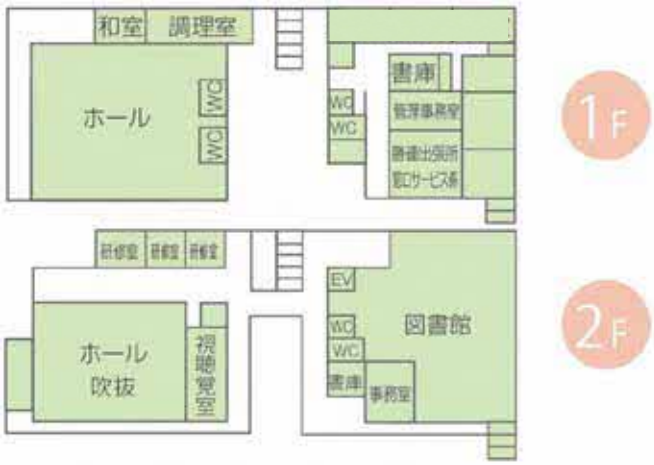


勝連地区公民館

勝連地区公民館は、きむたかホール等と併設されています。
地域に親しまれる公民館を目指し、地域性を生かした事業を行うことにより、住民の生涯学習に貢献します。

〒 904-2392　うるま市勝連平安名 3047 番地
電話（098）978-7194　FAX（098）978-2247

部屋名	収容人数	用　途（備　品）
中 ホ ー ル	約300名	講演会・レク体操・展示会・発表会
和室(24室)	約20名	会議等
調理実習室	約20名	調理実習等
研 修 室 1	約30名	会議・研修会・学習会（コーラス・大正琴）
研 修 室 2	約30名	会議・研修会・学習会等
研 修 室 3	約15名	会議・研修会・学習会（三線・生花）等
視 聴 覚 室	約30名	視聴覚機材を利用しての研修会等(パソコン・プロジェクター等)



うるま市立公民館利用のしおり

1. 開館日・時間

＊ 年末年始(12/29～1/3)及び日曜、祝祭日を除き、午前９時から午後 10 時※1 までご利用頂けます。
＊ 暴風警報が発令された時は、原則として閉館します。

※1 与那城地区公民館は午後５時まで。

2. ご利用の前に

＊ 利用する 10 日前までに「使用申請書」を提出し、許可を受けてください。
＊ 社会教育以外の目的で使用する場合は、お断りさせて頂くこともございます。ご了承ください。
＊ 登録団体以外は有料となります。ご利用の公民館にて、金額や納付方法等をお尋ねください。

3. ご利用の際に

＊ 利用の変更や取り消しをする際には、速やかに届け出てください。
＊ 条例規則等を守り、職員の指示に従ってご利用ください。
＊ 代表者の方は、使用する前に職員へお声かけください。
＊ 施設、備品・器具等に不具合のある場合は、公民館職員へご連絡ください。
＊ ご利用後は、施設、備品・器具等を所定の場所へ戻し、他の利用者の迷惑にならないようお願い致します。

4. 注意事項

＊ 許可のない部屋・備品は使用できません。
＊ 許可なく壁、柱、扉の貼紙等はお断りいたします。
＊ 施設、備品、器具等を壊したり、傷つけたりしないようお願い致します。

令和6年度　うるま市生涯学習文化振興センターゆらてく　利用団体（サークル）一覧表

令和6年４月現在

番号	サークル名	種　別	活動日		活動回数（月）	活動時間	場　所
1	虹の会　（水彩画）	水彩画	毎週	火	4	14:00 ～ 16:00	創作活動室
2	具志川火踊会	民踊	毎週	火	4	14:00 ～ 16:00	多目的ホール
3	Okinawa Yoga Institute（OYI）	ヨガ	毎週	火	4	18:00 ～ 20:00	和室
4	市老連コーラスわかば	コーラス	第2･4週	水	2	13:00 ～ 15:00	音楽室①
5	具志川結舞踊	民踊	第2･4週	水	2	10:00 ～ 12:00	研修室①
6	うるま市太極拳同好会	太極拳	毎週	水	4	19:00 ～ 21:00	研修室①
7	フラサークル･カピリナＢチーム	フラダンス	毎週	水	4	10:00 ～ 12:00	研修室③
8	Na kiele O kalani(ケニケニ)	フラダンス	毎週	水	4～5	10:00 ～ 12:00	研修室④
9	Na kiele O ka Lani	フラダンス	毎週	水	4～5	19:00 ～ 21:00	研修室⑤
10	うーぶ山会Ⅰ	陶芸	毎週	水	4～5	13:00 ～ 16:00	創作活動室
11	うーぶ山会Ⅱ	陶芸	毎週	水	4～5	19:00 ～ 22:00	創作活動室
12	うるま若水会	沖縄民踊	毎週	水	4	10:00 ～ 12:00	多目的ホール
13	Ａ-ONE DSC	ダンススポーツ･琉舞	毎週	水	4	20:00 ～ 22:00	多目的ホール
14	ボイス楽しむ会	ボイストレーニング	第1～3	木	3	10:00 ～ 12:00	音楽室①
15	土筆会(つくし会)	水墨画	第2･4週	木	2	10:00 ～ 12:00	創作活動室
16	健康マージャンサークル	健康マージャン	毎週	木	4	14:00 ～ 16:00	研修室
17	バレエでアン．ドゥ．トロワ	バレエ	毎週	木	4	19:00 ～ 21:00	研修室①
18	演劇集団「こかげ」	演劇練習	毎週	木	4～5	20:00 ～ 22:00	研修室②
19	フォークソング愛好会Ｍｉｎｔ	フォークソング練習	毎週	木	4~5	19:00 ～ 21:00	研修室③
20	歌声サークル「わらべの会」	歌･童謡の練習	第1･３･５週	金	3	10:00 ～ 12:00	音楽室①
21	エンジョイミュージック	楽器演奏	第1･3週	金	2	20:00 ～ 22:00	音楽室①
22	ギターラ･うるま	クラシックギター	毎週	金	4~5	19:00 ～ 21:00	研修室③
23	Na-kiele O ka Lani(ﾌﾟｱﾒﾘｴ)	フラダンス	毎週	金	4～5	20:00 ～ 22:00	研修室⑤
24	しきなみ短歌わくわくサークル	短歌	第2週	土	1	10:00 ～ 12:00	研修室②
25	タティングレース同好会	タティングレース	第2･3週	土	2	10:00 ～ 12:00	研修室④
26	秋津書道わくわくサークル	書道	第1･4週	土	2	10:00 ～ 12:00	研修室④
27	うるま市山野草愛好会	山野草	第3週	水	1	14:00 ～ 16:00	研修室④
28	氷室俳句会沖縄支部	俳句	第３週	土	1	14:00 ～ 16:00	多目的室
29	フラサークルカピリナAチーム	フラダンス	毎週	土	4	18:00 ～ 20:00	研修室③
30	ゆらてく将棋クラブ	将棋	第2･4週	日	2	10:00 ～ 12:00	研修室③

お問い合わせ先　生涯学習文化振興センターゆらてく　うるま市字仲嶺187番地　☎ 988-5508

令和６年度　うるま市立石川地区公民館利用団体（サークル）一覧表

令和6年４月現在

番号	サークル名	種　別	活動日		活動回数（月）	活動時間	場　所
1	沖縄琴正会　石川月サークル	大正琴	毎週	月	4～5	10:00 ～ 12:00	図書室
2	中医学	健康講座	第２週	月	1	19:00 ～ 21:00	図書室
3	市老石川支部手芸サークル	手芸	第１～３週	月	3	14:00 ～ 16:00	図書室
4	Chieko ZUMBAサークル	ズンバ	毎週	月	4～5	14:00 ～ 16:00	ホール
5	タイフーン・トワラーズ	ｽｸｴｱﾀﾞﾝｽ	毎週	月	4～5	19:00 ～ 21:00	研修室１
6	ダンスサークルドリーム	スポーツダンス	毎週	月	4	20:00 ～ 22:00	ホール
7	石川カジマヤーの会	琉球舞踊	毎週	火	4	14:00 ～ 16:00	ホール
8	コーラスあやはし	コーラス	第1・3週	火	2	10:00 ～ 12:00	ホール
9	ﾊﾜｲｱﾝﾌﾗﾀﾞﾝｽﾋﾟｶｹ	フラダンス	毎週	火	4～5	19:00 ～ 21:00	研修室１
10	沖縄琴正会　すみれ会	大正琴	毎週	火	4～5	10:00 ～ 12:00	図書室
11	ﾌｧﾖｲﾙドンアリ	韓国語	毎週	火	4	19:00 ～ 21:00	会議室
12	野の花の会（石川支部老人クラブ・書道サークル）	書道	第2・4週	火	2	15:00 ～ 17:00	図書室
13	パソコンサークルいしてぃ	パソコン	毎週	火	4～5	19:00 ～ 21:00	パソコン室
14	ゆいゆいシニアダンススクール	エクササイズダンス	毎週	火	4	10:00 ～ 12:00	研修室１
15	みほそグリーン・クラブ	合唱	第2・4週	火	2	17:00 ～ 19:00	ホール
16	石川ギターサークル	ギター	毎週	水	4～5	19:00 ～ 21:00	図書室
17	石川高齢者民踊愛好会	民踊	毎週	水	4	9:00 ～ 11:00	ホール
18	老人クラブ三線クラブ	三線	第1・3週	水	2	13:00 ～ 15:00	研修室１
19	おきなわ結舞踊サンダンカ	結舞踊	毎週	水	4	14:00 ～ 16:00	ホール
20	石川民踊愛好会	民踊	毎週	水	4	16:00 ～ 18:00	ホール
21	島唄弾遊会	三味線(古典・民謡)	毎週	水	4～5	19:00 ～ 21:00	和室
22	かな書道サークル「千草」	書道	第１～３週	水	3	10:00 ～ 12:00	図書室
23	動作法　のぼるの会	健康動作法	第2・4週	水	2	13:00 ～ 15:00	研修室1・2
24	石川FDC	フォークダンス	毎週	水	4～5	19:00 ～ 21:00	研修室１
25	石川二胡サークル	二胡	毎週	水	4	19:00 ～ 21:00	研修室２
26	カサブランカ絵画ｻｰｸﾙ	絵画	第2・4週	水	2	14:00 ～ 16:00	図書室
27	ﾊﾟｿｺﾝｻｰｸﾙゆいまーる	パソコン	毎週	水	4～5	19:00 ～ 21:00	パソコン室
28	二胡にこサークル初心者ｺｰｽ	二胡	毎週	水	4	15:00 ～ 17:00	研修室２
29	着付け倶楽部	着付け	第１・３週	水	2	10:00 ～ 12:00	和室
30	スヌーピー	ﾀﾃｨﾝｸﾞﾚｰｽ	毎週	木	4～5	14:00 ～ 16:00	会議室
31	石川太極拳同好会	太極拳	毎週	木	4～5	19:00 ～ 21:00	研修室１・２
32	なじみの会	調理	第３・４週	木	2	13：00・19：00 ～ 15：00・21：00	調理室
33	ダンスサークル石川	ステップダンス	毎週	木	4～5	19:30 ～ 21:30	ホール
34	ストレッチ＆やさしいヨガ	ストレッチ・ヨガ	毎週	木	4～5	10:00 ～ 12:00	研修室1・2
35	自彊術サークル	自彊術	毎週	金	4～5	10:00 ～ 12:00	研修室１・２
36	気功サークル	導引養生功	毎週	金	4～5	10:00 ～ 12:00	図書室
37	オカリナサークル・石川	オカリナ	毎週	金	4～5	19:30 ～ 21:30	図書室
38	光る野菜畑	自然栽培	第2週	金	1	14:00 ～ 16:00	図書室
39	石川みほそ太鼓	太鼓	毎週	金	4～5	17:00 ～ 19:00	ホール
40	うるま天龍太鼓	太鼓	毎週	金	4～5	20:00 ～ 22:00	ホール
41	うるま市民踊団体連絡協議会	民踊	第４週	土	1	10:00 ～ 12:00	ホール
42	紅型サークル	紅型染色	第１・３・５週	土	2～３	10:00 ～ 12:00	会議室
43	表千家　遊心会	茶道	第１・３・４週	土	3	10:00 ～ 12:00	和室
44	茶道に親しむサークル	茶道	第3・5（火）第2・4（土）	火・土	4	14:00 ～ 16:00	和室
45	島つばき土よう会	三線	毎週	土	4	19:00 ～ 21:00	図書室
46	劇団石川ひまわりキッズシアター	演劇	毎週	土	4～5	14:00 ～ 16:00	ホール
47	ゴールデンパールヨガ	ヨガ	毎週	土	4～5	10:00 ～ 12:00	研修室１・２
48	家庭倫理の会スマイルサークル	家庭教育研修会	第４週	土	1	14:00 ～ 16:00	図書室
49	組踊地謡研修サークル	三線・琴	第3・4週	土	2	17:00 ～ 19:00	図書室
50	石川箏曲同好会	箏	第２週	土	1	13:00 ～ 15:00	図書室
51	短歌サークルしきなみ	短歌	第２週	土	1	10:00 ～ 12:00	図書室

お問い合わせ先　石川地区公民館　うるま市石川曙二丁目１番52号　☎ 964-3433

令和６年度　うるま市立与那城地区公民館利用団体（サークル）一覧表

令和6年4月現在

番号	サークル名	種　別	活動日		活動回数（月）	活動時間	場　所
1	あやはし野の草の会	山野草	第3週	月	1	14:00 ～ 16:00	会議室
2	あやはし古典音楽サークル	三線・箏	毎週	火	4～5	10:00 ～ 12:00	和室
3	ダンスサークルタートル与那城	ステップダンス	毎週	水	4	14:00 ～ 16:00	ホール
4	あやはし美姿勢サークル	健康体操	毎週	水	4～5	10:00 ～ 12:00	ホール
5	あやはし古典音楽同好会	三線・箏	毎週	金	4～5	14:00 ～ 16:00	和室
6	与那城高齢者民踊愛好会	民踊	第２・４週	金	2	14:00 ～ 16:00	ホール
7	あやはしパソコンサークル	パソコン	毎週	土	4～5	10:00 ～ 12:00	会議室

お問い合わせ先	与那城地区公民館　うるま市与那城屋慶名467番地4　☎ 978-6836

令和６年度　うるま市立勝連地区公民館利用団体（サークル）一覧表

令和６年4月現在

番号	サークル名	種　別	活動日		活動回数（月）	活動時間	場　所
1	ヨガサークル月火美人	ヨガ	毎週	火	4	10:00　～　12:00	中ホール
2	絵手紙オアシス会	絵手紙	第2週	木	1	14:00　～　16:00	調理室
3	かつれんＺＵＭＢＡサークル	ＺＵＮＢＡ	毎週	木	4～5	19:00　～　21:00	中ホール
4	パソコンサークルＰico	パソコン	毎週	木	4～5	14:00　～　16:00	視聴覚室
5	ゆうなの会	手芸	第1･3週	木	2	10:00　～　12:00	研修室2
6	チャーム･１０（テン）	パソコン	毎週	木	4	19:00　～　21:00	視聴覚室
7	オカリナサークル風の音	オカリナ	毎週	木	4～5	19:00　～　21:00	研修室1
8	少林武術太極拳　呈祥	太極拳	毎週	金	4～5	14:00　～　16:00	中ホール
9	アートクラブ	絵画	毎週	土	4～5	13:00　～　15:00	研修室2
10	勝連民踊愛好会	民踊	毎週	土	4～5	14:00　～　16:00	中ホール
11	響鳴太鼓	太鼓	毎週	土	4～5	17:00　～　19:00	中ホール
12	フラサークル　マカラプア	フラダンス	毎週	土	4～5	19:30　～　21:30	中ホール

お問い合わせ先	勝連地区公民館　うるま市勝連平安名3047番地　☎ 978-7194

第３節　図書館

１　図書館の概要

1. 図書館の運営

高度情報化社会を迎え、生涯学習の必要が強調されるなかで市の情報センターとして、市民の生涯にわたる自己学習を援助し、生活課題の解決と文化の進展に寄与する図書館づくりに努める。

2. 基本方針

① 貸出サービスの充実
② 日常生活の多様な質問に応える。
③ 新鮮で豊富な資料を揃える。
④ 児童サービスの重視
⑤ 不自由な人へ配慮する。
⑥ 地域文化及び産業を支援する。
⑦ 総合目録とインターネット利用によるサービスの実施

3. 施設概要

中 央 図 書 館

所在地	〒904-2221 うるま市字平良川 128 番地
開館年月	平成３年４月
施設 延面積	3,284 ㎡
建物の 単独複合 の別	単 独
総工事費	約 10 億円

石 川 図 書 館

所在地	〒904-1107 うるま市石川曙二丁目１番55号
開館年月	平成４年７月
施設 延面積	1,097 ㎡
建物の 単独複合 の別	複 合

勝 連 図 書 館

所在地	〒904-2312 うるま市勝連平安名 3047 番地
開館年月	平成 10 年 11 月
施設 延面積	616 ㎡
建物の 単独複合 の別	複 合

4. 利用案内

① 図書館の利用について

・うるま市民及び市内に通勤・通学している者。

・その他館長が必要と認めるもの。

② 貸出について

	貸出点数	期 間
個人	ひとり 20 点 （本･雑誌以外に紙芝居･ビデオ･DVD は各 5 点、CD 及びカセットテープは合わせて 10 点可）	14 日
団体	1 団体 100 点 （本以外に雑誌 20 点、紙芝居 20 点可）	1 ヶ月

※貸出できる団体は、市内の保育所、学校、その他館長が認める団体とする。

③ 開館時間・休館日

	中央図書館 ・ 石川図書館	勝連図書館
開館時間	火曜日～金曜日　午前 10 時～午後 7 時 土･日曜日　午前 10 時～午後 5 時	火曜日～金曜日　午前 10 時～午後 6 時 土･日曜日　午前 10 時～午後 5 時
休館日	毎週月曜日 国民の祝日に関する法律に規定する休日及び 6 月 23 日 館内整理日 (4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、10/24、11/28、12/26、1/23、2/27、3/30) 年末年始(12/29～1/4) 特別整理期間(毎年14日以内)	

5. 重点目標

レファレンスサービス

① 市民の調査研究に役立つ参考図書を幅広く収集し、課題解決へ向け資料提供等支援を行う。

② 図書資料の他、視聴覚資料や新聞、インターネット等を駆使して、レファレンスサービスの充実を図る。

③ 県内・県外公共図書館との連携を密にし、相互貸借の有効活用により市民の調査研究への支援を図る。

④ 類縁機関との連携を基に、各種情報網の確保に努め、レファレンスサービスの強化を図る。

児童サービス

① 児童書・絵本・紙芝居等資料の充実を図る。

② 読み聞かせ・紙芝居・ペープサート等、お話会の実施。

③ 団体貸出の充実強化。

④ 学校司書連絡会・おはなしサークル及びボランティア団体との連携強化を図る。

⑤ 学校及び学校図書館や教育支援センターとの地域ネットワークを活かした協力を始め、保育所や幼稚園など関連機関との連携・協力を推進し、地域における読書環境の整備充実を図る。

IT サービス

① インターネット接続による図書検索機能の拡充を図る。

② 館内利用者用開放端末及び、家庭用パソコンからの予約図書受付サービスの推進を図る。

6. 指 針

図書館を地域の情報センターとして位置づけ、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の各時期における人間形成及び生活課題の解決に資するため、地域の教育関連機関との協力、連携の強化を図りつつ図書館活動を推進する。

中央図書館・石川図書館・勝連図書館を市民の自己学習の拠点として図書館サービスの充実に努める。又、学校図書館への支援体制を推進し、市民の読書意欲を高め、利用の拡大を図る。

図書館の運営にあたっては、将来の人材として児童サービスを重視しつつ、新鮮な資料の提供とリクエスト・予約サービス及びレファレンス（参考業務）の強化を図り、地域文化の振興と共に産業も支援していきます。併せて、コンピュータ地域ネットワークの充実とインターネット利用の促進を図り、資料の高度利用の推進に努める。

7. サービス指標（令和５年度）

人口は、令和６年３月31日現在

① 市民一人当たりの貸出点数　2.39 点

$$\frac{\text{個人貸し出し点数}}{\text{人　口}} = \frac{303{,}248\text{ 点}}{126{,}454\text{ 人}}$$

② 登録率　55.56%

$$\frac{\text{登録者数}}{\text{人　口}} = \frac{70{,}270\text{ 人}}{126{,}454\text{ 人}}$$

③ 蔵書回転率　0.82

$$\frac{\text{総貸出点数}}{\text{貸出できる蔵書数}} = \frac{315{,}220\text{ 点}}{382{,}560\text{ 冊}}$$

④ 市民１人当たりの蔵書冊数　3.34 冊

$$\frac{\text{蔵書数}}{\text{人　口}} = \frac{423{,}451\text{ 冊}}{126{,}454\text{ 人}}$$

⑤ 市民１人当たりの資料購入費　116 円

$$\frac{\text{資料購入費}}{\text{人　口}} = \frac{14{,}702{,}402\text{ 円}}{126{,}454\text{ 人}}$$

2　令和5年度 利用状況（貸出点数）

	中央	石川	勝連	小計	団体	合計
4月	17,707	4,650	4,449	26,806	763	27,569
5月	17,246	4,643	4,355	26,244	887	27,131
6月	17,022	4,839	4,657	26,518	1,219	27,737
7月	19,078	5,752	5,068	29,898	925	30,823
8月	17,173	5,520	4,438	27,131	873	28,004
9月	12,142	4,350	3,509	20,001	880	20,881
10月	16,971	5,095	4,405	26,471	1,114	27,585
11月	16,639	2,851	3,549	23,039	1,005	24,044
12月	15,464	4,703	3,465	23,632	987	24,619
1月	15,613	4,370	3,833	23,816	890	24,706
2月	15,941	4,483	3,433	23,857	949	24,806
3月	16,979	4,934	3,922	25,835	1,480	27,315
合計	197,975	56,190	49,083	303,248	11,972	315,220

■ 個人貸出点数

令和元年度　315,213 点
令和2年度　251,043 点
令和3年度　244,216 点
令和4年度　295,995 点
令和5年度　303,248 点

■ 新規登録者数

令和元年度　1,326 人
令和2年度　953 人
令和3年度　894 人
令和4年度　1,378 人
令和5年度　1,403 人

■ 登録率　55.56%（登録者数 ： 70,270人　人口 ： 126,454人）　令和６年３月末

3　蔵書数

区分	一般書	児童書	絵本	紙芝居	洋書	ＡＶ	雑誌	合計
中央図書館	173,726	30,883	21,762	1,021	2,026	7,522	19,922	256,862
石川図書館	71,436	15,729	10,025	698	170	2,835	5,632	106,525
勝連図書館	24,231	19,043	12,734	818	37	39	3,162	60,064
合計	269,393	65,655	44,521	2,537	2,233	10,396	28,716	423,451

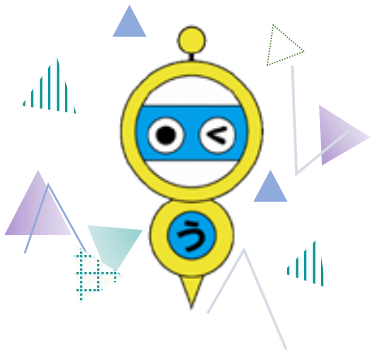
令和6年3月末

4　電子図書館

本事業は、市民の読書環境を整え、学びを支援すること、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」を遵守し、身体的に来館や読書が困難である方へのサービスを拡大すること、日中の来館が難しい非来館者サービスの充実を図ること、さらに、島嶼地域及び図書館遠隔地への図書館サービスの拡大・拡充することを目的とする。

電子図書館では文字拡大機能、音の出る絵本や読み上げ機能のある書籍に加え、令和４年度より雑誌閲覧サービスを開始し、サービスの充実を図っている。

電子図書館利用開始日	令和３年２月２日
利用資格	・うるま市内に在住する者又は通勤、通学する者 ・その他館長が特に必要と認める者
利用方法	電子書籍の利用はインターネットより行う。
貸出について	・貸出点数　３点以内 ・貸出期間　２週間以内
電子書籍の返納	貸出期間内の任意返却、又は 貸出期間が満了した場合は自動的に返却される。



電子図書館キャラクター
うるデジくん

1. 電子図書館利用状況（令和６年３月末日）

	ログイン回数	閲覧回数 （電子雑誌含む）	貸出回数
令和２年度	2, 548	3, 465	1, 766
令和３年度	10,340	15,647	7,786
令和４年度	10,184	17,734	9,177
令和５年度	10,391	25,344	15,269

①うるま市立電子図書館 TOP

②うるま市立電子図書館 WEB 申込みフォーム

①URL　https://web.d-library.jp/uruma/ g 0101/top

②URL　ttps://web.d-library.jp/uruma/ g 0108/infodetail/?ii d ＝10

5　令和６年度 事業計画表

	事　業　名		
	中央図書館	石川図書館	勝連図書館
通年	○おはなし会　（毎月第２土曜日） ○おはなしの部屋（毎月４土曜日） ○あかちゃんのためのおはなし会 （毎月第３木曜日） ○おすすめ本の展示	○Let's go としょかん （毎月第１土曜日） ○おはなしワールド （毎月第３土曜日） ○おすすめ本の特集展示	○おはなし会（毎週金曜日） ○おはなしパラダイス （毎月第２土曜日） ○おはなし宅急便 ○おすすめ本の展示
４月	こどもの読書週間行事（4/27）	こども読書週間行事 親子工作教室（4/27）	こども読書週間行事 クイズラリーウィーク（4/20～5/11）
５月	親子工作教室（5/26）		こども読書週間行事（5/11）
６月	慰霊の日特別行事（6/22） 「絵本から平和を伝える」 図書館見学（小学校）	慰霊の日特集展示 （6/1～6/27）	世界の絵本読み聞かせ会（6/8）
７月	図書館３館スタンプラリー （7/20～8/31） 図書館クイズラリーウィーク （7/20～8/3） 夏休み特別行事（7/27） 図書館見学（小学校） インターンシップ受入（高校）	図書館３館スタンプラリー （7/20～8/31） 夏休み親子工作教室 (7/27)	図書館３館スタンプラリー （7/20～8/31） 夏休み親子教室（7/27） インターンシップ受入（中学）
８月	夏休み特別行事（8/14）	石川図書館・資料館ぐすくクイズラリーウィーク（8/1～31）	夏休み親子教室（3日･10日24日）
９月	蔵書点検（9/5～9/15）	蔵書点検（9/18～9/27）	蔵書点検（9/18～9/25）
10月	読書週間行事 親子工作教室	読書週間行事	読書週間行事　（10/28） インターンシップ受入（中学）
11月	読書週間行事 インターンシップ受入（中学）	読書週間行事	大人の工作教室　（10/31）
12月	親子工作教室 クリスマスおはなし会（12/21） インターンシップ受入（高校）	クリスマスおはなし会 親子工作教室（12/21）	読書週間行事
１月	図書館講座 生涯学習フェスティバル（資料展示） インターンシップ受入（中学）	本の「福袋」 大人の工作教室	本の「福袋」
２月	教育月間行事 親子工作教室 インターンシップ受入（中学）	教育月間行事	教育月間 親子工作教室（2/8）
３月			
備考	○図書館だより発行(毎月)　○逐次刊行物・うるま市関係資料収集　○資料補充選定・購入		

第７章　文化・芸術

第１節　市民文化活動の推進
第２節　文化施設・設備の有効利用

第１節　市民文化活動の推進

地域文化の振興

文化活動は、市民がそれを通して個性を伸ばし、創造性を培い、自己の向上を図ろうとする自発的営みである。これらの活動は日常生活に根ざしたものであり、地域文化と深い関連がある。

豊かな市民文化活動の推進及び伝統文化及び芸能の保存・継承のため、各種展示会や文化祭等を開催し、市民が質の高い多様な美術・工芸等に触れて楽しむことができる機会を提供するとともに、文化活動への積極的な市民参加を奨励する。また、うるま市文化協会等の市民文化団体の活動を支援し、地域文化の振興に努める。

地域文化の振興

- (1)美術･工芸等 各種文化展示会の推進
  - ①第 46回沖展選抜展
  - ②各種児童生徒作品展
- (2)伝統文化および芸能の保存･継承の推進
  - ①わくわく文化体験教室
  - ②しまくとぅば語やびら大会
- (3)文化団体と連携した市民文化活動の推進
  - ①市民総合文化祭
  - ②新春芸術祭･ふるさと芸能デー
  - ③子ども文化祭
  - ④各種自主企画事業

自主企画事業　わくわく♪うるま市文化体験教室

第２節　文化施設・設備の有効利用

芸術振興の概要

うるま市民芸術劇場は、旧具志川市の市制 25 周年記念事業として平成 6 年に建設されました。

劇場にはクラシック音楽の公演を主目的に演劇や各種のコンサートにも対応できる設備と機能を備えた「響ホール」（821 席）と小規模ながら音響、照明、舞台機構が充実した「燈ホール」（357 席）があります。また、この 2 つの舞台のアクティブエリアに対応する広さを備えた「リハーサル室」は舞台関係者の日常の稽古場として活動され、芸術活動を側面から支えています。

うるま市石川会館は、戦後の政治・経済・教育・文化の発祥地として知られる石川地域で、これまで古典音楽や民謡、琉舞等の愛好家が多く、発表会や文化活動の拠点づくりとして建設され、平成元年 4 月にこけら落としが行われています。地上 3 階建て客席数 973 席の大ホール、1 階に楽屋（兼和室会議室）、2 階には主催者控え室やリハーサル室が配置され、地域住民の芸術文化活動の拠点として活用されています。

うるま市きむたかホールは、平成 13 年 5 月にオープンし、シビックセンター（社会教育施設）、交流広場（交流機能）、きむたかホール（文化施設）の 3 施設の複合施設（きむたか交流プラザ）として建設されました。同ホールは地域住民の活動や青少年育成等の拠点作りを目的とし、地上 2 階、地下 2 階、客席数 516 席（可動席 200 席）、リハーサル室、ラウンジ、ギャラリーがあり、舞台機構が 6 パターンに展開できる機能を有し、地域住民の芸術文化活動や人材育成の拠点づくりとして活用されています。

1. うるま市民芸術劇場

① 施設概要

名　　称　うるま市民芸術劇場
所 在 地　うるま市字仲嶺 175 番地
工　　期　平成 5 年 3 月～平成 6 年 9 月
敷地面積　27,405.50 ㎡
建築面積　5,016 ㎡
延床面積　6,551 ㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造、
　　地下 1 階　地上 2 階
事業総額　約 59 億 7 千万円
駐車台数　約 375 台

Uruma Citizen Art Theater

② 劇場概要

	響ホール＊音楽主体	燈ホール＊演劇主体
客　席	固定席 821 席 車いす席 3 席 親子席 6 席	固定席 357 席 車いす席 2 席
舞　台	間口 18m 奥行 13.2m 高さ 10.5m	間口 12.6m 奥行 9.7m 高さ 6.3m
楽　屋	4 室 大楽屋 1 室、中楽屋 2 室、小楽屋 1 室	4 室 大楽屋 1 室、中楽屋 2 室、小楽屋 1 室
リハーサル室	154 ㎡	

2. うるま市石川会館

Uruma Ishikawa Hall

①施設概要

名　　称　うるま市石川会館
所 在 地　うるま市石川石崎一丁目 1 番
工　　期　昭和 62 年 10 月～平成元年 1 月
敷地面積　19,086 ㎡
建築面積　2,352 ㎡
延床面積　3,858 ㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造(屋根部分鉄骨)
　　地下 3 階
事業総額　13 億 2671 万 1 千円
駐車台数　約 250 台(石川庁舎と共同)

②施設概要

	うるま市石川会館
客　席	固定席 973 席(内、車いす席 3 席)
舞　台	間口 16m、奥行 15m スノコまでの高さ 20m
楽　屋	①主催者控え室　②和室会議室 ③会議室
舞台構造	反響版
リハーサル室	90 ㎡

3. うるま市きむたかホール

Uruma Kimutaka Hall

① 施設概要

名　　称　うるま市きむたかホール
所 在 地　うるま市勝連平安名 3071 番地
工　　期　平成 11 年 6 月～平成 13 年 3 月
敷地面積　13,685 ㎡　きむたか交流プラザ
　　(シビックセンター、交流広場、
　　きむたかホールの合計)
延床面積　5,603 ㎡
構　　造　RC 造一部 S 造　地上 2 階
　　地下 2 階　塔屋 1 階
事業総額　約 19 億 9161 万円 5 千円
駐車台数　約 162 台（大型 3 台、普通車 159 台）

②施設概要

	うるま市きむたかホール
客　席	固定席 293 席、可動席 200 席、 身障者席 5 席、親子席 8 席
舞　台	間口 15m　奥行 12m　高さ 7.1m ＊客席機構　パターン 1～パターン 6
楽　屋	楽屋 1　楽屋 2　楽屋 3
その他	リハーサル室　ラウンジ 体験交流室 1　体験交流室 2 体験交流室 3

4. 利用の申し込み等

（1）申込受付期間

＊市民芸術劇場は使用期間の 6 カ月前(舞台芸術活動)及び 4 カ月前(その他)の同月 1 日から。

＊石川会館、きむたかホールは使用期日の 6 カ月前の同月 1 日から。

（2）受付時間と受付方法

＊午前 9 時から午後 5 時 15 分まで（月曜日から金曜日まで）

＊申請は直接ご来館ください。

（3）使用料の納付

＊施設使用料は使用前、設備使用料は使用後、指定期日までに銀行などで納付してください。

＊指定期日までに納付されない場合は、申し込みが無効になりますのでお気をつけください。

＊納入済みの使用料は原則としてお返しできません。

（4）使用時間

＊使用時間は午前 9 時から午後 10 時までです。

なお、この時間には催し物の準備や後片付け等に要する全ての時間が含まれます。

（5）変更・取り消し

＊使用日・使用施設等の変更や取り消しが生じた場合は、速やかに各施設へ届け出てください。

（6）休館日

＊月曜日と火曜日（市民芸術劇場）、火曜日（石川会館、きむたかホール）

＊年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

令和６年度 市民芸術劇場等運営方針

運営の重点事項

1 地域文化の創造と市民参加

2 芸能文化団体の活動促進

3 感性豊かな子ども達の育成

4 自主企画事業の実施

5 芸術ホールとしての利用促進

6 地域文化の伝承

1. うるま市民芸術劇場

うるま市民芸術劇場は、響、燈の二つの専門ホールとリハーサル室を兼ね備えた、本格的な芸術ホールである。両ホールは平成 24 年度から 26 年度にかけて、劇場設備の機能強化事業を実施し、専門ホールとしての特性を強化している。
また、隣接する生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」との連携を図り、さらなる文化振興に取り組む。

うるま市文化協会と連携した地域文化活動の支援を実施するとともに、優れた舞台公演の招聘と舞台芸術の創造、鑑賞の場を提供することで、市民がより質の高い芸術に触れる機会を増やす。

2. うるま市石川会館

うるま市石川会館は、戦後沖縄の政治・経済・文化の発祥の地として知られている石川地域において地域住民の文化活動の拠点として平成元年に建設され、広く活用されてきている。

これまでの歴史的、伝統的に培われた地域文化活動の推進を図るとともに、コンサートやライブの開催などへの積極的な活用を促し、市民が音楽へ触れる機会を提供する。

3. うるま市きむたかホール

平成 13 年 5 月の開館以来「現代版組踊 肝高の阿麻和利」、学校、保育所関連の催し物を中心にホールが活用されている。

市内の中高生で演じられる「現代版組踊 肝高の阿麻和利」は、中高生の健全育成の場として注目を集めているが、うるま市の新たな観光資源へと発展させ、さらなる活用を図るべく、その情報発信拠点としてのホール活用を目指し、また、与勝地域の伝統芸能が地域の芸能文化活動の拠点とするほか、地域交流の場としても提供する。

首里城焼失に伴う県内観光振興のため、きむかたホールの音響・照明等の機能強化事業を実施した。

令和６年度 自主企画公演計画及び共催事業（予定）

	事業名	分野	開催月日・会場	内容
1	第 46 回沖展選抜展	芸能 共催	4 月 12 日(金) ～ 17 日(水) ゆらてく	沖縄県内最大の美術・工芸公募展「沖展」から選抜した作品の展示会
2	わくわく うるま市文化体験教室	文化 共催	6 月 15 日(土) ～ 16 日(日) 市民芸術劇場・燈	市の自動生徒参加による文化体験教室
3	子ども文化祭	芸能 共催	8 月 25 日(日) 市民芸術劇場・響	市の児童生徒参加による舞台発表
4	海から豚がやってきた記念日「TKY550Pigs」		9 月 29 日（日） 市民芸術劇場・響	落語公演及びパネル展示
5	市民総合文化祭 舞台の部	芸能 共催	10 月 20 日(日) 市民芸術劇場・響	市民参加による各種舞台公演
6	市民総合文化祭 展示の部	芸術 共催	11 月 23 日(土) ～24 日(日) ゆらてく	市民参加による作品展示会
7	新春芸能祭	芸能 共催	2 月 15 日（日） 市民芸術劇場・響	新年を祝う市民参加による舞台公演
8	沖縄教育版画コンクール 特選作品展	芸術 共催	1 月 27 日(土) ～ 28 日(日) ゆらてく	「第 62 回沖縄教育版画コンクール」特選作品展示会
8	ふるさと芸能デー	芸能 共催	11 月～12 月	市内自治体等による伝統芸能や演劇公演

第８章　文化財

第１節　文化財の保存と活用
第２節　保存・活用の方針
第３節　資料館
第４節　市史編さん

第１節　文化財の保存と活用

1　文化財の現状と取り組み

私たちの住むうるま市は天願断層を境に本島北部と中南部の自然的な特徴があり、本島中南部最長の海岸線と干潟をもっています。その環境での暮らしは山と川と湿地、そして海とともに生業を営むことによって様々な祭りや芸能などを育んできました。少なくとも今からおよそ 9,000 年前には人々が土器などを使い生活していたことが分かっており、その後も狩猟採集や農耕、交易などを通して生活を豊かにしてきました。今日の私たちの暮らしは、そうした先人から受け継いだ貴重な歴史文化遺産を基盤として成り立っています。

市の代表的な文化財は、世界遺産勝連城跡をはじめとして国指定文化財４件、国登録文化財 1 件、県指定文化財７件、県選択文化財１件、市指定文化財が 46 件あります。その多様な文化財を俯瞰し、総合的・一時的に保存・活用することは地域の特徴を活かした地域振興に貢献するとともに、確実な文化財の継承につながります。これからの施策には住民・企業・民間団体・文化財課・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、市内の貴重な文化財の存続につなげていくことが期待されます。その文化財の継承に努めるため、以下の施策に取り組みます。

1. 自然遺産・歴史文化遺産の活用（地域活性化）

本市の歴史文化遺産を保存し、その整備を進め、市民の歴史と文化の学習に寄与することで、郷土に愛着と誇りを育んでいきます。また、自然遺産・歴史文化遺産を活用することにより、地域の活性化に結びつけ、そして経済へ波及させるべく促進します。

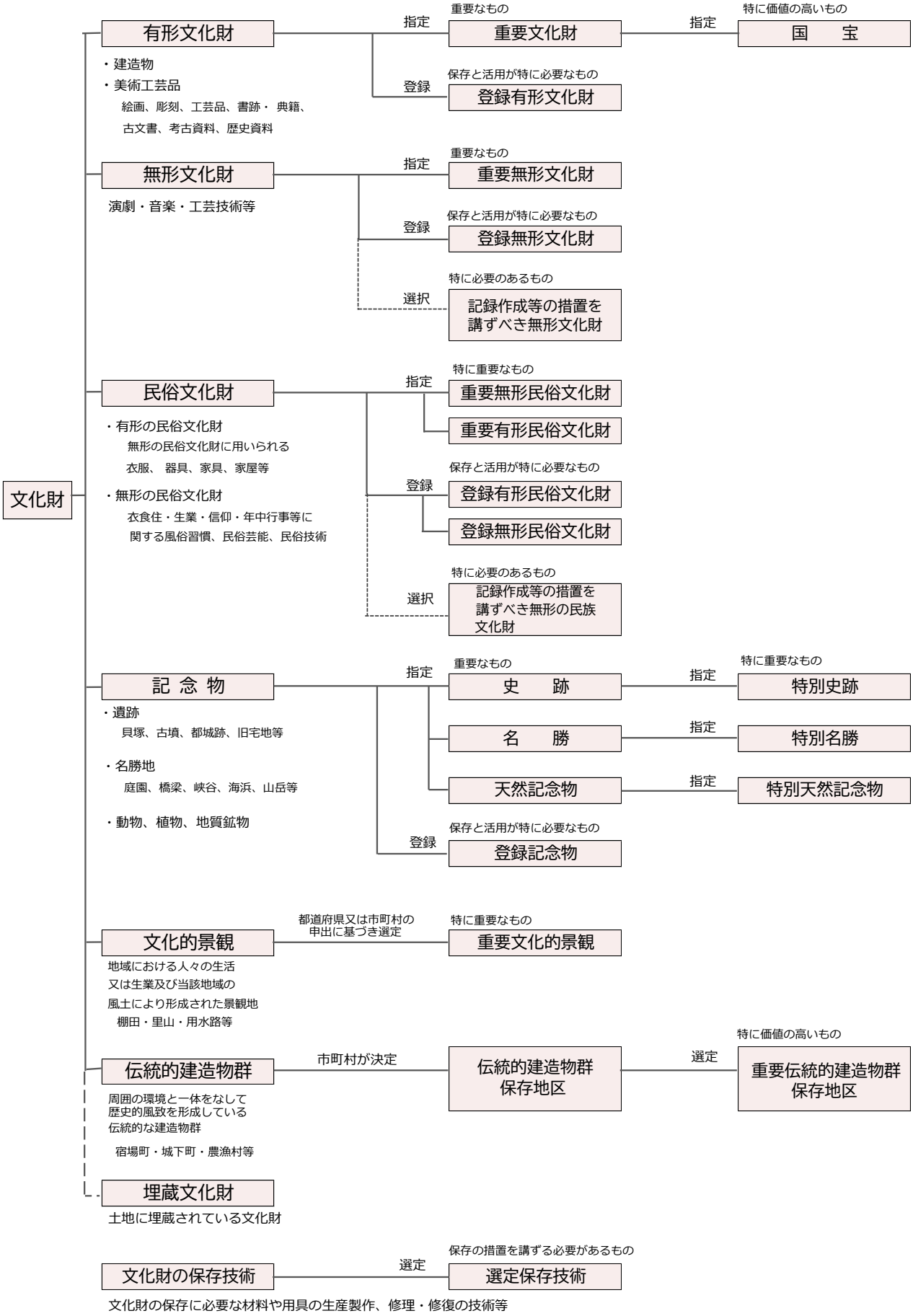
2. 世界文化遺産「勝連城跡」の保全と復元整備ならびに生涯学習・学校教育の環境整備

世界文化遺産の勝連城跡については、歴史的環境の保全を図ります。また、城壁や城門などの復元整備を進めるとともに、あまわりパーク等を活用しながら、歴史学習のできる環境の整備を進めます。さらに、各種市民講座の開催や学校教育における歴史学習の推進を図るとともに、観光振興や地域活性化など、様々な場面で積極的な活用を進めていきます。

3. 自然遺産・歴史文化遺産の調査と新たな文化財の指定・未指定文化財の整理

市内各地に残るさまざまな自然遺産ならびに歴史文化遺産の保存およびその調査を継続的に進め、市民協働による登録とその保存環境を整えます。それらの成果をもとに新たな文化財の指定を追加し、未指定文化財も整理することで、本市の魅力づくりを図ります。

2　文化財の体系図


文化財
有形文化財
・建造物
・美術工芸品
絵画、彫刻、工芸品、書跡・ 典籍、
古文書、考古資料、歴史資料
指定
重要なもの
重要文化財
指定
特に価値の高いもの
国　宝
登録
保存と活用が特に必要なもの
登録有形文化財
無形文化財
演劇・音楽・工芸技術等
指定
重要なもの
重要無形文化財
登録
保存と活用が特に必要なもの
登録無形文化財
選択
特に必要のあるもの
記録作成等の措置を
講ずべき無形文化財
民俗文化財
・有形の民俗文化財
無形の民俗文化財に用いられる
衣服、 器具、家具、家屋等
・無形の民俗文化財
衣食住・生業・信仰・年中行事等に
関する風俗習慣、民俗芸能、民俗技術
指定
特に重要なもの
重要無形民俗文化財
重要有形民俗文化財
登録
保存と活用が特に必要なもの
登録有形民俗文化財
登録無形民俗文化財
選択
特に必要のあるもの
記録作成等の措置を
講ずべき無形の民族
文化財
記 念 物
・遺跡
貝塚、古墳、都城跡、旧宅地等
・名勝地
庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等
・動物、植物、地質鉱物
指定
重要なもの
史　跡
指定
特に重要なもの
特別史跡
名　勝
指定
特別名勝
天然記念物
指定
特別天然記念物
登録
保存と活用が特に必要なもの
登録記念物
文化的景観
地域における人々の生活
又は生業及び当該地域の
風土により形成された景観地
棚田・里山・用水路等
都道府県又は市町村の
申出に基づき選定
特に重要なもの
重要文化的景観
伝統的建造物群
周囲の環境と一体をなして
歴史的風致を形成している
伝統的な建造物群
宿場町・城下町・農漁村等
市町村が決定
伝統的建造物群
保存地区
選定
特に価値の高いもの
重要伝統的建造物群
保存地区
埋蔵文化財
土地に埋蔵されている文化財
文化財の保存技術
文化財の保存に必要な材料や用具の生産製作、修理・修復の技術等
選定
保存の措置を講ずる必要があるもの
選定保存技術

3　指定文化財一覧

国指定文化財

	種　別	名　称	指定月日	備　考
1	史　跡	伊　波　貝　塚	昭和47年5月15日	
2	〃	安　慶　名　城　跡	〃	
3	〃	勝　連　城　跡	〃	
4	〃	仲　原　遺　跡	昭和61年8月16日	

国登録文化財

	種　別	名　称	指定月日	備　考
1	史　跡	平敷屋製糖工場跡	平成27年1月26日	

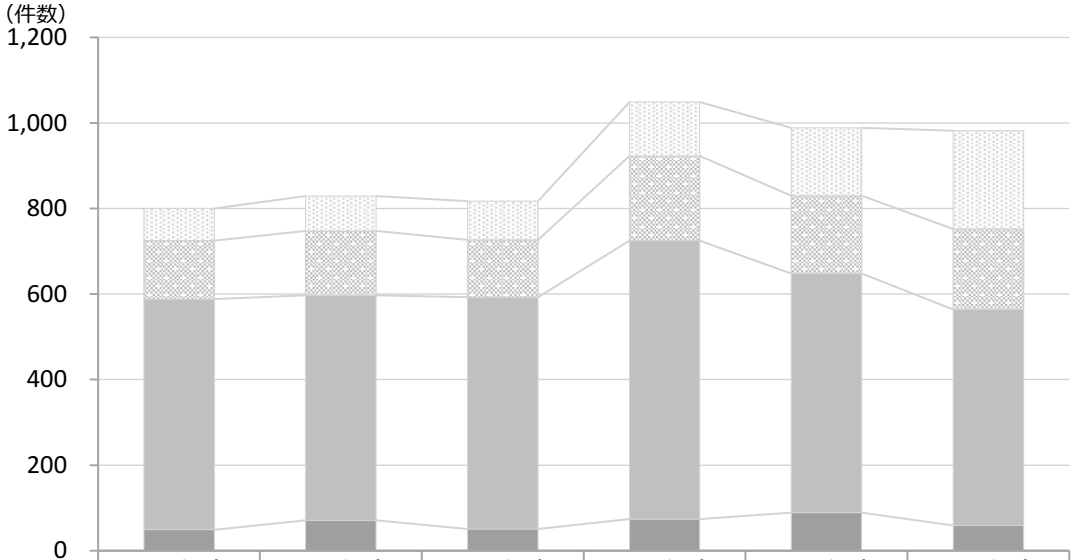
県指定文化財

	種　別	名　称	指定月日	備　考
1	有形文化財	三　線　翁　長　開　鐘	昭和30年5月23日	
2	〃	三　線　久　場　春　殿　型	昭和33年8月15日	
3	〃	三　線　真　壁　型	平成6年3月15日	
4	〃	勝連間切南風原村文書	昭和52年7月11日	
5	史　跡	平　安　名　貝　塚	昭和31年10月19日	
6	〃	伊　波　城　跡	昭和36年6月15日	
7	天然記念物	チ　ャ　ー　ン	平成3年1月16日	
8	選択文化財	津　堅　島　の　唐　踊　り	昭和53年3月24日	

市指定文化財

	種　別	名　称	指定月日	備　考
1	有形民俗文化財	東恩納平良家葬祭具	昭和56年10月15日	石川市第1号
2	〃	伊波金細工鍛冶道具	〃	〃　2号
3	建造物	嘉　手　苅　観　音　堂	昭和59年6月12日	〃　3号
4	有形民俗文化財	伊波メンサー織道具一式	昭和63年11月15日	〃　4号
5	無形民俗文化財	伊　波　メ　ン　サ　ー　織	昭和63年11月15日	〃　4号
6	史　跡	平　敷　屋　タ　キ　ノ　ー	平成2年3月26日	勝連町第1号
7	有形民俗文化財	南　風　原　の　村　獅　子	〃	〃　2号
8	〃	伊　波　ヌ　ー　ル　墓	平成6年3月4日	石川市第5号
9	工芸品	三線真壁型（大型）	〃	〃　6号
10	〃	三線平仲知念型（大型）	〃	〃　7号
11	〃	三線鴨口与那型（中型）	〃	〃　8号
12	有形民俗文化財	地　頭　代　火　の　神	平成6年3月31日	勝連町第4号
13	史　跡	ア　マ　ミ　チ　ュ　ー　の　墓	〃	〃　5号
14	有形民俗文化財	シ　ル　ミ　チ　ュ　ー	〃	〃　6号
15	建造物	ヤ　ン　ガ　ー	平成7年6月14日	与那城町第2号
16	名　勝	犬名河（インナガー）	〃	〃　3号
17	建造物	ガ　ー　ラ　砿	〃	〃　4号
18	有形民俗文化財	宮城御殿（ナーグスクウドゥン）	〃	〃　5号
19	〃	与佐次川（ユサチガー）	〃	〃　6号
20	史　跡	平　安　座　西　グ　ス　ク	〃	〃　7号
21	天然記念物（植物）	クボウグスクの植物群落	平成9年4月23日	勝連町第7号
22	有形民俗文化財	中　の　御　嶽	〃	〃　8号
23	史　跡	ヤ　マ　ト　ゥ　ン　チ　ュ　ウ　墓	〃	〃　9号
24	〃	ワ　イ　ト　ゥ　イ	〃	〃　10号
25	無形民俗文化財	南　風　原　の　獅　子　舞	平成11年3月10日	〃　11号
26	〃	平安名のウムイ・クェーナ	〃	〃　12号
27	〃	平　敷　屋　エ　イ　サ　ー	〃	〃　13号
28	〃	天　願　獅　子　舞	平成11年7月15日	具志川市第1号
29	〃	田　場　テ　ィ　ン　ベ　ー	〃	〃　2号
30	建造物	吉　本　家	平成12年11月7日	勝連町第14号
31	史跡（戦争遺跡）	新川・クボウグスク周辺の陣地壕群	平成16年3月3日	〃　15号
32	史　跡	兼箇段ジョーミーチャー墓	平成17年2月16日	具志川市第3号
33	〃	田　場　ガ　ー	〃	〃　4号
34	〃	大　田　坂	〃	〃　5号
35	〃	沖　縄　諮　詢　会　堂　跡	平成17年3月1日	石川市第9号
36	〃	東　恩　納　博　物　館　跡	〃	〃　10号
37	〃	石　川　部　落　事　務　所	〃	〃　11号
38	無形民俗文化財	越来治喜（マーラン船の建造技術）	平成17年3月4日	与那城町第8号
39	無形民俗文化財	宮　城　ウ　シ　デ　ー　ク	〃	〃　9号
40	史　跡	藪　地　洞　穴　遺　跡	平成29年3月17日	うるま市第39号
41	無形民俗文化財	う　る　ま　市　の　闘　牛	平成30年7月13日	〃　40号
42	史　跡	宮城島のヒータチ（火立て）跡	平成30年7月13日	〃　41号
43	無形民俗文化財	平安座のサングゥチャー	令和2年4月13日	〃　42号
44	有形民俗文化財	上　江　洲　の　ウ　フ　ガ　ー	令和2年4月13日	〃　43号
45	史　跡	具　志　川　グ　ス　ク	令和5年8月9日	〃　44号
46	史跡（戦争遺跡）	具　志　川　グ　ス　ク　の　壕	令和5年8月9日	〃　45号

4　埋蔵文化財包蔵地等確認依頼統計表



	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
物件調査	75	81	90	126	159	230
売買計画	137	151	134	198	182	188
建築計画	539	526	542	651	559	505
その他	49	71	51	74	89	59
計	800	829	817	1,049	989	982

令和6年4月1日現在

埋蔵文化財包蔵地等確認

第２節　保存・活用の方針

1.　自然、歴史文化を知る・学ぶ

○ 自然遺産と歴史文化遺産の把握調査等の実施
○ 指定文化財等の保存推進
○ 指定文化財の修理
○ 文化財講座の開催
○ 学校教育・生涯学習等への普及啓発

2. 自然、歴史文化を守る・継承する

○ 案内板・解説版・標柱の設置や文化財リーフレットの作成等による周知活動
○ 無形民俗文化財等の継承団体による発表の場の支援
○ 伊波メンサー織保存会、うるま市文化財ガイドの会等の育成
○ 資料の収集・保管、文化財防火デーの開催

3. 自然、歴史文化をまちづくりへ活用する

○ 自然遺産および歴史文化遺産を重点テーマとした企画展等の開催
○ 自然遺産および歴史文化遺産の魅力を市内外へ情報発信
○ 保存・活用に関する一体的な取組を推進するため自治会、関係団体、専門家、庁内部局との連携・協力体制づくり

「伊波メンサー織」

４．勝連城跡の入城者数

単位(人)

年	暦年 （1月～12月）	年度 （4月～3月）	県内	県外	外国人	備　考
2000年（平成12年）	36,000	40,500				県内外（外国人含む）
2001年（平成13年）	54,000	54,000				〃
2002年（平成14年）	54,000	54,000				〃
2003年（平成15年）	54,000	54,000				〃
2004年（平成16年）	54,000	54,000				〃
2005年（平成17年）	54,000	54,000				〃
2006年（平成18年）	83,957	99,075	35,276	58,799		県外に外国人含む
2007年（平成19年）	85,210	82,445	23,426	59,019		〃
2008年（平成20年）	94,061	96,089	23,688	72,401		〃
2009年（平成21年）	101,242	101,090	27,493	73,597		〃
2010年（平成22年）	102,919	99,484	26,114	73,370		〃
2011年（平成23年）	90,827	104,091	21,264	82,827		〃
2012年（平成24年）	132,858	144,988	24,994	119,994		〃
2013年（平成25年）	169,890	175,211	37,104	138,107		〃
2014年（平成26年）	163,840	156,052	30,393	125,659		〃
2015年（平成27年）	158,790	148,020	27,743	120,277		〃
2016年（平成28年）	161,685	171,878	26,389	126,731	18,758	
2017年（平成29年）	174,421	172,566	23,686	113,479	35,401	
2018年（平成30年）	184,646	183,881	24,798	111,630	47,453	200万人達成（1月9日）
2019年（平成31年）	166,954	162,942	21,868	102,820	38,254	令和元年
2020年（令和2年）	87,121	64,471	20,786	38,600	5,085	
2021年（令和3年）	66,483	59,238	26,396	30,163	2,679	
2022年（令和4年）	68,708	86,525	15,741	64,243	6,541	
2023年（令和5年）	105,056	108,839	21,994	74,014	12,831	
合　計	2,504,668	2,527,385	459,153	1,585,730	167,002	

＊世界遺産登録前（2000年）は、1日100人×30日×12ヶ月で計算しています。

＊2000年の４～12月は、3,000人×９ヶ月＝27,000人。その年度の１～３月は、4,500人×３カ月＝13,500人。

＊世界遺産登録後から平成１８年までは、１日１５０人×３０日×１２ヶ月で計算しています。

＊平成18年5月より実数を集計している。

第３節　資料館

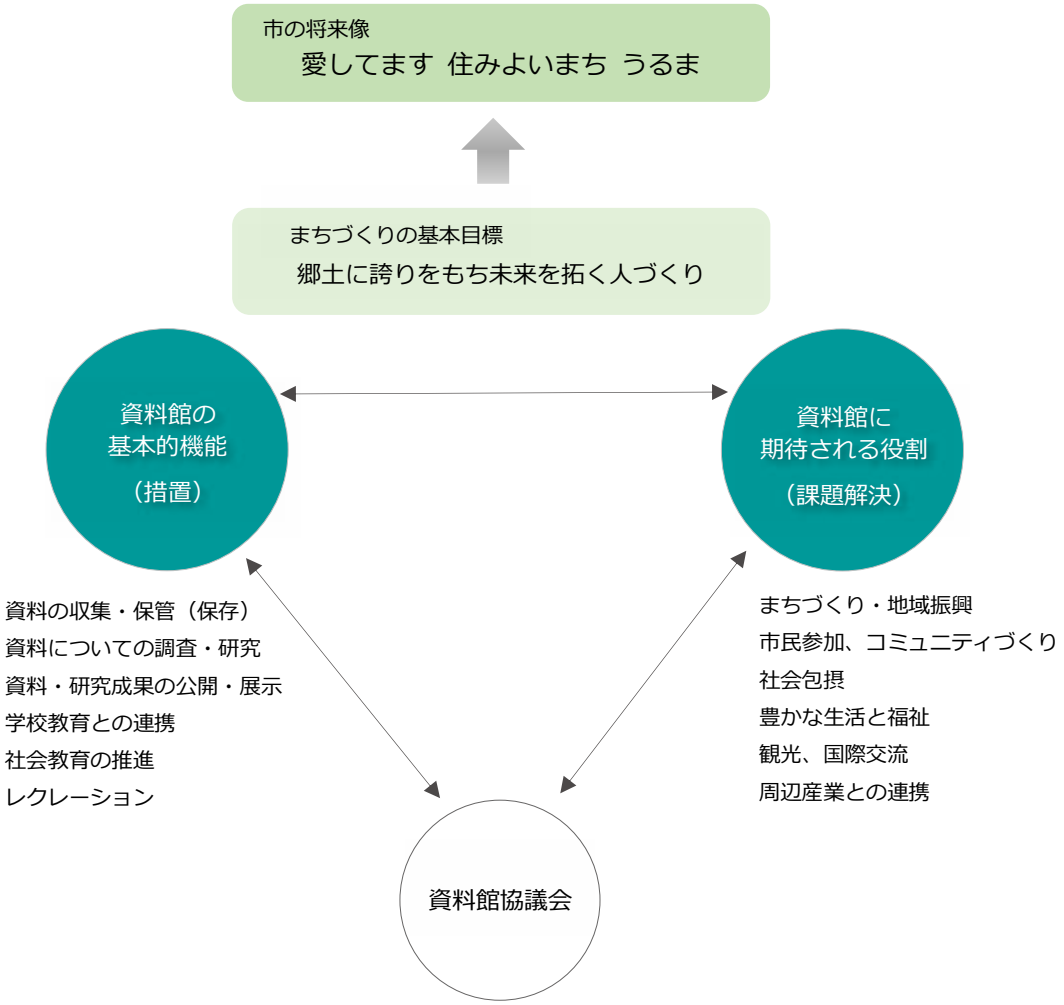
1　資料館の機能と社会構造

1.　目的

社会教育法及び文化芸術基本法の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する（博物館法第１条）。

2.　設置

文化財および市とその周辺地域にまつわる歴史民俗に関する資料を収集、研究、保存、展示し、市民の知識および教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する（うるま市立資料館条例第１条）。



2　うるま市立資料館

1．石川歴史民俗資料館

所 在 地	石川曙二丁目１番 55 号（石川図書館複合） TEL:098-965-3866
開　　館	1982（昭和 57）年４月１日 旧館 1992（平成４ ）年７月 22 日 新館
竣　　工	1992（平成４）年１月 30 日
面　　積	2 階 1,094.485 ㎡ 展示室･事務室･収蔵庫等 3 階 162.164 ㎡ 収蔵庫･変電室等
駐 車 場	地下駐車場 20 台（無料）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時（最終入館午後 4 時 30 分）
入 館 料	無料
休 館 日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12 月 29 日 ～ 1 月 3 日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

Google Maps

Instagram

展示テーマ

○ 平和資料展「戦後にふれる」

○ たくされた記憶　つなげる歴史

—石川歴史民俗資料館会館 40 周年記念展—

平和資料展の様子①

展示内容

○ 戦後の衣食住に焦点を当て、実際に生活道具に触れる

○ 開館 40 周年を迎えた当館の活動内容を展示する

平和資料展の様子②

開館 40 周年記念展の様子

2. 与那城歴史民俗資料館

所 在 地	与那城中央 1 番地（与那城出張所複合） TEL:098-978-3149
開　　館	1995（平成 7）年 3 月 31 日
竣　　工	1994（平成 6）年 2 月 21 日
面　　積	1 階 447.8 ㎡ 展示室・市民課窓口等 2 階 372.2 ㎡ 資料室・講堂等
駐 車 場	15 台（無料）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時（最終入館午後 4 時 30 分）
入 館 料	無料
休 館 日	土・日・祝日（慰霊の日を含む） 年末年始（12 月 29 日 ～ 1 月 3 日）

Google Maps　　Instagram

展示テーマ

○ うるまの発掘速報展

○ 東南アジアの洞窟遺跡

「うるまの発掘速報展」展示の様子

展示内容

○ 文化財課が近年行った発掘調査に関する展示

○ 日本・東南アジアの洞窟遺跡に関する展示

「うるまの発掘速報展」見学の様子

「東南アジアの洞窟遺跡」動画放映の様子

「東南アジアの洞窟遺跡」展示の様子

3．海の文化資料館

Google Maps

Blog

所 在 地	与那城屋平４番地（海の駅あやはし館複合） TEL:098-978-8831
開　　館	2003（平成 15）年４月 27 日
竣　　工	2002（平成１４）年 12 月 20 日
面　　積	２階 833.82 ㎡ 展示場･広域交流会議室等 １階 1,140.86 ㎡ 特産販売所等
駐 車 場	300 台（無料）
開館時間	午前９時～午後５時 （最終入館午後４時 30 分）
入 館 料	無料
休 館 日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12 月 29 日 ～ １月３日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

館の任務

○ 海とくらしとともに生きる資料館

○ まちに活き、市民とつくる、参画交流型の資料館

○ 地域の民間伝承を未来につなげ、社会に開く資料館

○ 子どもたちとともに、成長する資料館

企画展「マヤー～人と猫～」展示の様子

展示テーマ

○ 企画展「マヤー～人と猫～」

○ 博物館学芸員実習展「魔よけってなぁーに？」

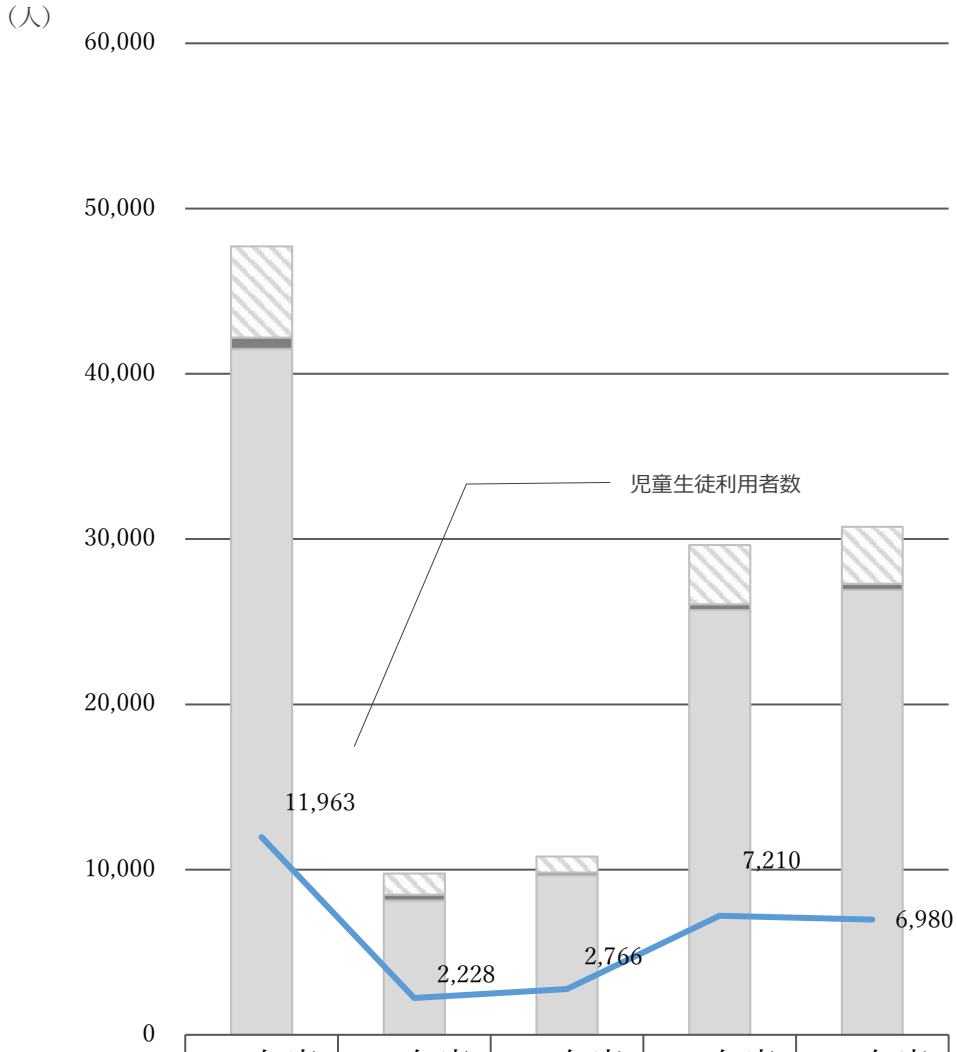
展示内容

○ 勝連城跡で土出した猫の骨など実物資料を展示し、地域の子供たちの学習活動を支援する

○ 地域に残る魔よけ（シーサーやサン）年中行事を展示

「魔よけってなぁーに？」展示の様子

3　入館者の動向



	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
石川歴史民俗資料館	5,523	1,278	974	3,572	3,452
与那城歴史民俗資料館	664	351	173	348	364
海の文化資料館	41,522	8,134	9,646	25,713	26,931
計	47,709	9,763	10,793	29,633	30,747

児童生徒利用者数の内訳

資料館	R１年度	R２年度	R３年度	R４年度	R5 年度
石川歴史民俗資料館	2,794	356	312	1,609	1,585
与那城歴史民俗資料館	279	17	54	80	117
海の文化資料館	8,890	1,855	2,400	5,521	5,278
計	11,963	2,228	2,766	7,210	6,980

第４節　市史編さん

1　うるま市具志川市史編さん概要

1. 目的

先史時代から現代にいたるまでの歴史という壮大なドラマの中で、旧具志川市がどのように動き、どう変遷してきたのか、それぞれの時代を生きた人びとが、どのようにかかわってきたのかを、総合的に叙述することを目的とする。

2. 基本方針

① 徹底的な史資料調査のもとに、科学的で実証的な編集を志向し、現在の地域史研究の水準を踏まえた学問的遺産として、後世に残せる価値あるものとする。

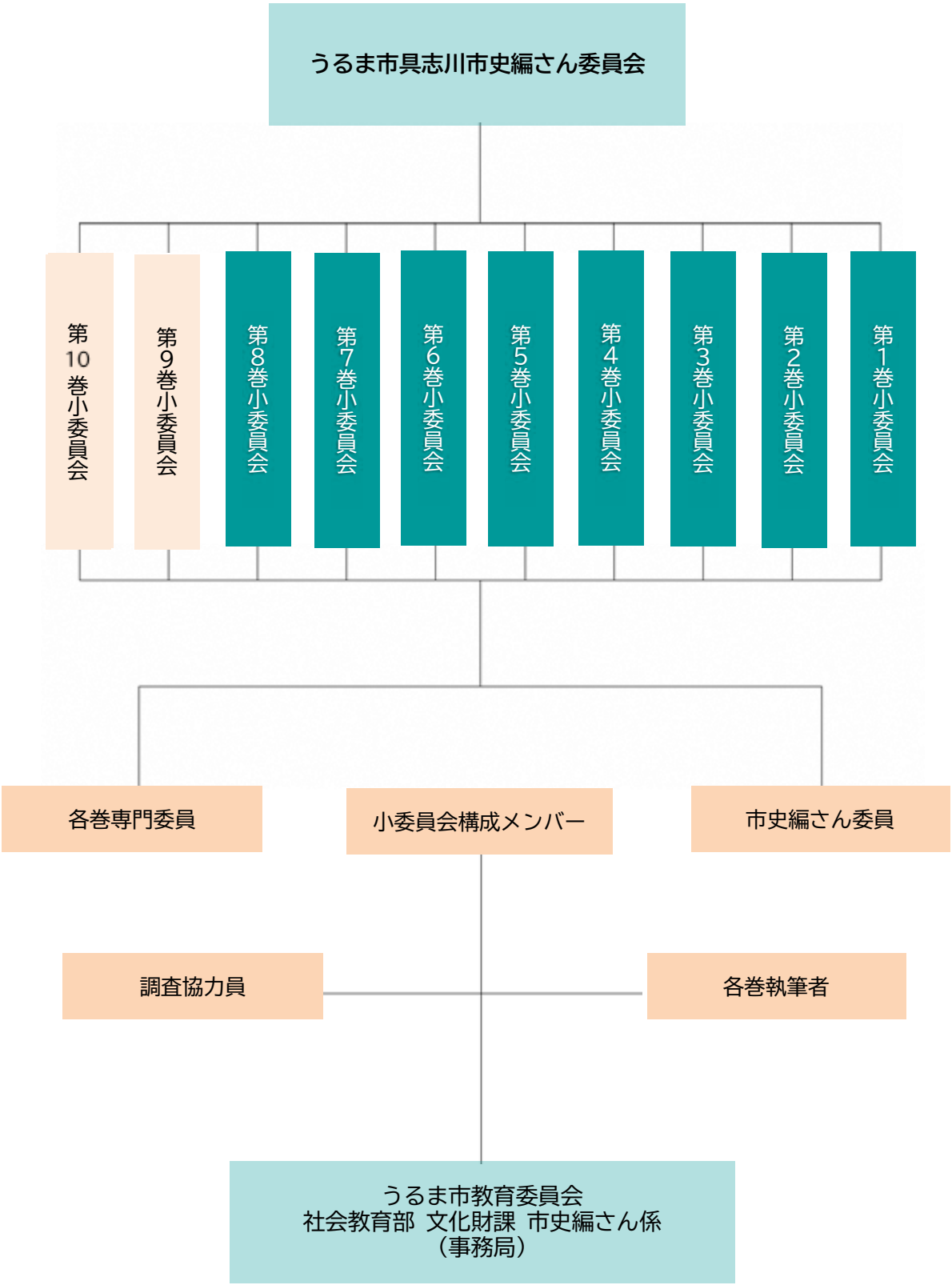
② 市民の郷土意識を啓発するとともに、文化的発展に寄与することを目標とし、市民の多面的な参加を得て史資料収集を行い、真に市民による市民のための親しみやすい地域史づくりを基本とする。

3. 巻別構成内容及び刊行年

令和６年４月現在

本　　編			別　巻
巻 数	編　構　成	発行年	
第1巻	新聞集成<明治編>	平成３年	学校教材
第2巻	新聞集成<大正･昭和戦前編>	平成５年	①『ふるさとの伝え話』
第3巻	民話編　上<伝説>	平成９年	（平成６年）
	民話編　下<昔話>	平成12年	② 紙芝居（平成10年）
第4巻	移民･出稼ぎ<論考編><資料編><証言編>	平成14年	『田場大工』
第5巻	戦争編<戦時記録><戦時体験Ⅰ・Ⅱ>	平成17年	『バキムン退治』
第6巻	教育編	平成18年	
第7巻	新聞集成<昭和戦後編>	平成20年	
第8巻	民俗編	平成23年	
第9巻	文献・統計編		
第10巻	通史編		

4. うるま市具志川市史編さん委員会組織図



具志川

①具志川市史

No.	書　籍　名	発行年
1	具志川市誌	昭和45年
2	具志川市史　第一巻　新聞集成　明治編	平成 3年
3	具志川市史　第二巻　新聞集成　大正・昭和戦前編	平成 5年
4	具志川市史　第三巻　民話編　上 伝説	平成 9年
5	具志川市史　第三巻　民話編　下　昔話	平成12年
6	具志川市史　第四巻　移民・出稼ぎ編 （論考編・証言編・資料編）3冊セット ※付録　具志川市史編集資料13　写真集　南洋群島の製糖とくらし	平成14年
7	具志川市史　第五巻　戦争編（戦時記録・戦時体験Ⅰ・Ⅱ）3冊セット	平成17年
8	具志川市史　第六巻　教育編　※付録CD	平成18年
9	具志川市史　第七巻　新聞集成　戦後編 （社会編・政治経済編・教育文化スポーツ編）3冊 ※付録　具志川市史編集資料14　志喜屋孝信関係新聞記事集成	平成20年
10	具志川市史　第八巻　民俗編	平成23年
11	具志川市史　別　巻　民話集　『ふるさとの伝え話』	平成 6年
12	具志川市史　別　巻　紙芝居　『田場大工』　『バキムン退治』	平成10年

②具志川市史だより

No.	書　籍　名	発行年
1	具志川市史だより　創刊号	平成 3年
2	具志川市史だより　第2号	平成 3年
3	具志川市史だより　第3号	平成 4年
4	具志川市史だより　第4・5合併号	平成 5年
5	具志川市史だより　第6・7合併号	平成 6年
6	具志川市史だより　第8・9合併号	平成 7年
7	具志川市史だより　第10・11合併号	平成 8年
8	具志川市史だより　第12号	平成 9年
9	具志川市史だより　第13号	平成10年
10	具志川市史だより　第14号	平成11年
11	具志川市史だより　第15号	平成12年
12	具志川市史だより　第16号	平成13年
13	具志川市史だより　第17号	平成14年
14	具志川市史だより　第18号	平成15年

③具志川市史編集資料

No.	書　籍　名	発行年
1	具志川市史編集　資料１　証言記録集《明治編》明治の具志川を語る	平成３年
2	具志川市史編集　資料２　証言記録集《大正・昭和戦前編》 大正・昭和戦前の具志川を語る	平成５年
3	具志川市史編集　資料３　具志川小学校創立五十周年記念誌（復刻版）	平成５年
4	具志川市史編集　資料４　山城文盛寄贈資料　生まれじまの記	平成５年
5	具志川市史編集　資料５　又吉倫祥・武二郎・淳関係資料 海外に雄飛した三兄弟の軌跡	平成６年
6	具志川市史編集　資料６　防衛庁防衛研修所図書館蔵　防衛庁資料目録	平成７年
7	具志川市史編集　資料７　具志川市の慰霊塔	平成７年
8	具志川市史編集　資料９　アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈上〉	平成８年
9	具志川市史編集　資料10　アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈下〉	平成10年
10	具志川市史編集　資料11　一般疎開　安村静日記 －字天願から宮崎へ－	平成10年
11	具志川市史編集　資料12　移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 －アジア・太平洋地域－	平成14年
12	具志川市史編集　資料13　写真集　南洋群島の製糖とくらし －沖山策写真アルバムより－	平成14年
13	具志川市史編集　資料14　具志川市史編集資料14　志喜屋孝信関係新聞記事集成　一九四五年～一九六〇年	平成20年
14	絵はがき４枚セット	平成６年
15	ふるさとの写真帳	平成３年

石川

No.	書　籍　名	発行年
1	石川市誌	昭和51年
2	石川市史（改訂）	昭和63年
3	いしかわの民話　伝説	昭和60年
4	いしかわの民話　昔話	昭和60年

勝連

No.	書　籍　名	発行年
1	勝連村誌	昭和41年
2	勝連町史二	昭和59年
3	かつれんの民話　本島篇	平成３年
4	かつれんの民話　離島篇	平成２年

与那城

No.	書　籍　名	発行年
1	与那城村史	昭和55年
2	よなぐすくの民話	平成元年

資料編１　うるま市教育委員会事務点検・評価

１　令和６年度（令和５年度実施事業分）
事務点検・評価

1　うるま市教育委員会事務点検・評価

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 26 条第 1 項の規定に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とあります。

うるま市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、令和 5 年度に実施したうるま市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関して学識経験を有する方々の知見を活用して点検及び評価を行い、「うるま市教育委員会事務点検・評価報告書」を作成し、公表しています。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、うるま市総合計画の施策体系に基づいて、令和 5 年度に実施した教育委員会所管の、１３５事業中、実施計画採択４９事業から１１事業を対象に実施しました。内訳は、社会教育部 4 事業、学校教育部 7 事業となっております。

3. 点検・評価の方法と結果

点検・評価にあたっては、担当部署において事業ごとに事務点検評価シートを作成し、「施策体系との整合性」、「活動内容の妥当性」、「対象の妥当性」、「意図の妥当性」、「事業の成果について」の 5 項目について、「適切」または「見直す余地あり」の内部評価を行い、今後の方向性を検討します。

その後、7 月１９日から 7 月３１日の期間に外部評価委員による各課ヒアリングを実施して、客観的な評価・意見である外部評価を頂き、「教育委員会事務点検・評価報告書」としてまとめ、公表しています。

点検・評価の結果は「うるま市ホームページ」に掲載しています。

うるま市事務点検評価　検 索

URL:https://www.city.uruma.lg.jp/3001001000/contents/1139.html

令和６年度（令和５年度実施事業分）事務点検・評価事業一覧

No.	部名	課　名	評価対象事務事業名	総合計画施策の基本方針
1	社会教育部（4課4事業）	教育施設課	具志川小学校校舎増改築事業	5-2(学校教育施設の充実) 児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。
2		生涯学習文化振興センター	うるま市・盛岡市中学生交流事業	5-4（生涯学習の充実） 市民それぞれのライフステージやライフスタイルに応じ、生涯にわたって生きがいを持てるように、生涯学習活動機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実を目指します。
3		文化財課	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	5-7（文化財の保存・活用の推進） 文化財を次世代へ継承するため、企画展示・体験学習・各種イベントなどの機会を通して市民の文化財に対する意識や関心を高め、文化財の保存・活用を推進し、郷土に愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。
4		図書館	石川図書館・歴史民俗資料館外壁等改修事業	6-9（公共資産マネジメントの推進） 次世代に負担を残さず、将来に渡って持続可能なまちづくりを行うため、市が所有する公共資産を適切にマネジメントします。
5	学校教育部（4課7事業）	学務課	小学校　机・椅子等更新事業	5-2(学校教育施設の充実) 児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。 5-1（生きる力を育む学校教育の充実） 豊かな心とたくましい体、望ましい生活習慣や食習慣等を育み、予測困難な社会の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と柔軟な思考力を身に付け、すべての人の個性を認め合い、協働して新たな価値を見出していこうとする姿勢を身に付けた国際性に富む子どもを育成します。
6		学校教育課	スポーツ力向上促進事業	
7		学校教育課	部活動指導員配置事業	
8		学校教育課	地域スポーツクラブ体制整備事業	
9		教育支援センター	教育相談事業	
10		教育支援センター	若者居場所運営支援事業	2-4（子どもの貧困対策の推進） 貧困が世代を超えて連鎖することを防ぎ、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会を目指します。
11		学校給食センター	新石川調理場整備運営事業	5-2(学校教育施設の充実) 児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

資料編２　各種委員等

1　うるま市図書館協議会
2　うるま市自治会長連絡協議会
3　うるま市自治会
4　社会教育委員
5　うるま市教育支援センター運営委員
6　文化財保護審議会
7　資料館協議会
8　うるま市具志川市史編さん委員会　第９巻専門委員
9　うるま市学校給食センター運営委員会
10　うるま市教育支援委員
11　学校医・歯科医・薬剤師一覧

1　うるま市立図書館協議会

	役 職	氏　　名	所　　属	任　期
1	委 員 長	天　願　　綾　子	朗読ボランティア　すだち	R6.2.1～R8.1.31
2	副委員長	名　城　　邦　孝	沖縄国際大学　准教授	〃
3	委　員	大 庭　　真 由 美	与那城小学校　校長	〃
4	〃	仲　地　　一	むぎの子保育園　園長	〃
5	〃	比 屋 根　　美 由 紀	うるま市PTA連合会	〃
6	〃	森　根　　隆	屋慶名自治会　会長	〃
7	〃	吉　元　　真　嗣	うるま市商工会	〃
8	〃	西　平　　守	元うるま市立図書館職員	〃

2　うるま市自治会長連絡協議会

	役 職	氏　　名	自 治 会 名	任期
1	会　　長	野　島　　大　雅	南風原区	R6.4.15～R7.4.15
2	副 会 長	平　識　　勇	比嘉区	〃
3	〃	上　里　　敏　正	平安座	〃
4	〃	多 嘉 良　　知 英	川崎	〃
5	〃	山　城　　好　治	山城	〃
6	理　　事	島　袋　　敏　子	高江洲	〃
7	〃	天　願　　力	田場区	〃
8	〃	池 宮 城　　直 子	江洲	〃
9	〃	赤　嶺　　健	志林川区	〃
10	〃	伊　波　　昭	城北区	〃
11	〃	石　川　　修	旭区	〃
12	〃	宮　城　　政　和	饒辺	〃
13	監　　事	山　城　　暁	上平良川	〃
14	〃	兼　城　　賢　栄	宇堅区	〃

※自治会長連絡協議会役員は、「うるま市自治公民館連絡協議会」の運営も兼務しています

具志川地区

	自治会名	自治会長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
1	具志川	高江洲　朝美	904-2223	字具志川３８１	973-3407	電話兼用
2	田場区	天願　力	904-2213	字田場８２２－１	973-6069	973-6070
3	赤野区	座間味　勇	904-2212	字赤野１１２４	973-9212	電話兼用
4	宇堅区	兼城　賢栄	904-2211	字宇堅１０１９	973-3558	電話兼用
5	天願区	瑞慶山　良則	904-2202	字天願７６	972-3573	電話兼用
6	昆布	與古田　敬子	904-2201	字昆布１８３２－３２７	972-3574	電話兼用
7	栄野比区	謝花　スミ子	904-2205	字栄野比３５７－２	972-3551	電話兼用
8	川崎	多嘉良　知英	904-2203	字川崎２０２	972-3471	電話兼用
9	西原区	伊良波　勲	904-2204	字西原４６７	973-3427	電話兼用
10	安慶名		904-2214	安慶名３丁目１８－７	972-6052	972-6077
11	平良川	藏根　勝秀	904-2221	字平良川３５０－１	973-6059	電話兼用
12	上平良川	喜納　喬	904-2225	字喜屋武３７１	973-3493	電話兼用
13	兼箇段区	金城　建	904-2241	字兼箇段８７１－２	973-3552	電話兼用
14	米原区	金城　美江子	904-2241	字兼箇段１５６１－１	973-3431	電話兼用
15	赤道区	久田　友二三	904-2245	字赤道３４５	973-3432	電話兼用
16	江洲	徳田　茂信	904-2244	字江洲１４	973-3001	電話兼用
17	宮里	照屋　聡	904-2243	字宮里１５７	973-9013	電話兼用
18	喜仲区	宮里　剛	904-2236	喜仲３丁目６－５	979-0503	電話兼用
19	上江洲	澤岻　繁光	904-2222	字上江洲３４５－１	973-3502	923-0635
20	大田区	玉榮　勝	904-2224	字大田２１９－１	973-3555	973-3581
21	川田区	花城　八重子	904-2232	字川田２５９	973-3556	電話兼用
22	塩屋区	東恩納　英樹	904-2231	字塩屋４７２－７	973-3455	電話兼用
23	豊原区	吉田　兼安	904-2233	字豊原２５３	973-1312	電話兼用
24	高江洲	島袋　敏子	904-2242	字高江洲５４－３	973-3571	電話兼用
25	前原	照屋　淳	904-2235	字前原２２９－１	973-4635	電話兼用
26	志林川区	赤嶺　健	904-2242	字高江洲９０９－１	973-9009	電話兼用
27	新赤道	根舛　本子	904-2245	字赤道９７２－１０１	973-6076	電話兼用
28	みどり町一・二丁目	廣瀬　みどり	904-2215	みどり町２丁目８－１８	974-5480	電話兼用
29	みどり町三・四丁目	平川　清	904-2215	みどり町３丁目１３－５	974-5839	電話兼用
30	みどり町五・六丁目	伊盛　宏美	904-2215	みどり町５丁目７－８	972-5606	電話兼用

石川地区

	自治会名	自治会長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
31	曙区	伊波幸人	904-1107	石川曙２丁目７－３５	965-4780	電話兼用
32	南栄区	與古田ゆかり	904-1106	石川４３６－１	964-4263	電話兼用
33	城北区	伊波昭	904-1106	石川８４１－１	965-2111	電話兼用
34	中央区	大川豊治	904-1106	石川２丁目２－１１	964-1771	電話兼用
35	松島区	西原洋子	904-1106	石川１丁目２６－３	964-6060	電話兼用
36	宮前区	町田宗康	904-1106	石川１丁目４９－９	965-1113	電話兼用
37	東山区	名嘉真朝夫	904-1101	石川東山本町１丁目１７－３	923-4484	電話兼用
38	旭区	石川修	904-1102	石川東山２丁目１１－２	965-4520	電話兼用
39	港区	大嶺千春	904-1103	石川赤崎２丁目１１－１	965-4964	なし
40	伊波区	竹沢稔	904-1115	石川伊波２９	965-1807	電話兼用
41	嘉手苅区	山城稔	904-1114	石川嘉手苅３６６	964-4350	電話兼用
42	山城	山城好治	904-1113	石川山城３８９－６	965-4233	電話兼用
43	石川前原区	山城義秀	904-1111	石川東恩納９４７－６	965-7021	電話兼用
44	東恩納区	石川栄	904-1111	石川東恩納４８０－１	964-3255	電話兼用
45	美原区	佐和田裕人	904-1111	石川東恩納１５２４	965-4713	電話兼用

勝連地区

	自治会名	自治会長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
46	平敷屋	大城秀司	904-2314	勝連平敷屋４０６８	978-2231	電話兼用
47	内間区	内間幸枝	904-2313	勝連内間９８０	978-2238	電話兼用
48	平安名区	外間勝	904-2312	勝連平安名６５５－１	978-2237	978-3715
49	南風原区	野島大雅	904-2311	勝連南風原２５５	978-2235	電話兼用
50	浜区	前浜峯雄	904-2315	勝連浜９１	977-8450	977-8788
51	比嘉区	平識勇	904-2316	勝連比嘉１２５	977-7227	電話兼用
52	津堅区	玉城盛哲	904-2317	勝連津堅２７	978-7510	電話兼用

与那城地区

	自治会名	自治会長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
53	照間区	花城清文	904-2301	与那城照間１１１５－１	978-2233	電話兼用
54	与那城西原	上門康和	904-2302	与那城西原９９	978-2236	電話兼用
55	与那城	我如古敦	904-2303	与那城１４２	978-2230	電話兼用
56	饒辺	宮城政和	904-2307	与那城饒辺３０３－１	978-2232	電話兼用
57	屋慶名	森根隆	904-2304	与那城屋慶名１０９８	978-2228	電話兼用
58	平安座	上里敏正	904-2426	与那城平安座４０９－２	977-8127	977-7779
59	桃原	東江俊光	904-2425	与那城桃原４００－３	977-8182	電話兼用
60	上原	東泊正輝	904-2423	与那城宮城１２２－２	977-8166	電話兼用
61	宮城	名護徹	904-2423	与那城宮城１２２－２	977-7924	電話兼用
62	池味	登川行雄	904-2422	与那城池味９３７	977-8256	電話兼用
63	伊計	玉城正則	904-2421	与那城伊計２３７	977-7373	電話兼用

4　うるま市社会教育委員

	役　職	氏　　名	所　　属	任　　期
1	議　　長	上　間　　順　一	元学校長	R5.6.1～R7.5.31
2	副 議 長	山　城　　康　代	みどり町児童館　館長	〃
3	委　　員	高　平　　兼　司	元高江洲中PTA　会長	〃
4	〃	島　袋　　行　正	うるま地区防犯協会　会長	〃
5	〃	我 如 古 有 美 子	ＪＡ与那城支店女性部	〃
6	〃	嘉　陽　　恵　子	元学校長	〃
7	〃	天　願　　綾　子	地域コーディネーター	〃
8	〃	佐 渡 山　安 輝	石川民生委員・児童委員協議会 主任児童委員	〃
9	〃	小 潮 川　百 合 子	与勝地区学校ボランティア	〃
10	〃	上　里　　敏　正	平安座自治会長	〃

5　うるま市教育支援センター運営委員

	役　職	氏　　名	所　　属	任　　期
1	委 員 長	金 城　か な え	うるま市立石川中学校　校長	R6.6.1～R7.3.31
2	副委員長	城　間　　修　司	うるま市立赤道小学校　校長	〃
3	委　　員	片 野 坂　浩 己	うるま市立与勝第二中学校　教頭	〃
4	〃	富 永　政 一 郎	うるま市立平敷屋小学校　教頭	〃
5	〃	天　久　　朝　貴	うるま市立城前小学校　生徒指導主任	〃
6	〃	榮 野 川　彩 子	うるま市立あげな中学校　教育相談担当	〃
7	〃	儀　間　　章　次	うるま市立兼原小学校　教育相談担当	〃
8	〃	長　濱　　勝　志	うるま市立田場小学校 特別支援コーディネーター	〃
9	〃	仲 村 渠　安 一	うるま市教育委員会 学校教育課　課長	〃
10	〃	鹿　川　　義　晃	うるま市教育委員会 学校教育課　主幹	〃

6　うるま市文化財保護審議会

	氏　名	分　野	所　属	任　期
1	恩　河　尚	歴 史 学	沖縄市 市史編集室 沖縄国際大学非常勤講師	R6.6.1～R8.5.31
2	稲　福　政　斉	歴史・民俗・美術工芸	沖縄国際大学・沖縄大学非常勤講師	〃
3	石　川　朋　子	社会学・平和学	沖縄国際大学非常勤講師	〃
4	大　谷　勉	自　然 （爬虫類・両生類）	高田爬虫類研究所／室長	〃
5	宮　城　弘　樹	考 古 学	沖縄国際大学准教授	〃
6	山　城　一　美	建築学・住居環境学	沖縄職業能力開発大学校住居環境科特任教授	〃
7	大　城　剛	考古学	西原町国指定史跡「内間御殿」整備委員会委員	〃

7　うるま市資料館協議会

	氏　名	分　野	勤　務　先	任　期
1	高　平　兼　司	水辺（湧き水・川）	沖縄県地球温暖化防止活動推進センター長 うるま市水と緑を考える会代表	R6.6.1～R8.5.31
2	藤　井　晴　彦	環境教育・海洋生物学	那覇市立森の家みんみん代表 理学博士	〃
3	千　住　直　広	観光・ＮＰＯ	浦添市観光協会 沖縄国際大学非常勤講師	〃
4	豊　永　栄　子	児童教育	宮城子ども広場室長	〃
5	安 座 間　奈 緒	考古学・文化財修復	なおラボ代表 沖縄国際大学非常勤講師	〃
6	毛　呂　祐　子	芸術学・展示論	アトリエゆう講師 沖縄県立芸術大学博物館展示論非常勤講師	〃

8　うるま市具志川市史編さん委員会 第9巻専門委員

	氏　名	分　野	所　属	任　期
1	照　屋　理	琉球文学	名桜大学教授	具志川市史第9巻発刊まで
2	屋 良 健 一 郎	歴 史 学	名桜大学上級准教授	〃
3	安 谷 屋 盛 広	経 営 学	沖縄国際大学非常勤講師	〃

9　うるま市立学校給食センター運営委員会

	運営委員名	所属	委嘱期間
1	仲村　正樹	具志川東中学校　校長	R6.4.1～R7.3.31
2	新垣　和哉	あげな中学校　校長	〃
3	宮城　卓司	天願小学校　校長	〃
4	上門　健作	具志川小学校　校長	〃
5	島袋　清	川崎小学校　校長	〃
6	野原　真由美	伊波小学校　校長	〃
7	照屋　武	伊波中学校　校長	〃
8	新垣　桂	勝連小学校　校長	〃
9	大庭　真由美	与那城小学校　校長	〃
10	田港　朝満	与勝中学校　校長	〃
11	當銘　剛	津堅小中学校　校長	〃
12	牧門　司	うるま市ＰＴＡ連合会　会長	〃
13	仲村渠　安一	うるま市教育委員会　学校教育課長	〃
14	比嘉　彩乃	栄養職員	〃
	監査委員名	所属等	委嘱期間
1	赤嶺　幸徳	学識経験者	R6.4.1～R7.3.31
2	比屋根　美由紀	うるま市ＰＴＡ連合会　役員	〃
3	長浜　亮子	うるま市ＰＴＡ連合会　役員	〃

10　うるま市教育支援委員

	氏　　名	所　　属　・　職　　名	任　　期
1	高　屋　清　剛	元県立浦添工業高校　校長	R5.4.1～R7.3.31
2	遠　藤　尚　宏	発達クリニック　Can　院長	R5.4.1～R7.3.31
3	山　田　芳　弘	山田小児科内科医院　院長	R5.4.1～R7.3.31
4	兼　島　　栄	うるま市立平敷屋小学校　校長	R5.4.1～R7.3.31
5	城　間　政　次	県立沖縄高等特別支援学校　校長	R5.4.1～R7.3.31
6	上　間　勤　子	元うるま市立伊波小学校 特別支援学級(言語)担当者	R5.4.1～R7.3.31
7	我如古　優　子	保護者代表（うるま市手をつなぐ育成会）	R5.4.1～R7.3.31
8	粟　国　静　夫	県立美咲特別支援学校　校長	R5.4.1～R7.3.31
9	小　林　及　恵	うるま市立南原小学校　特別支援学級（知的）担任兼 特別支援教育コーディネーター	R5.4.1～R7.3.31
10	前　泊　理　香	うるま市立あげな中学校 特別支援学級（知的）担任	R5.4.1～R7.3.31
11	伊良皆　益　美	福祉部　障がい福祉課　障がい相談係 副主幹兼係長（保健師）	R5.4.1～R7.3.31
12	奥　村　由実子	教育委員会学校教育課　臨床心理士	R5.4.1～R7.3.31
13	仲　間　信　也	教育委員会学校教育課　臨床心理士	R5.4.1～R7.3.31
14	真　壁　広　美	こども未来部　こども発達支援課 発達相談係　　主査保育士	R5.4.1～R7.3.31
15	眞榮喜　優　子	こども未来部　こども発達支援課 発達相談係　　幼稚園主任教諭	R5.4.1～R7.3.31
16	喜友名　朝　美	教育委員会学校教育課　指導主事（小学校）	R5.4.1～R7.3.31

11　学校医・歯科医・薬剤師一覧

任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和6年8月現在

学校名	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
宮森小学校	山田芳弘	饒波毅	佐次田聖
	山田小児科内科医院：965-3577	のは歯科クリニック：965-1862	さしだ薬局：965-4906
城前小学校	與座朝義	飯沼　良子	井村倫子
	よざ耳鼻咽喉科：964-4133	アールデンタル：965-3456	
伊波小学校	西川高広	伊波幸一	瑞慶山礼奈
	伊波クリニック：964-5735	幸一デンタルオフィス：965-7171	いは薬局：965-6767
彩橋小中学校	伊佐眞	比嘉正則	米倉美帆
	伊佐整形外科：931-1111	比嘉デンタルクリニック：933-6800	中部薬局：973-6577
与那城小学校	増成　秀樹	知念克二	土屋菜々美
	与勝あやはしクリニック：983-0055	ちねん歯科医院：973-7555	へしきや薬局：978-6036
南原小学校	井口　梓	島袋亮	新江裕貴
	あずさクリニック：975-0055	ファミリー歯科クリニック：972-4141	ひが薬局与那城店：989-4692
勝連小学校	名護宏泰	野原昭彦	宮里建次
	与勝病院：978-5235	野原歯科医院：975-1888	へしきや薬局：978-6036
平敷屋小学校	佐久本高達	野原昭彦	宮里建次
	さくもと内科クリニック：989-7211	野原歯科医院：975-1888	へしきや薬局：978-6036
津堅小中学校	玉城和光	仲真良彦	柴田忠佳
	中部病院津堅診療所：978-2918	仲真歯科医院：923-0112	ももたろう薬局：879-6888
川崎小学校	大嶺雅亮	赤地修	長濱照美
	大嶺医院：973-1125	あおば歯科クリニック：972-4618	いずみ薬局：972-7788
天願小学校	喜友名琢也	赤地一史	花城幸夫
	ソフィアクリニック：923-2110	あおば歯科クリニック：972-4618	メイト松本薬局：937-4488
あげな小学校	前田清貴	大嶺裕	瑞慶山純子
	みどり町クリニック：972-3858	つばさ歯科クリニック：974-4649	いは薬局：965-6767
田場小学校	小渡敬	大城敦江	米倉美帆
	平和病院：973-2000	スマイル歯科：974-3311	中部薬局：973-6577
具志川小学校	兼城真理子	康本征史	上間秀子
	川根内科外科：974-3025	つがやす歯科こども歯科：973-9335	あかみち薬局美里店：921-3400
兼原小学校	小橋川　悟	浦野邦彦	新江裕貴
		アロハ・デンタルクリニック：988-5639	ひが薬局与那城店：989-4692
高江洲小学校	宮里善次	宮里清和	村田成夫
	中頭病院：939-1300	中頭歯科診療室：938-2030	すこやか薬局読谷店：956-1093
中原小学校	知念正雄	大城敦江	前濱渚
		スマイル歯科：974-3311	りんご薬局　古謝店：929-2700
赤道小学校	潮平　英敏（高江洲　義英）	崎原幹雄	江夏恭範
	いずみ病院：972-7788	みきお歯科医院：921-2232	あかみち薬局：974-1673
石川中学校	渡邊　浩樹（高江洲　義英）	石川末子	高橋優子
	いずみ病院：972-7788	石川歯科医院：964-5958	さしだ薬局石川中学校前店：964-2302
伊波中学校	石川隆夫	石川正人	佐次田頌
	石川医院：964-3049	銀座歯科医院：964-2045	さしだ薬局しらはま店：987-8128
与勝中学校	竹田真一	澤田直則	伊禮隆一
	与勝病院：978-5235	しおみ歯科医院：978-7804	いれいはりきゅう院：973-3193
与勝第二中学校	島袋晃	津嘉山一	伊禮隆一
	あきら整形外科クリニック：921-3330	パーク歯科：974-3663	いれいはりきゅう院：973-3193
あげな中学校	岩下秀彦	知念克二	瑞慶山純子
	いわした内科クリニック：982-6666	ちねん歯科医院：973-7555	いは薬局：965-6767
具志川中学校	上里　迅	大串美央	福地健治
	かつれん耳鼻科クリニック：989-6381	３０矯正歯科：973-4188	メイト平良川薬局：974-8811
高江洲中学校	城間拓哉	花城国英	座喜味　美智子
	しろま内科クリニック：973-2500	愛の里歯科診療所：974-8571	ざきみ薬局：974-3353
具志川東中学校	塩田　和誉	髙田隆充	吉本尚志
	アワセ第一医院：937-5536	なぎさ歯科医院：974-6606	医療法人HSR名嘉村クリニック：870-6600

※小学校は幼稚園も兼務する。ただし、認定こども園除く

資料編３　施設使用料

１　学校施設使用料
２　うるま市立公民館使用料
３　生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料
４うるま市民芸術劇場施設使用料
５　うるま市石川会館施設使用料
６　うるま市きむたかホール施設使用料

1　学校施設使用料

学校体育施設開放事業の使用料は、うるま市立学校施設等使用料に関する条例(平成17年うるま市条例第68号)を準用するものとし、使用時間は1時間単位、体育館使用面積は、半コート単位に区分し算出します。

<table>
<tr><td colspan="2">区　分</td><td colspan="6">使　用　料</td></tr>
<tr><td>施　設</td><td>使用者</td><td colspan="5">20：00～22：00　※1時間あたり</td><td>備　考</td></tr>
<tr><td>体育館</td><td>団　体</td><td colspan="5">400円</td><td>半コート分</td></tr>
<tr><td rowspan="4">運動場</td><td>団　体</td><td colspan="5">200円</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7">照明使用1時間につき</td></tr>
<tr><td>使用基数</td><td>1基</td><td>2基</td><td>3基</td><td>4基</td><td>5基</td><td>6基</td></tr>
<tr><td>使用料金</td><td>150円</td><td>300円</td><td>450円</td><td>600円</td><td>750円</td><td>900円</td></tr>
</table>

2　うるま市立公民館使用料

使用場所(室)	項　目	市　内		市　外	
		平　日 9:00～17:00	平　日 17:00～22:00 土曜日	平　日 9:00～17:00	平　日 17:00～22:00 土曜日
ホール	(一般集会) 1時間につき	1,000円	1,500円	1,500円	2,200円
	(宴　会) 1時間につき	2,000円	3,000円	3,000円	4,500円
	(冷房使用料) 1時間につき	1,000円	1,000円	1,500円	1,500円
調理室	1時間につき	700円	1,000円	1,000円	1,500円
	(冷房使用料) 1時間につき	500円	500円	750円	750円
研修室 その他	1時間につき	500円	750円	750円	1,100円
	(冷房使用料) 1時間につき	500円	500円	750円	750円

3　生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料

1　施設使用料（1 時間単位）

区　分		使用時間帯		冷房
		9：00～17：00	17：00～22：00	
1階	多目的ホール	1,000円	1,500円	1,000円
	多目的ホール(土日祝日)	1,500円	1,500円	1,000円
	楽屋１・２	各200円	各300円	各200円
	音楽室１	500円	750円	500円
	音楽室２・３	各300円	各450円	各300円
	研修室１	500円	750円	500円
	研修室２・３	各400円	各600円	各400円
	研修室４	300円	450円	300円
	創作活動室	500円	750円	500円
	ブラウジングコーナー	500円	750円	－
	コモンズ１	1,000円	1,500円	－
	コモンズ２・３	各300円	各450円	－
	コモンズ４	400円	600円	－
2階	研修室５	400円	600円	400円
	軽音楽室	400円	600円	400円
	調理室	700円	1,050円	500円
	多目的室	300円	450円	300円
	和室	500円	750円	500円
	コモンズ５・６・７	各200円	各300円	－
	ライブエリア１	500円	750円	－
	ライブエリア２・３・４	各300円	各450円	－
	中庭	500円	750円	－

※市外の者が使用する時の使用料は、上記の 1.5 倍（10 円未満の端数は切り捨て）
※イベント等で入場料が発生する場合は、上記の 2 倍

2　施設設備・備品使用料

種類	単位	使用料
ホール舞台照明設備	1 日	4,000 円
ホール舞台音響設備	1 日	2,000 円
ホール映像設備	1 日	2,000 円
グランドピアノ	1 日	1,000 円
ドラムセット	1 日	500 円
陶芸釜(燃料込み)	3 時間	2,000 円

4　うるま市民芸術劇場施設使用料

1　響ホール施設使用料

区　分			料　金 単位：円					
			午　前	午　後	夜　間	昼　間	昼夜間	全　日
			9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
入場料を徴収しない場合		平　日	7,200	14,800	18,200	21,000	31,200	36,400
		土・日・祝祭日	9,400	19,400	23,600	27,400	40,400	47,200
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平　日	9,400	19,400	23,600	27,400	40,400	47,200
		土・日・祝祭日	12,200	25,000	30,600	35,400	52,600	61,200
	1,000円以上2,000円未満	平　日	11,600	23,800	29,000	33,600	49,800	58,200
		土・日・祝祭日	14,800	30,400	37,200	43,000	63,800	74,400
	2,000円以上3,000円未満	平　日	16,200	30,800	38,800	45,600	66,600	77,600
		土・日・祝祭日	19,800	40,800	50,000	58,000	86,000	100,000
	3,000円以上	平　日	17,000	34,800	42,600	49,400	73,200	85,200
		土・日・祝祭日	21,800	44,800	54,600	63,200	94,000	110,000

2　燈ホール施設使用料

区　分			料　金 単位：円					
			午　前	午　後	夜　間	昼　間	昼夜間	全　日
			9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
入場料を徴収しない場合		平　日	3,600	7,400	9,100	10,500	15,600	18,200
		土・日・祝祭日	4,700	9,700	11,800	13,700	20,200	23,600
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平　日	4,700	9,700	11,800	13,700	20,200	23,600
		土・日・祝祭日	6,100	12,500	15,300	17,700	26,300	30,600
	1,000円以上2,000円未満	平　日	5,800	11,900	14,500	16,800	24,900	29,100
		土・日・祝祭日	7,400	15,200	18,600	21,500	31,900	37,200
	2,000円以上3,000円未満	平　日	8,100	15,400	19,400	22,800	33,300	38,900
		土・日・祝祭日	9,900	20,400	25,000	29,000	43,000	50,000
	3,000円以上	平　日	8,500	17,400	21,300	24,700	36,600	42,600
		土・日・祝祭日	10,900	22,400	27,300	31,600	47,000	55,000

3　リハーサル室使用料

リハーサル室使用料	1時間につき　300円

4　附属設備使用料

種　別	単　位	使用料
舞台道具	1回1点につき	7,000円以内で市長が定める額
音響器具	1回1点につき	8,000円以内で市長が定める額
照明器具	1回1点につき	2,000円以内で市長が定める額
その他	1回1点につき	10,000円以内で市長が定める額

5　冷房料金

区　分	単　位	使用料
⑴ 響ホール	1時間につき	4,000円
⑵ 燈ホール	1時間につき	2,000円
⑶ リハーサル室	1時間につき	500円

※ 舞台のみの場合は、⑴または⑵の 4 分の 1 の額

6　その他

1　「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場者から金銭を徴収するものをいう。

2　利用時間を超過して利用する場合は、1 時間(30 分未満は切り捨て、30 分以上は 1 時間とみなす。)を限度とし、次の使用料を徴収する。

(1) 12 時から 13 時までの 1 時間については、午前使用料の 3 分の 1 の額
(2) 17 時から 18 時までの 1 時間については、午後使用料の 4 分の 1 の額
(3) 22 時から 23 時までの 1 時間については、夜間使用料の 4 分の 1 の額

3　使用料の算定において、100 円未満の端数が生じたときは、これを切り上げる。

4　商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として利用する場合の使用料は、入場料を徴収する場合の 3,000 円以上の使用料区分欄を適用する。

5　うるま市石川会館施設使用料

1　施設使用料

区分				料金 単位：円					
				午前	午後	夜間	昼間	昼夜間	全日
				9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
大ホール（その他の室を含む。）	入場料を徴収しない場合		平日	8,300	16,600	23,000	25,300	40,700	42,000
			土・日・祝祭日	11,000	22,000	28,000	33,000	49,000	55,000
	入場料を徴収する場合	1,000円未満	平日	11,000	22,000	28,000	33,000	49,000	55,000
			土・日・祝祭日	14,500	29,000	34,000	43,000	59,000	72,000
		1,000円以上2,000円未満	平日	16,000	31,000	37,000	45,000	66,000	77,000
			土・日・祝祭日	19,000	39,000	48,000	57,000	81,000	96,000
		2,000円以上3,000円未満	平日	17,000	34,000	40,000	49,000	72,000	83,000
			土・日・祝祭日	21,000	42,000	51,000	62,000	88,000	103,000
		3,000円以上	平日	22,000	45,000	55,000	65,000	94,000	110,000
			土・日・祝祭日	29,000	57,000	74,000	83,000	127,000	148,000
その他の室のみを使用するとき	研修室(一階)			500	800	1,200	1,200	1,700	2,200
	研修室(二階)			500	800	1,200	1,200	1,700	2,200
	主催者控室			500	600	1,000	1,000	1,500	2,000
	リハーサル室			800	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000
準備及び練習のために使用するとき				当該基本料金の5割					
ホワイエのみ使用するとき				当該基本料金の5割					

2　附属設備使用料

種　別	単　位	使用料
舞台道具	1回1点につき	2,500円以内で市長が定める額
音響器具	1回1点につき	2,800円以内で市長が定める額
照明器具	1回1点につき	2,500円以内で市長が定める額
映写機	1回1点につき	3,000円以内で市長が定める額
ピアノ	1回1点につき	5,200円以内で市長が定める額
その他	1回1点につき	1,000円以内で市長が定める額

3　冷房料金

区　分	単　位	使用料
大ホール	1時間につき	7,000円
研修室(2階のみ)	1時間につき	200円
主催者控え室	1時間につき	150円
リハーサル室	1時間につき	250円
ホワイエ	1時間につき	1,200円

4　その他

1　使用料を超過して利用する場合、1 時間(30 分未満は切り捨て、30 分以上は 1 時間とみなす)を限度とし、次の使用料を徴収する。

(1) 12～13 時までの 1 時間については　午前使用料の 3 分の 1 額

(2) 17～18 時までの 1 時間については　午後使用料の 4 分の 1 額

(3) 22～23 時までの 1 時間については　夜間使用料の 4 分の 1 額

2　商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として使用する場合の使用料は、次のとおりとする。

・大ホール　入場料を徴収する場合の 3,000 円以上の使用料区分欄を適用する。

3　使用料の算定において、100 円未満の端数が生じたときはこれを切り上げる。

6　うるま市きむたかホール施設使用料

1　施設使用料

区　分			料　金 単位：円					
			午　前	午　後	夜　間	昼　間	昼夜間	全　日
			9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
入場料を徴収しない場合		平　日	8,000	16,000	20,000	21,600	32,400	37,400
		土・日・祝祭日	10,400	20,800	26,000	28,100	42,200	48,700
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平　日	10,400	20,800	26,000	28,100	42,200	48,700
		土・日・祝祭日	13,600	27,200	34,000	36,800	55,100	63,600
	1,000円以上2,000円未満	平　日	12,500	25,000	31,300	33,800	50,700	58,500
		土・日・祝祭日	16,300	32,600	40,800	44,100	66,100	76,300
	2,000円以上3,000円未満	平　日	15,000	30,000	37,500	40,500	60,800	70,200
		土・日・祝祭日	19,500	39,000	48,800	52,700	79,100	91,300
	3,000円以上	平　日	18,000	36,000	45,000	48,600	72,900	84,200
		土・日・祝祭日	23,400	46,800	58,500	63,200	94,800	109,400
本番の日以外に準備及び練習のため使用する場合			当該基本使用料の5割					

2　その他の施設使用料

区　分		料　金 単位：円					
		午　前	午　後	夜　間	昼　間	昼夜間	全　日
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
きむたかホール	リハーサル室	600	1,100	1,400	1,600	2,300	2,700
	ラウンジ	300	550	700	800	1,150	1,350
	ギャラリー	1日につき2,000円					

3　附属設備使用料

種　別	単　位	使用料
舞台設備	1回1点につき	2,000円以内
楽　　器	1回1点につき	8,000円以内
音響設備	1回1点につき	2,000円以内
照明設備	1回1点につき	2,000円以内
ビデオプロジェクターシステム	1回1点につき	2,000円以内
スクリーン	1回1点につき	1,000円以内
電　　源	1回1点につき	200円以内

4　冷房料金

区　　分	単　位	使用料
きむたかホール	1 時間につき	3,500 円
リハーサル室のみ使用	1 時間につき	1,000 円

5　その他

1　「平日」とは月曜日から金曜日までをいう。(2 に規定する祝祭日を除く。)

2　「祝祭日」とは国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日及び 6 月 23 日(慰霊の日)をいう。

3　施設使用料は楽屋等の附帯設備を含む。

4　「入場料」とは入場料・会費・会場整理費その他名称のいかんを問わず入場の対価として徴収するものをいう。

5　使用時間を経過して使用する場合は 1 時間(30 分未満は切り捨て、30 分以上は 1 時間とみなす。)を限度とし、次の使用料を徴収する。

(1) 12 時から 13 時までの 1 時間については、午前使用料の 3 分の 1 の額

(2) 17 時から 18 時までの 1 時間については、午後使用料の 4 分の 1 の額

(3) 22 時から 23 時までの 1 時間については、夜間使用料の 4 分の 1 の額

6　使用料の算定において 100 円未満の端数が生じるときはこれを切り上げる。

7　商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として使用する場合の施設使用料は、次のとおりとする。

(1) きむたかホール

入場料を徴収する場合の 3,000 円以上の使用料区分を適用する。

(2) リハーサル室

当該使用料の 20 割額

資料編４　学校・教育機関

１　市教育委員会事務局・教育機関・その他公の施設の
　　電話番号等一覧

２　うるま市立小学校・中学校一覧

３　令和６年度うるま市立学校在籍一覧表(小学校・中学校)

４　令和６年度うるま市教育委員会・関係団体等 行事予定表

1　市教育委員会事務局・教育機関・その他公の施設の電話番号等一覧

1. 市教育委員会事務局

社会教育部			
教育政策課	うるま市みどり町一丁目１番１号 西棟３階	TEL:923-7111	FAX:923-7145
教育施設課	〃	TEL:923-7166	FAX:923-7145
文化財課	〃	TEL:923-7182	FAX:923-7674
市史編さん係(中央図書館内)	うるま市字平良川 128 番地	TEL:973-9394	FAX:974-7098
学校教育部			
学務課	うるま市みどり町一丁目１番１号 西棟３階	TEL:923-2159	FAX:923-7142
学校教育課	〃	TEL:923-7120	FAX:923-7142

2. 市教育機関等

社会教育部				
生涯学習文化振興センター				
生涯学習・文化振興センターゆらてく	うるま市字仲嶺 187 番地	１階（貸館）	TEL:988-5508	FAX:988-5504
		２階	TEL:923-1571	FAX:923-1572
石川地区公民館	うるま市石川曙二丁目１番 52 号		TEL:964-3433	FAX:964-3467
勝連地区公民館	うるま市勝連平安名 3047 番地		TEL:978-7194	FAX:978-2247
与那城地区公民館	うるま市与那城屋慶名 467 番地４		TEL:978-6836	FAX:978-6836
うるま市立図書館				
中央図書館	うるま市字平良川 128 番地		TEL:974-1112	FAX:974-3505
石川図書館	うるま市石川曙二丁目１番 55 号		TEL:964-5166	FAX:964-5608
勝連図書館	うるま市勝連平安名 3047 番地		TEL:978-4321	FAX:978-4075
うるま市立資料館				
石川歴史民俗資料館	うるま市石川曙二丁目１番 55 号		TEL:965-3866	FAX:965-3866
与那城歴史民俗資料館	うるま市与那城中央１番地		TEL:978-3149	FAX:978-8747
海の文化資料館	うるま市与那城屋平４番地		TEL:978-8831	FAX:978-8841
学校教育部				
うるま市教育支援センター	うるま市みどり町一丁目 １ 番 １ 号 西棟 ３ 階		TEL:923-7158	FAX:923-7145
具志川・与勝地区相談室「ふたば」	うるま市与那城屋慶名467番地４　２階		TEL:989-9127	FAX:989-9134
石川地区相談室「ふたば」	うるま市石川一丁目46番１号		TEL：964-2870	FAX：988-5853
適応指導教室「さわやか学級」	うるま市与那城屋慶名467番地４　２階		TEL:989-9128	FAX:989-9134
適応指導教室「いしかわルーム」	うるま市石川一丁目46番１号		TEL:964-2870	FAX:988-5853
うるま市立学校給食センター				
第一調理場	うるま市字田場 709 番地１		TEL:973-1111	FAX:973-1148
第二調理場	うるま市字田場 850 番地		TEL:973-1112	FAX:973-1303
石川学校給食センター	うるま市石川赤崎一丁目３番２号		TEL:965-3150	FAX:965-3282
与勝調理場	うるま市与那城饒辺 231 番地		TEL:978-3522	FAX:978-3555
津堅学校調理場	うるま市勝連津堅 1327 番地		TEL:978-2141	FAX:978-1005

3．その他の公の施設

社会教育部			
生涯学習文化振興センター			
うるま市民芸術劇場	うるま市字仲嶺 175 番地	TEL:973-4400	FAX:973-4444
うるま市石川会館	うるま市石川石崎一丁目１番	TEL:965-5630	FAX:965-5613
うるま市きむたかホール	うるま市勝連平安名 3071 番地	TEL:978-2219	FAX:978-2267

2　うるま市立小学校・中学校一覧

令和６年5月1日現在

	学　校　名	学校TEL	学校FAX	郵便番号	学　校　住　所	校　長	教　頭	創立年月日
1	宮森小学校	964-2077	964-3244	〒904-1106	石川一丁目46番1号	金城　睦男	比屋根　直子	1945年10月21日
2	城前小学校	964-2086	964-3742	〒904-1106	石川400番地	伊礼　美和子	金城　美雪	1945年5月7日
3	伊波小学校	964-2088	964-3745	〒904-1115	石川伊波287番地1	野原　真由美	高谷　啓祐	1888年4月1日
4	与那城小学校	978-2221	983-0021	〒904-2304	与那城屋慶名468番地29	大庭　真由美	砂川　成人	1940年4月1日
5	南原小学校	978-2225	983-0228	〒904-2311	勝連南風原279番地1	比嘉　正彦	成田　美雪	1946年4月18日
6	勝連小学校	978-2222	978-2253	〒904-2313	勝連内間1173番地	新垣　桂	屋良　千鶴	1882年4月
7	平敷屋小学校	978-2223	978-2254	〒904-2314	勝連平敷屋3850番地	島袋　弘文	富永　政一郎	1969年6月30日
8	津堅小学校	978-2141	978-1005	〒904-2317	勝連津堅1327番地2	當銘　剛	横田　康司	1893年4月
9	川崎小学校	972-3367	972-2804	〒904-2203	川崎117番地	島袋　清	安里　茂	1945年12月22日
10	天願小学校	973-3359	974-7128	〒904-2215	みどり町一丁目8番1号	宮城　卓司	長浜　千春	1906年4月1日
11	あげな小学校	972-3566	972-2809	〒904-2204	西原151番地	伊良波　直子	小浜　康精	1958年4月1日
12	田場小学校	973-3364	974-7132	〒904-2213	田場876番地	島袋　淳	豊田　達雄 宮里　匠哲	1946年2月20日
13	具志川小学校	973-3536	974-7129	〒904-2223	具志川3133番地	上門　健作	屋宜　英樹	1882年3月1日
14	兼原小学校	973-3350	974-7143	〒904-2225	喜屋武66番地	島袋　盛章	島袋　恵美子	1948年4月2日
15	高江洲小学校	973-3243	982-6059	〒904-2242	高江洲118番地1	前原　博光	前德　守	1913年4月1日
16	中原小学校	973-6810	974-7125	〒904-2243	宮里731番地	松田　健史	知念　あかね	1967年4月1日
17	赤道小学校	973-1218	974-7124	〒904-2245	赤道921番地	城間　修司	大湾　達治	1980年4月1日
18	彩橋小学校	977-8102	983-1017	〒904-2426	与那城平安座8169番地1	仲村　美恵子	仲村　裕子	2012年4月1日
1	石川中学校	964-2087	964-4044	〒904-1106	石川440番地1	金城　かなえ	久高　直人	1948年4月8日
2	伊波中学校	965-3384	964-5059	〒904-1111	石川東恩納978番地1	照屋　武	喜久里　成子	1985年4月1日
3	与勝中学校	978-2220	978-8211	〒904-2311	勝連南風原3615番地	田港　朝満	比嘉　善明	1958年4月1日
4	与勝第二中学校	978-2648	978-2638	〒904-2307	与那城饒辺153番地1	上門　博之	片野坂　浩己	1972年4月1日
5	津堅中学校	978-2141	978-1005	〒904-2317	勝連津堅1327番地2	當銘　剛	横田　康司	1893年4月
6	あげな中学校	972-3276	972-2784	〒904-2214	安慶名二丁目18番37号	新垣　和哉	普天間　英明 宮城　修	1962年1月1日
7	具志川中学校	973-3355	982-6104	〒904-2225	喜屋武591番地	伊波　努	仲松　研	1948年4月1日
8	高江洲中学校	973-3207	974-7104	〒904-2233	豊原769番地	塩川　斉	松元　卓眞	1960年4月1日
9	具志川東中学校	973-1212	974-7154	〒904-2223	具志川2803番地	仲村　正樹	松浦　雅子	1981年4月1日
10	彩橋中学校	977-8102	983-1017	〒904-2426	与那城平安座8169番地1	仲村　美恵子	仲村　裕子	2012年4月1日

※各学校の創立年月日は「沖縄県公立小学校変遷史」（沖縄県教育委員会　平成6年1月）等から作成。

文化庁では、地域において世代を超えて受け継がれてきた食文化を、１００年続く食文化「１００年フード」と名付け、継承していく取り組みを推進しています。

「ティビチ料理」は琉球王国時代から続く伝統料理で、「伝統の１００年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～」に認定されました。

また、有識者から好評を得たことから、希少な「有識者特別賞」も受賞しました。

認定証

うるま市未来プロジェクトグループ様

[1]伝統の100年フード部門　～江戸時代から続く郷土の料理～

ティビチ料理

令和５年度　100年フード認定

100年フード

貴団体を上記のとおり認定します

令和６年３月５日

100年フード有識者委員会

認定証データ提供：うるま市未来プロジェクトグループ

令和６年度　うるま市の教育

発行年月　令和６年９月

発　　行　うるま市教育委員会

TEL　098-923-7111

印　　刷　赤道印刷有限会社

『未来の 100 年フード部門』認定

ティビチ料理

琉球王国時代、中国の使者に供された宮廷料理には、高級品の豚肉も使用されていましたが、太平洋戦争によって人々の命とともに独自の食文化も失われようとしていました。
その窮状を憂いたハワイ移民のウチナーンチュ達が、1948 年 9 月 27 日、買い付けた大量の豚と共に海を超え、現在のうるま市の米軍港に到着しました。

ハワイの豚はその後沖縄県各地に贈られ、沖縄県民の命を繋ぎ、多彩な琉球食文化を守ることができました。

うるま市では 9 月 27 日を『海から豚がやってきた記念日』に制定し、歴史と食文化を継承しています。

ティビチのぷるぷるコラーゲンは絶品で、タンパク質は健康長寿の源です。
戦後、うるま市民はティビチを入れたおでんやそば等を考案して食文化を発展させ、今でも県民に愛される郷土料理として食されています。